

報告第 23 号

一般財団法人国際都市おおた協会の経営状況に関する書類の提出について
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、一
般財団法人国際都市おおた協会の下記の書類を提出する。

令和 5 年 6 月 15 日

提出者 大田区長 鈴木 晶 雅

記

一般財団法人国際都市おおた協会の経営状況に関する書類

- 1 令和 4 年度事業報告書
- 2 令和 4 年度決算書
- 3 令和 5 年度事業計画書
- 4 令和 5 年度収支予算書

令和4年度（2022年度）

事業報告書

自 令和4年（2022年）4月 1日

至 令和5年（2023年）3月31日



一般財団法人国際都市おおた協会

Global City Ota Cooperation Association

目次

総括.....	1
1 多文化共生の推進に関する事業（定款第4条第1号関係）.....	2
2 国際交流の推進に関する事業（定款第4条第2号関係）.....	6
3 国際人材育成に関する事業（定款第4条第3号関係）.....	8
4 国際協力に関する事業（定款第4条第4号関係）.....	9
5 情報収集、調査研究及び広報（定款第4条第5号関係）.....	10
6 大田区及び他の公共機関等から受託する事業（定款第4条第6号関係）.....	11
7 その他事業（定款第4条第7号関係）.....	12
◆理事会・評議員会.....	13

記載上の注意事項

●予算額及び決算額について

予算額及び決算額については、職員人件費等の共通事業費を除いた事業費のみを記載しています。なお、予算額は、予算現額となります。

●事業区分について

予算の性質に応じて以下の3つの事業に区分し、事業名の横に記載しています。

（補）… 大田区からの補助金で行う事業

（委）… 大田区から委託を受け行う事業

（自）… 協会の事業費収入等で行う自主事業

令和4年度当初、新型コロナウイルス感染症の脅威は残りつつ、制限の中ではありますが、徐々に外国人住民の登録者数の増加がみられ、人の移動や対面での交流も再始動しはじめました。またロシアによるウクライナ侵攻では、我が国において避難民が安心して生活していくための受け入れ体制づくりが大きな社会課題となりました。一般財団法人国際都市おおた協会（以下、「協会」という）も区と共に避難民の方々への相談体制を準備してきました。そのような状況下で、4月には「おおた国際交流センター（以下「センター」という）」に協会事務所を移転し、センターが地域の国際交流と多文化共生の中核拠点となるべく地域の力を結集し事業を推進してきました。

まず、いずれの協会事業においてもご活躍いただいたのが、「国際交流ボランティア」の皆様です。初めて開催した4月の「ボランティア交流会」を皮切りに、各事業で参加者に寄り添った支援や心のこもった活動を行っていただきました。そのお陰もあり、例えば「マンツーマン語学レッスン」に参加した外国人住民が「楽しかった、もっと交流したい」と国際交流ボランティアに登録するなど、外国人の方が自ら協会と関わろうとする事例が見られました。このようにセンターを舞台に各事業間の有機的な連携による新たなつながりと輪が育まれました。また地域の力という点では、新規事業を中心に企業や教育機関などとの新たな連携事例も実現しました。外国人住民が安心して交流できる場を目指した「GOCA カフェ」では、鉄道会社と連携した「うちわ作りワークショップ」や、明治学院大学学生主導の企画などを行いました。さらに国籍を超えて子ども同士が交流する「多文化ファミリー交流会」では、外国人住民やボランティアに加え、航空会社2社の力をお借りするなど、子どもたちが交流を通し異文化や地域社会へ理解を深める機会を創出しました。

今後はセンターだけでなく、より広域へ事業を展開することも求められています。例えば、9月から3月まで新規事業として実施した「こども学習支援教室」では、学区外のため参加できないという声も聞かれました。区内全域をカバーするには、場所の確保やスキルを持った支援者の不足など課題も残ります。その中でオンラインを用いることも広域展開の1つの解決手段です。10月の「日本語でスピーチ」では会場とZOOM配信に加え、賛助会員様ご協力のもと、羽田イノベーションシティ内の複合型コミュニティラウンジ「creadisce」での配信というハイブリッド開催を行い、発表者の母国の家族やラウンジ利用者が発表者の活躍を見る機会を提供したこともIT技術を活用した新たな形です。また11月には東京都の要請を受け、都主催「第2回ボランティアを応援するセミナー」や「つながる!! Tokyo ボランティアフェスタ2022」に登壇・出展し、他団体の取り組みから学ぶ機会にもなりました。今後は、他団体の先駆的な取り組みなどを参考に、より多くの方への参加機会が提供できるよう検討してまいります。

以上から、センターを中核拠点に、広域的かつ多様な関わり方を提供することが、地域と世界をつなぎ、多文化共生を進める一歩と考えます。2月に行った国際交流ボランティアのアンケート調査では、約半数からご回答を頂き、様々な意見・感想をお寄せいただきました。このような皆様のお声をもとに、事業の一層の改善に取り組み、多くの方々には選ばれる国際都市おおたの実現に努めてまいります。

1 多文化共生の推進に関する事業（定款第4条第1号関係）

【第1号事業合計：予算額 28,951,361 円／決算額 29,287,331 円】

(1) 相談・情報提供 【予算額 13,433,762 円／決算額 13,433,762 円】

事業名	事業概要	実績														
(補) 重点1 ①多言語相談・生活情報の提供	○一般相談 令和4年4月11日からセンターに相談窓口を移転し、多言語で生活相談や情報提供を行いました。	・相談者数：1,849人 ・相談件数：2,834件														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>言語</th> <th>曜日</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英語</td> <td>月・火・水・金曜日</td> <td rowspan="5">10時～17時</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>月・火・木・金曜日</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>月・金曜日</td> </tr> <tr> <td>ネパール語</td> <td>水曜日</td> </tr> <tr> <td>ベトナム語</td> <td>木曜日</td> </tr> </tbody> </table>		言語	曜日	時間	英語	月・火・水・金曜日	10時～17時	中国語	月・火・木・金曜日	タガログ語	月・金曜日	ネパール語	水曜日	ベトナム語	木曜日
	言語		曜日	時間												
英語	月・火・水・金曜日	10時～17時														
中国語	月・火・木・金曜日															
タガログ語	月・金曜日															
ネパール語	水曜日															
ベトナム語	木曜日															
○専門相談 弁護士による法律相談を行いました。																
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>第1・第3日曜日</td> <td>13時～17時 (事前予約制)</td> </tr> </tbody> </table>	第1・第3日曜日	13時～17時 (事前予約制)	・相談者数：64人 ・相談件数：109件												
第1・第3日曜日	13時～17時 (事前予約制)															
	○情報提供 区内に転入してきた外国人の地域での円滑な生活をサポートに向け、情報提供を行いました。	今年度は区内日本語学校・大学等7校訪問し、協会や多言語相談窓口の案内を行いました。														
(補) 重点1、3 ②保護者への情報提供	○小学校入学前オリエンテーション 外国人の保護者を対象に、日本の学校生活や入学前の準備等に関する説明会を行い、日本の小学校に対する知識の向上と不安の軽減を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和5年1月28日（土） ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・参加者：親子14組・計28名 ・協力者：国際交流ボランティア17名 ・その他：GOCAボランティアから学用品の寄付あり（ランドセル、文房具、鍵盤ハーモニカなど） 															

(2) 通訳・翻訳【予算額 5,072,534 円／決算額 5,369,815 円】

事業名	事業概要	実績
(補) ①区への通訳派遣及び翻訳の協力	区からの依頼に応じて、区施設への通訳派遣及び行政情報の翻訳・校正を行いました。	・通訳派遣件数：216件 ・翻訳件数：285件 ・校正件数：11件
(補) ②区提出文書の翻訳	多言語相談窓口において、外国人住民が区の行政手続で提出する外国で発行された証明書等の文書の翻訳を行いました。	・翻訳件数：517件
(自) 重点4 ③ボランティア通訳・翻訳サービスの実施	外国人住民等の依頼に応じて、ボランティアによる通訳の派遣及び文書の翻訳を行いました。	・通訳派遣件数：5件 ・翻訳件数：1件

(3) 日本語等の学習支援【予算額 10,191,898 円／決算額 10,230,587 円】

事業名	事業概要・実績
<p>(補・自) 重点2 ①日本語講座の開催</p>	<p>○初級日本語講座 ひらがなとカタカナの読み書き、簡単な日常会話など、生活上の基本的な日本語を学ぶための講座をセンターにて開催しました。</p> <p>[第1期] ・日時：令和4年5月8日～6月26日 毎週日曜日 13時～15時 (全8回) ・講師：特定非営利活動法人 日本語教育研究所 小林 晴子 氏 ・受講者：18名 ・協力者：国際交流ボランティア8名</p> <p>[第2期] ・日時：令和4年10月2日～12月4日 毎週日曜日 13時15分～15時15分 (全9回) ・講師：特定非営利活動法人 日本語教育研究所 横山 紀子 氏 ・受講者：17名 ・協力者：日本語ボランティアステップアップ講座受講生(実習) 蒲田消防署(災害トピック時に応急救護訓練を実施)</p>
	<p>○日本語講座「学校プリントを読もう」 外国人の保護者を対象に学校プリントを読むときのコツや学校特有の単語の意味等を学ぶための講座を開催しました。</p> <p>・日程：令和5年2月15日～3月15日 毎週水曜日 18時～20時 (全5回) ・場所：おおた国際交流センター (Minto Ota) 会議室 ・講師：特定非営利活動法人 日本語教育研究所 池田 雅代 氏 ・受講者：12名 ・協力者：国際交流ボランティア3名</p>
	<p>○おおたこども日本語教室 不就学・未就学の子どもを対象に日本語教室(蒲田・大森)を開催し、小中学校へのスムーズな就学をサポートしました。</p> <p>[蒲田教室] ・日時：月・火・木曜日 9時～12時 (令和4年4月～3月) ・場所：おおた国際交流センター (Minto Ota) 会議室 ・講師：一般社団法人レガートおおた ・受講者：64名</p> <p>[大森教室] ・日時：月・水・木曜日 9時～12時 (令和4年4月～3月) ・場所：山王会館 303号室・401号室 ・講師：NPO法人日本語ぐるりっと ・受講者：28名</p>
	<p>○マンツーマン語学レッスン 外国人住民又は地域住民とボランティアをマッチングし、日本語学習や外国語学習をサポートしました。</p> <p>・コース：1回コース/定期コース 50分または90分/回 ・場所：おおた国際交流センター (Minto Ota) 情報・交流コーナー WEB会議システム(Zoom)等 ・講師登録者：日本語講師26名、英語講師2名、中国語講師2名 ・指導実績：日本語講師17名、英語講師2名、中国語1名 *重複あり ・受講者数：24名(日本語18名(12カ国)、英語6名) ・総レッスン回数実績：574回(日本語510回、英語64回)</p>

<p>(補) 重点2、4 ②日本語ボランティア養成講座の開催</p>	<p>○日本語ボランティアステップアップ講座 区内のボランティア日本語教室で活動している支援者や日本語ボランティア入門講座の修了者を対象としたステップアップ講座と初級日本語講座内でのアシスタントとして実習を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年10月2日、9日、16日 毎週日曜日10時～12時（全3回） ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・講師：第1回 東京日本語ボランティアネットワーク 藤橋 帥子 氏 第2回 東京日本語ボランティアネットワーク 山形 美保子 氏 第3回 日本語教育×傾聴・コーチング指導者 吉田 有美 氏 ・受講者：第1回10名 第2回15名 第3回13名
<p>(補) 重点3、4 ③子どもの学習支援</p>	<p>○こども学習支援ボランティア養成講座 外国人の子どもの学習支援を行うボランティアを養成するための講座を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年6月25日～7月27日 毎週水曜日10時～12時（全6回） ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・講師：[第1回] NPO法人青少年自立援助センター／YSC グローバル・スクール 多文化コーディネーター ピッチフォード理絵 氏 [第2回・3回] 公益社団法人国際日本語普及協会 日本語教師 竹歳 三千子 氏 [第4回・5回] 公益社団法人国際日本語普及協会 日本語教師 金 早苗 氏 ・受講者：第1回36名、第2回～第6回15名 <p>○夏休み学習教室 養成講座の修了者が、外国人の子ども向けに夏休みの宿題や自由研究のサポートを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年8月15日、16日、17日、19日、20日、24日 10時～12時（全6回） ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・支援者：44名（遊びスペースボランティア5名含む） ・参加児童：24名（延べ105人） ・協力者：日本語教師 金子 洋子 氏 ・8月26日：科学工作教室「偏光万華鏡を作ろう！」 ・講師：東京工業大学公認サークル 東工大 ScienceTechno ・参加児童：21名
	<p>○こども学習支援教室 新規 養成講座の修了者が、外国人の小・中学生に対し、日々の宿題やテスト勉強のサポートをセンターにて開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> [第1期：令和4年9月～12月（全10回） ・受講者：11名（延べ86名） ・協力者：17名（延べ89名） [第2期] 令和5年1月～3月（全10回） ・受講者：9名（延べ81名） ・協力者：16名（延べ81名）

(4) 災害時外国人支援【予算額 253,167 円／決算額 253,167 円】

事業名	事業概要・実績
(補) ①災害時要支援外国人相談窓口体制の確立	災害時要支援外国人相談窓口の円滑な設置・運営に向けて、令和2年に作成した「設置・運営マニュアル」のアップデートを行いました。
(補) 重点4 ②災害時外国人支援ボランティアの養成	<p>○災害時外国人支援ボランティア向けセミナー（番外編） 令和4年2月に新型コロナ感染拡大の影響により中止・延期となった、東日本大震災時の被災地でのボランティア体験談や発災時の備蓄品等に関するセミナーを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年5月27日（金）10時～12時 ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・講師：東京消防庁災害時支援ボランティアリーダー 元在日スイス大使館外国企業誘致局 主席担当官 原 圭介 氏 ・受講者：9名 <p>○災害時外国人支援ボランティア講習会「基礎講習」 外国人に正確な情報や安心を届ける災害時外国人支援ボランティアの登録・養成を目的とした基礎講習を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年7月9日（土）13時30分～16時45分 ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・講師：(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事 土井 佳彦 氏 大田区防災危機管理課 ・受講者：34名 <p>○多言語翻訳シミュレーション訓練・意見交換会 都内災害発生時の広域的な相互支援のため東京都つながり創生財団が主催する翻訳訓練及び意見交換会に災害時外国人支援ボランティアが参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：（訓練）令和4年8月31日（水）13時30分～16時30分 （意見交換会）令和4年9月3日（土）13時30分～16時30分 ・場所：（訓練）おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 （意見交換会）WEB会議システム（Zoom）で実施 ・参加者：8名（うち職員1名含む）※意見交換会は3名が参加 <p>○通訳訓練 災害時外国人支援における「通訳」の心構えやコツを学び、実践経験を積むための訓練をセンターにて実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：第1回：（講座）令和4年10月23日（日） 第2回：（普通救命講習）10月25日（火）*蒲田消防署内にて実施 第3回：（初級日本語講座(応急救護訓練)内通訳実践)11月20日（日） ・受講者：22名（延べ43名） ・講師：1回目 カブレホス・セサル 氏（ランゲージワン株式会社） 2回目 公益財団法人東京防災救急 3回目 蒲田消防署職員 <p>○やさしい日本語を学ぼう！ スキルアップを目的として「やさしい日本語」の知識と実践力を高めるための講座を座学と留学生アシスタント5名との実践を行う講座を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和5年3月5日 ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・受講者：14名 ・講師：インターカルト日本語学校日本語教員養成研究所 齋藤 美幸 氏

災害時外国人支援ボランティア登録者数	73名（令和5年3月31日現在）
--------------------	------------------

2 国際交流の推進に関する事業（定款第4条第2号関係）

【第2号事業合計：予算額 321,466 円／決算額 284,107 円】

（1）地域における国際交流【予算額 321,466 円／決算額 284,107 円】

事業名	事業概要・実績
<p>(補) ①日本語でスピーチの開催</p>	<p>日本語学習の成果を発表する場を提供し学習者や日本語ボランティア等のモチベーション向上を図るとともに、地域交流及び相互理解を促進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年10月30日（日）13時30分～16時10分 ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・発表者：14名 ・観覧者：70名（会場45名、オンライン25名） ・協力者：丸善雄松堂株式会社 国際交流ボランティア（実行委員8名、当日運営2名）
<p>(補) ②多文化交流会の開催</p>	<p>〇〇ta スポーツで国際交流 スポーツを通じた相互理解に向け外国人住民と若者の交流会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年12月11日（日）13時～16時 ・場所：昭和島二丁目公園フットサル場、少年サッカー場 ・参加者：44名 ・協力者：一般社団法人大森FC 国際交流ボランティア3名 <p>〇〇ta 多文化ファミリー交流会 新規 地域における多文化理解の促進を目的に、国際交流ボランティアの協力の下、地域の子供達や保護者向けに国際交流イベントをセンターで開催しました。</p> <p>[第1回] Japan Play Day in Ota（日本の伝統遊びをみんなで遊ぼう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年8月18日（木）14時～16時 ・参加者：31名（小・中学生24名、保護者7名） ・協力者：国際交流ボランティア13名（遊び担当11名、通訳2名） <p>[特別編] JAL 折り紙ヒコーキ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年8月19日（金）14時30分～16時 ・参加者：29名（小・中学生21名、保護者8名） ・協力者：日本航空株式会社（JAL） <p>[第2回]：世界の遊びを体験しよう！～アジア編～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年9月11日（日）13時～15時 ・参加者：33名（未就学児・小学生23名、大人10名） ・協力者：講師3名、国際交流ボランティア3名 <p>[第3回]：絵本 de 国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年11月13日（日）10時～11時30分 ・参加者：30名（未就学児・小学生17名、保護者13名） ・協力者 ルピナス（英語絵本の読み聞かせ団体）、 国際交流ボランティア4名 <p>[特別編]：空港の秘密！-いつもは入れない特別な場所を体験しよう-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年11月20日（日）10時～12時 ・場所：羽田空港第2ターミナル ・参加者：28名（小学生23名・中学生5名） ・協力者：ANA エアポートサービス株式会社 国際交流ボランティア4名 <p>[第4回]：ウガンダの文化・ダンスに触れよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和5年2月25日（土）13時30分～15時30分

	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：24名(児童13名、保護者11名) ・協力者：講師3名 国際交流ボランティア5名
(補) ③ホームビジットイベントの実施	<p>○ホームビジットイベント</p> <p>外国人留学生などが日本人の家庭を訪問し、日本の生活・文化体験や日本人との交流を行うホームビジットを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：①(ボランティア対象事前説明会)令和4年9月4日(日) ②(ホームビジット当日)令和4年9月25日(日) ・場所：①おおた国際交流センター/②各ご家庭 ・参加者：ホスト側4家庭 ゲスト側9名 ・協力者：PoE International Exchange 常務理事 金子 洋子 氏 2019年ホームビジット参加者 中野 真紀子 氏、播摩 武志 氏
(自) 新規 ④地域と連携した事業の開催	<p>○GOCA カフェ (にほんごではなそう)</p> <p>地域交流・国際交流の一環として、外国人住民と地域住民が定期的に集い安心して日本語で語り合える場をセンターにて提供しています。</p> <p>[第1回] にほんごではなそう フリートーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年5月29日(日) 15時～16時 ・参加者：18名 <p>[第2回] にほんごではなそう フリートーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年6月26日(日) 15時～16時 ・参加者：12名 <p>[第3回] にほんごではなそう フリートーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年7月24日(日) 13時30分～15時 ・参加者：4名 <p>[第4回] うちわに「書」を描くワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年8月28日(日) 13時30分～15時 ・参加者：10名 ・協力者：「JR 東日本 駅たびコンシェルジュ羽田空港」 <p>[第5回] にほんごではなそう フリートーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年10月9日(日) 15時30分～16時30分 ・参加者：13名 <p>[第6回] にほんごではなそう フリートーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年10月23日(日) 15時30分～16時30分 ・参加者：9名 <p>[第7回] 折り鶴でモザイクアートを完成させるワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年11月13日(日) 15時30分～16時30分 ・参加者：10名 <p>[第8回] 書道体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和4年12月4日(日) 15時30分～16時30分 ・参加者：11名 <p>[第9回] 桜の花びらの紙に目標を書き、桜の木を完成させるワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和5年1月28日(土) 15時30分～16時30分 ・参加者：8名 <p>[第10回] 池上梅園にて梅の散策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和5年2月18日(土) 10時30分～12時30分 ・参加者：12名 <p>[第11回] 明治学院大学学生作成のすごろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和5年3月4日(土) 13時30分～15時 ・参加者：7名 ・協力者：明治学院大学大学生 3名

(2) 海外都市との交流【予算額 0 円／決算額 0 円】

事業名	事業概要・実績
(補) 姉妹都市等との交流事業への協力	新型コロナ感染拡大の影響により中止となっている区が行う姉妹都市や友好都市等との交流事業の再開に向けて、区と情報交換を行った。

3 国際人材育成に関する事業（定款第4条第3号関係）

【第3号事業合計：予算額 234,537 円／決算額 196,185 円】

(1) 国際交流ボランティアの活躍支援【予算額 234,537 円／決算額 196,185 円】

事業名	事業概要・実績
(補) 重点4 ①国際交流ボランティアの募集・登録	国際交流ボランティアを募集・登録し、協会事業を中心に様々な場面での活躍につなげました。 登録者：330名（令和5年3月31日時点） [内訳]※重複あり ・一般ボランティア：213名 ・企画・運営ボランティア：139名 ・通訳・翻訳ボランティア：130名 ・語学・学習支援ボランティア：199名 ・国際協力・国際理解促進ボランティア：170名 ・ホームステイ・ホームビジットボランティア：34名
(補) 重点4 ②スキルアップ講座の開催	○ファシリテーション講座 JICA 海外協力隊や海外駐在歴のあるボランティアが、自己の経験を活かした講座等を地域の中で円滑に行えるよう、ファシリテート能力を高めるための講座を開催しました。 ・日時：令和4年5月22日（日）、6月5日（日） 各回10時～12時（全2回） ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・講師：NPO 法人開発教育協会（Dear）事務局長 中村 絵乃 氏 ・受講者：国際交流ボランティア8名
(補・自) 重点4 ③ボランティアグループの形成・活動	○外国人取材記事「隣の外国人」の作成 ボランティアにより形成された実行委員会が、地域で活躍する外国人住民を取材し、記事を作成しました。記事は協会のホームページで掲載・公開しました。 [実行委員会] ・日時：令和4年6月1日（水）18時～19時30分 ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・実行委員：7名 [掲載実績] Vol.11 ウ シセン氏（中国出身）（7月掲載） Vol.12 オウン マーウー氏（ミャンマー出身）（8月掲載） Vol.13 タパ バンダリ プザン氏（ネパール出身）（10月掲載） Vol.14 ラホ ヌマ氏（パプアニューギニア出身）（11月掲載） Vol.15 パンタ カシナト氏（ネパール出身）（2月掲載） Vol.16 チャーリー岡村氏（アメリカ出身）（3月掲載）

	<p>○ボランティア交流会^{新規}</p> <p>ボランティア同士の連携や親睦を深めるため、交流会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時：令和4年4月23日（土）13時30分～15時30分 ・ 場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・ 参加者：国際交流ボランティア37名
<p>（自）^{重点4}</p> <p>④語学講座の開催</p>	<p>外国人のボランティアを講師とした語学講座をセンターにて開催しました。</p> <p>[第1期：初級英会話講座]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時：令和4年9月21日～10月16日 毎週水曜日18時～19時30分（全6回） ・ 受講者：10名 ・ 講師：テイラー ドリュー 氏 ギルバート ワトソン 氏 <p>[第2期]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程：令和5年1月15日～2月26日（全6回） 毎週日曜日10時～11時30分 ・ 受講者：9名 ・ 講師：マヤ ジョーンズ 氏

（2）国際交流団体の活動促進【予算額0円／決算額0円】

事業名	事業概要・実績
<p>（補）</p> <p>国際交流団体との連携・協力体制の強化</p>	<p>大田区国際都市・多文化共生推進課と連携しながら、センターを拠点とした国際交流団体との連携・協力体制の構築及び地域における国際交流活動の活性化に向けて情報収集を行いました。</p>

4 国際協力に関する事業（定款第4条第4号関係）

【第4号事業合計：予算額7,780円／決算額26,852円】

（1）国際協力の意識啓発【予算額0円／決算額19,072円】

事業名	事業概要・実績
<p>（自）^{重点4}</p> <p>国際協力・理解講座講師の紹介</p>	<p>学校や団体からの希望に応じて、主に「ファシリテーション講座」の受講者をボランティア講師として紹介しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師登録者：16名（令和5年3月31日時点） <p>[依頼実績1]</p> <p>英語で国際交流を目的として、外国籍ボランティア3名を講師として池上小学校へ派遣しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時：令和5年2月16日（木）10時30分～12時30分 ・ 場所：大田区立池上小学校 ・ 講師：ギルバート ワトソン氏、ヘリヤニ エステリナ ハック氏、パンタ カシナト氏 ・ 参加児童：小学校6年生3クラス <p>[依頼実績2]</p> <p>キャリア教育を目的として、海外で働いた経験のある日本人及び外国籍ボランティア2名を講師として派遣しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時：令和5年3月13日（月）8時45分～9時35分 ・ 場所：大田区立大森第二中学校 ・ 講師：山下 悠希氏、パンタ カシナト氏 ・ 参加児童：中学校2年生4クラス

(2) 小さな国際協力【予算額 7,780 円／決算額 7,780 円】

事業名	事業概要
(補) 使用済み切手等の寄付	使用済み切手や書き損じはがき、外国のコイン等を収集し、開発途上国において教育や医療等の支援活動を行っている団体に寄付をしました。 令和4年度 寄付実績：2件

5 情報収集、調査研究及び広報（定款第4条第5号関係）

【第5号事業合計：予算額 1,727,891 円／決算額 1,321,007 円】

(1) 情報収集 【予算額 0 円／決算額 0 円】

事業名	事業概要・実績
(補) 重点5 他団体の交流・連携を通じた情報の収集	(一財)自治体国際化協会や(一財)東京都つながり創生財団等の他団体との交流・連携を通して、多文化共生や在住外国人に纏わる最新情報(人口動態、施策、統計データ等)を収集しました。

(2) ホームページの管理・運営【予算額 1,134,933 円／決算額 735,075 円】

事業名	事業概要・実績
(補) 重点5 ホームページによる情報発信・情報公開	ホームページ (https://www.ota-goca.or.jp/) で協会活動の情報発信及び法人情報の公開やトップページ画像変更を行いました。

(3) 広報紙の発行【予算額 174,958 円／決算額 174,186 円】

事業名	事業概要・実績
(補) 重点5 ①「GOCA ニュース from おおた」の発行	協会の活動内容やイベントの様子などを広く周知するため、ニューズレター「GOCA ニュース from おおた」第14号(令和4年6月)と15号(令和4年9月)、第16号(令和4年12月)、第17号(令和5年3月)を発行しました。
(補) 重点5 ②リーフレットの発行	新センターや協会活動の周知及び知名度向上のため、協会及び協会事業の概要を掲載したリーフレットを発行・配布しました。

(4) 公式SNSによる情報発信【予算額 0 円／決算額 0 円】

事業名	事業概要・実績
(自) 重点5 Twitter等の運用	Twitter、Facebook、Instagram、LINE 公式アカウントを運用し、協会の講座等の情報のほか、公的機関の様々な支援情報を発信しました。

(5) 「国際都市おおた」の啓発【予算額 418,000 円／決算額 411,746 円】

事業名	事業概要・実績
(補) 重点5 新規 啓発グッズの製作及び活用	「国際都市おおた」をPRするためのグッズを製作し、協会の事業やイベントなどで活用することで、区民の多文化共生意識の啓発やセンターの認知度向上を図りました。

6 大田区及び他の公共機関等から受託する事業（定款第4条第6号関係）

【第6号事業合計：予算額 9,560,094 円／決算額 8,169,898 円】

(1) 多言語情報紙の作成【予算額 7,364,280 円／決算額 6,738,880 円】

事業名	事業概要・実績
(委) 「Ota City Navigation」の作成	外国人住民のための多言語情報紙「Ota City Navigation」をやさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語で作成し、協会HPにも公開しました。 発行実績：8回（Vol. 24～Vol. 31） 発行月：令和4年4月・6月・7月・9月・10月・12月 令和5年1月・3月

(2) 会議室の運営・管理【予算額 441,754 円／決算額 261,435 円】

事業名	事業概要・実績
(委) 新規 会議室の貸館業務	国際交流団体等が実施する各種イベントや集会等においてセンターの会議室を貸し出し、国際交流活動や地域活動の増進へと繋げました。 ・日程：通年（ただし、令和4年12月29日～令和5年1月3日を除く） ・利用実績：延8,123人 ・稼働率：31.1%（会議室A・B・Cの稼働率の年間平均）

(3) 情報・交流コーナーの活用【予算額 1,320,000 円／決算額 905,990 円】

事業名	事業概要・実績
(委) 重点5 新規 情報・交流コーナーにおける企画展示	その時々テーマに沿った写真や実物を定期的に展示し、センター来訪者の多文化共生や国際交流に係る学びや意識啓発を促しました。 ・第1期：令和4年4月～6月 ・展示内容：国際都市おおた大使の紹介 ・第2期：令和4年7月～9月 ・展示内容：世界地図でみる国際都市おおた 大田区地図でみる世界～こんな活動をしています～ ・第3期：令和4年10月～12月 ・展示内容：世界の遊びを体験しよう～アジア編～ ・第4期：令和5年1月～3月 ・展示内容：「日本語でスピーチ 2022」の紹介 ・その他：書初め展示や折り鶴アートなど季節毎の展示も行いました。

(4) 就労・定着支援【予算額 434,060 円／決算額 263,593 円】

事業名	事業概要・実績
(委) 介護の日本語講座の開催	外国人が福祉施設で働くために必要な日本語やマナー等を学ぶ講座を開催し、就労・定着に向けた支援を行いました。 ・日程：令和5年1月29日～3月19日（全8回） 毎週日曜日 13時30分～16時30分開催 ・場所：おおた国際交流センター（Minto Ota）会議室 ・受講者：16名 ・講師：明治学院大学 奥村 恵子 氏 社会福祉法人八広会特別養護老人ホーム和翔苑 丹沢 正伸 氏 ・協力者：国際交流ボランティア 9名 特別養護老人ホーム蒲田（施設見学受け入れ）

7 その他事業（定款第4条第7号関係）

【第7号事業合計：予算額 18,483 円／決算額 974 円】

（1）会員募集【予算額 18,483 円／決算額 974 円】

事業名	事業概要・実績
（自） 賛助会員の募集	協会の目的に賛同し、活動を支援してくれる個人及び法人・団体の賛助会 員を募集しました。 [賛助会員数] ・個人：13名 ・団体：6団体

（2）広告募集【予算額 0 円／決算額 0 円】

事業名	事業概要・実績
（自） 「GOCA ニュース from おおた」 への広告募集・掲載	協会が発行するニュースレター「GOCA ニュース from おおた」に掲載する 民間事業者の広告を募集しました。 [広告掲載数] ・民間事業者：0社

（3）寄附募集【予算額 0 円／決算額 0 円】

事業名	事業概要・実績
（自） 寄附金の募集	協会の経営基盤強化のため、寄附金を受けつけています。

理事会・評議員会

(1) 役員等名簿 (令和5年3月31日時点、五十音順)

理事長 (代表理事)	成田 浩	監 事	佐々木 信久	評 議 員	金子 洋子
専務理事 (業務執行理事)	近藤 倫生	監 事	安岡 大作	評 議 員	藏方 庸光
理 事	井上 隆義			評 議 員	小松 万希子
理 事	岩井 克文			評 議 員	原 圭介
理 事	小山 君子			評 議 員	伴 久之
理 事	三枝 健二			評 議 員	細島 道博
理 事	花田 壮史			評 議 員	湯本 良太郎
理 事	深尾 定男				

●評議員選定委員

委 員	大谷部 博明
委 員	藏方 庸光
委 員	近藤 倫生
委 員	佐々木 信久
委 員	中野 敏英

(2) 役員等の異動状況

理 事	青 木 毅	令和4年4月1日 退任
理 事	赤 津 洋一	令和4年4月1日 退任
理 事	遠 山 一明	令和4年4月1日 退任
監 事	鴨志田 隆	令和4年4月1日 退任
評議員選定委員	加藤 辰明	令和4年4月1日 退任
理 事	井上 隆義	令和4年4月25日 就任
理 事	花田 壮史	令和4年4月25日 就任
監 事	佐々木 信久	令和4年4月25日 就任
評 議 員	伊佐治 剛	令和4年5月31日 退任
評議員選定委員	大谷部 博明	令和4年7月25日 就任
評 議 員	湯本 良太郎	令和4年8月22日 就任

(3) 理事会の開催状況

日時・場所	内容
第1回理事会（決議の省略） 決議があったものとみなされた日 令和4年4月14日（木） 同意した理事 6名 確認した監事 1名	【議題】 ・令和4年度第1回臨時評議員会の開催（決議の省略）について [審議事項] ・理事の選任について ・監事の選任について
第2回理事会 令和4年5月11日（水） 15時30分～17時15分 おおた国際交流センター（Minto Ota） 会議室 出席理事 7名 出席監事 2名 欠席理事 1名	【議題】 ・令和3年度事業報告について ・令和3年度決算について ・定時評議員会の開催について 【報告事項】 ・第一次中期経営計画の進捗状況の報告について ・係名の変更とコーディネーター職の設置について ・「おおた国際交流センター」に関する新たな業務の受託について
第3回理事会（決議の省略） 決議があったものとみなされた日 令和4年7月25日（月） 同意した理事 8名 確認した監事 2名	【議題】 ・評議員選定委員会の外部委員の選任について 外部委員氏名：大谷部 博明
第4回理事会（決議の省略） 決議があったものとみなされた日 令和4年11月10日（木） 同意した理事 8名 確認した監事 2名	【議題】 ・令和4年度第2回臨時評議員会の開催について 日時 令和4年11月25日（金） 場所 おおた国際交流センター（Minto Ota）
第5回理事会 令和4年11月25日（金） 10時00分～12時00分 おおた国際交流センター（Minto Ota） 会議室 出席理事 8名 出席監事 2名	【議題】 ・令和4年度第3回臨時評議員会の開催について 【報告事項】 ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 ・固有職員の「令和4年度主任選考実施要綱」の制定について ・インボイス制度への対応について
第6回理事会 令和5年3月15日（水） 10時00分～12時00分 おおた国際交流センター（Minto Ota） 会議室 出席理事 7名 出席監事 2名 欠席理事 1名	【議題】 ・令和5年度事業計画について ・令和5年度予算について ・就業規則の改正について ・定時評議員会の開催について 【報告事項】 ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 ・消費税及び法人税に関する今後の対応について ・令和4年度主任選考実施結果について

(4) 評議員会の開催状況

日時・場所	内容
第1回臨時評議員会（決議の省略） 決議があったものとみなされた日 令和4年4月25日（月） 同意した評議員 7名	【議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について（新理事氏名：花田 壮史） ・理事の選任について（新理事氏名：井上 隆義） ・監事の選任について（新監事氏名：佐々木 信久）
定時評議員会 令和4年5月30日（月） 15時00分～16時30分 おおた国際交流センター（Minto Ota） 会議室 出席評議員 6名 出席理事 3名 出席監事 1名 欠席評議員 1名	【議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度決算について 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・第一次中期経営計画の進捗状況の報告について ・係名の変更とコーディネーター職の設置について ・「おおた国際交流センター」に関する新たな業務の受託について
第2回臨時評議員会 令和4年11月25日（金） 14時00分～15時20分 おおた国際交流センター（Minto Ota） 会議室 出席評議員 5名 出席理事 3名 出席監事 1名 欠席評議員 2名	【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度上半期の事業報告について ・固有職員の「令和4年度主任選考実施要綱」の制定について ・インボイス制度への対応について
第3回臨時評議員会 令和5年3月16日（木） 15時00分～16時50分 おおた国際交流センター（Minto Ota） 会議室 出席評議員 7名 出席理事 3名 出席監事 1名	【議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業計画について ・令和5年度予算について 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度下半期の事業報告について ・消費税及び法人税に関する今後の対応について ・令和4年度主任選考実施結果について

(5) 評議員選定委員会

一般財団法人国際都市おおた協会評議員選定委員会規程第11条に基づき理事長の提案により決議の省略の方法で開催された評議員選定委員会は次のとおりである。

日時・場所	内容
決議があったとみなされた日 令和4年8月22日（月） 同意した委員 5名	【議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について 選任された評議員：湯本 良太郎

監査報告書

令和5年4月26日

一般財団法人国際都市おおた協会
理事長 成田 浩 殿

一般財団法人国際都市おおた協会

監事 安田 大作

監事 佐々木信久

私たち監事は、当財団の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和4年度（2022年度）

決 算 書

自 令和 4年（2022年）4月 1日

至 令和 5年（2023年）3月31日



一般財団法人国際都市おおた協会

Global City Ota Cooperation Association

財 務 諸 表

貸 借 対 照 表	1
正 味 財 産 増 減 計 算 書	2
財 務 諸 表 に 対 す る 注 記	4
附 属 明 細 書	6
財 産 目 録	7
監 査 報 告 書	8

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,864,846	22,047,815	△ 12,182,969
未収金	2,618,550	1,892,270	726,280
前払金	0	100,300	△ 100,300
流動資産合計	12,483,396	24,040,385	△ 11,556,989
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
運営管理積立資金	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	1,000,000	1,000,000	0
(3) その他固定資産			
什器備品	564,710	770,545	△ 205,835
その他固定資産合計	564,710	770,545	△ 205,835
固定資産合計	4,564,710	4,770,545	△ 205,835
資産合計	17,048,106	28,810,930	△ 11,762,824
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,022,111	21,261,348	△ 13,239,237
前受金	0	3,200	△ 3,200
前受会費	36,000	14,000	22,000
預り金	594,822	520,491	74,331
流動負債合計	8,652,933	21,799,039	△ 13,146,106
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	8,652,933	21,799,039	△ 13,146,106
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)
正味財産合計	8,395,173	6,259,038	2,136,135
負債及び正味財産合計	17,048,106	28,058,077	△ 11,009,971

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	25	206	△ 181
基本財産受取利息収入	25	206	△ 181
特定資産運用収益	9	0	9
特定資産受取利息収入	9	0	9
受取会費	86,000	30,000	56,000
賛助会員受取会費	86,000	30,000	56,000
事業収益	1,214,700	709,060	505,640
補助金事業収入	418,700	330,500	88,200
自主事業収入	796,000	378,560	417,440
受取補助金等	88,187,321	87,012,461	1,174,860
受取大田区補助金	78,689,486	79,181,781	△ 492,295
大田区受託料	9,497,835	7,830,680	1,667,155
その他補助金	0	0	0
雑収益	107,101	37,724	69,377
受取利息収入	186	225	△ 39
雑収入	106,915	37,499	69,416
経常収益計	89,595,156	87,789,451	1,805,705
(2) 経常費用			
①事業費	74,584,245	60,738,302	13,845,943
給料手当	21,612,601	18,855,592	2,757,009
派遣委託費	3,120,402	0	3,120,402
福利厚生費	4,108,015	4,298,102	△ 190,087
会議費	1,600	0	1,600
旅費交通費	100,322	54,420	45,902
通信運搬費	3,805,156	1,810,008	1,995,148
減価償却費	111,718	129,700	△ 17,982
消耗品費	1,970,814	772,041	1,198,773
修繕費	7,260	0	7,260
印刷製本費	152,210	272,344	△ 120,134
光熱水費	148,735	756,011	△ 607,276
賃借料	1,851,534	1,071,156	780,378
保険料	75,600	64,585	11,015
諸謝金	1,278,835	742,130	536,705
租税公課	0	70,000	△ 70,000
委託費	35,381,278	30,996,920	4,384,358
広告宣伝費	735,075	796,685	△ 61,610
支払手数料	123,090	48,608	74,482

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費	9,274,472	8,153,976	1,120,496
役員報酬	1,760,000	1,680,000	80,000
福利厚生費	6,359,958	5,468,965	890,993
会議費	12,215	0	12,215
旅費交通費	50,761	15,218	35,543
通信運搬費	540,181	442,284	97,897
消耗品費	3,989	1,934	2,055
保険料	71,000	59,170	11,830
諸謝金	55,274	66,000	△ 10,726
租税公課	100,000	70,000	30,000
費用弁償	213,000	210,000	3,000
渉外費	24,604	4,320	20,284
支払手数料	83,490	136,085	△ 52,595
③大田区返納金	4,119,780	18,144,320	△ 14,024,540
1 区補助金分	4,022,071	17,813,820	△ 13,791,749
(1) 事業費補助分	0	3,213,866	△ 3,213,866
(2) 運営費補助分	4,022,071	14,599,954	△ 10,577,883
2 補助金事業収入分	97,709	330,500	△ 232,791
経常費用計	87,978,497	87,036,598	941,899
評価損益等調整前当期経常増減額	1,616,659	752,853	863,806
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,616,659	752,853	863,806
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損	233,377		
什器備品除却損	233,377		
経常外費用計	233,377	0	
当期経常外増減額	△ 233,377	0	△ 233,377
当期一般正味財産増減額	1,383,282	752,853	630,429
一般正味財産期首残高	4,011,891	3,259,038	752,853
一般正味財産期末残高	5,395,173	4,011,891	1,383,282
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	8,395,173	7,011,891	1,383,282

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

引当金なし

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000
合計	4,000,000	0	0	4,000,000

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産 定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
特定資産 定期預金	1,000,000	0	1,000,000	0
合計	4,000,000	3,000,000	1,000,000	0

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,137,839	573,129	564,710
合計	1,137,839	573,129	564,710

6 満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 (事業費, 運営費)	東京都 大田区	0	78,689,486	78,689,486	0	-
合計		0	78,689,486	78,689,486	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
基本財産	定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手許有高		55,813
	金庫1	運転資金	44,863
	金庫2	収納金収受用	10,950
預金	普通預金		9,809,033
	みずほ銀行 蒲田支店	運転資金	9,793,609
	三菱UFJ銀行 大森支店	運転資金	15,424
未収金		大田区受託料及び 補助金事業収益の未収金	2,618,550
前払金			0
流動資産合計			12,483,396
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	みずほ銀行 蒲田支店		3,000,000
特定資産			
運営管理積立資金	みずほ銀行 蒲田支店		1,000,000
その他固定資産			
什器備品			564,710
固定資産合計			4,564,710
資産合計			17,048,106
(流動負債)			
未払金		当年度に発生した費用で未払いのもの	8,022,111
給料手当			187,649
福利厚生費			200,689
旅費交通費			3,983
通信運搬費			255,243
消耗品費			232,932
委託費			2,496,230
派遣委託費			507,164
会議費			7,711
支払手数料			10,730
大田区返納金			4,119,780
前受会費		令和5年度分の賛助会員年会費	36,000
預り金		預り源泉所得税等	594,822
源泉徴収所得税			312,684
社会保険			195,821
雇用保険			85,367
収納金			950
流動負債合計			8,652,933
負債合計			8,652,933
正味財産			8,395,173

監査報告書

令和5年4月26日

一般財団法人国際都市おおた協会
理事長 成田 浩 殿

一般財団法人国際都市おおた協会

監事 安岡 大作

監事 佐々木 信久

私たち監事は、当財団の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和5年度（2023年度）

事業計画書

自 令和5年（2023年）4月 1日

至 令和6年（2024年）3月31日



一般財団法人国際都市おおた協会

Global City Ota Cooperation Association

目次

◆はじめに.....	1
◆事業方針.....	2
◆事業体系.....	3
◆重点事業.....	4
◆事業計画.....	5
1 多文化共生の推進に関する事業（定款第4条第1号関係）.....	5
2 国際交流の推進に関する事業（定款第4条第2号関係）.....	7
3 国際人材育成に関する事業（定款第4条第3号関係）.....	8
4 国際協力に関する事業（定款第4条第4号関係）.....	8
5 情報収集、調査研究及び広報（定款第4条第5号関係）.....	9
6 大田区及び他の公共機関等から受託する事業（定款第4条第6号関係）.....	10
7 その他事業（定款第4条第7号関係）.....	11

記載上の注意事項

●予算額について

予算額は、職員人件費等の共通事業費を除いた事業費のみを記載しています。

●事業区分について

予算の性質に応じて以下の3つの事業に区分し、事業名の上に記載しています。なお、事業内容によっては複数の区分に該当する場合があります。

（補）… 大田区からの補助金で行う事業

（委）… 大田区からの委託事業

（自）… 協会の事業費収入等で行う自主事業

●新規・重点事業について

令和5年度からの新規事業には「**新規**」、一部新規の事業には「**一部新規**」、令和5年度の重点事業には「**重点**」と記載しています。

はじめに

3年あまり続くコロナ禍も新規感染者数は減少してきており、様々な局面において大きな変化を見せ始めています。令和4年10月に水際対策が大幅に緩和されて以来、訪日外国人数は令和5年1月期に約150万人を数え、大田区における令和5年3月時点での外国人登録者数は、昨年度同時期よりも約2,000人増えて25,248人となりました。多言語相談窓口におけるコロナ関連の相談件数は、令和3年度741件に対し、令和4年度は半数程度に推移しています。さらに、政府は、今年5月に、感染症法上の分類を「2類相当」から「5類」へ引き下げることが決定しており、収束の気配が一層加速することが推察されます。

一方、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を端緒とした国際関係は未だ不安定な様相を呈しており、世界的なエネルギー価格の高騰をはじめ、食料品・原材料等の価格高騰が続き、円安の波も深刻さを増しています。こうした状況は、多くの人々の家計や生活環境にも影響を及ぼしています。また、少子高齢社会が進む日本において外国人の存在が欠かせない中、令和4年3月に発行されたJICAの調査・研究報告書によると、「2040年に日本の外国人労働者数は需要に対して42万人不足する」と言われています。特に、製造業や卸・小売業の分野の需要が高いと見込まれており、中小企業が集積する「産業のまち大田」においても、深刻な影響が懸念されます。

そのような状況下、6年目を迎えた本協会は、多文化共生社会を目指す中間支援組織として様々な活動を行ってきました。「おおた国際交流センター（Minto Ota）」が開設された令和4年度は、区や多言語相談窓口との連携の深まり、センターを拠点とした各種事業における様々な主体との連携・協働、地域との繋がりやボランティアをはじめとした区民との信頼関係の育み、情報・交流コーナーでの賑わいの創出等、センターの認知度の向上に努め、多文化共生の中核拠点として、その礎を築くことができました。

令和5年度は、これまでの取り組みを継続するとともに、日々刻々と変わる社会状況を的確に捉えた情報提供とサービスの実現を図るべく、様々な主体との「つなぎ役」として、より多くの場面創出に努めてまいります。加えて、羽田を玄関口とした外国人来訪者の増加と、これに伴うHICityを核とした産業交流の活性化に協力し、地域共生に向けた一人ひとりへのきめ細やかな支援に取り組んでいきます。とりわけ、子どもや保護者への支援に注力し、外国人に選ばれるまちを目指します。

さらに、個人及び集団での活動がさらに活発化していくことが想定される中、この機を「ポストコロナ＝新たなステージへのステップ」として捉え、第1次中期経営計画の下で育み、芽吹き始めてきた「多文化共生の種」を更に成長させられるよう、第2次中期経営計画の準備を着実に進めてまいります。そして、区の外郭団体としての責務及び「国際都市おおた」の担い手としての役割を念頭に、地域の力を活かした多文化共生社会の実現のための歩みを一層力強く進めてまいります。

事業方針

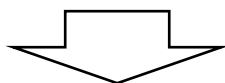
「第1次中期経営計画～GOCA スタートアッププラン～」(令和2～5年度)

【経営理念】

国際都市おおた協会は、新たなステージに向けてはばたく「国際都市おおた」の一翼を担い、地域の様々な力を結集して、多様な文化や価値観が共生する社会の実現をめざします。

【経営方針】

- 方針1 外国人住民が安心して暮らせるための支援を行います
- 方針2 区民の参画と協働を促進して交流を育みます
- 方針3 自立した経営体制を構築します



事業方針1 第1次中期経営計画の総括と第2次中期経営計画の策定

「第1次中期経営計画～GOCA スタートアッププラン～」の最終年となる令和5年度は、4カ年全体を振り返り、これまでの進捗評価や課題の整理・分析を行います。具体には、コロナの影響による社会情勢の変容、外国人の人口推移や生活実態の変化等、様々なファクター及びコンテクストを考慮した多角的な検証を行います。第2次中期経営計画においては、コロナ禍からの脱却を見据え、大田区をはじめとした行政が進める多文化共生施策に呼応した策定を進めてまいります。

事業方針2 地域の力を活かした多文化共生のまちづくり

多文化共生を推進するコーディネーターとして、地域全体の多文化共生意識の更なる醸成を図りながら、地域の関連団体、企業、区民などの多様な主体との信頼関係の構築に努めます。そして、多様な主体が様々な場面でその力を発揮できるよう、センターを拠点とした、地域及び区民主体による多文化共生のまちづくりを推進します。

事業方針3 外国人から選ばれる「国際都市おおた」の実現に向けた仕組みづくり

外国人住民の安心・安全な暮らしの環境整備、地域社会の担い手としての活躍促進、国籍を超えた互恵的な関係づくりなどをモットーとした事業を展開し、外国人から選ばれる「国際都市おおた」を目指します。多言語相談や日本語学習支援を通じて外国人住民にきめ細やかに寄り添いながら、外国人住民が地域社会で安心して暮らし、地域に溶け込み、活躍できるようサポートしていきます。

事業方針4 自立的且つ持続可能な組織体制及び運営基盤の強化

服務規程や人材育成制度の整備、ワークライフバランスの充実、適切な財務管理、コンプライアンスの徹底等、協会における体制とガバナンスをこれまで以上に強化していきます。また、自主事業の更なる充実と財源確保の多面化を図りながら、自立した組織運営の基盤強化に努めます。

事業体系

1 多文化共生の推進に関する事業

(定款第4条第1号関係)

- (1) 相談・情報提供
- (2) 通訳・翻訳
- (3) 日本語等の学習支援
- (4) 災害時外国人支援

2 国際交流の推進に関する事業

(定款第4条第2号関係)

- (1) 地域における国際交流
- (2) 海外都市との交流

3 国際人材育成に関する事業

(定款第4条第3号関係)

- (1) 国際交流ボランティアの活躍支援
- (2) 国際交流団体の活動促進

4 国際協力に関する事業

(定款第4条第4号関係)

- (1) 国際協力の意識啓発
- (2) 小さな国際協力

5 情報収集、調査研究及び広報

(定款第4条第5号関係)

- (1) 情報収集
- (2) ホームページの管理・運営
- (3) 広報紙の発行
- (4) 公式 SNS による情報発信
- (5) 「国際都市おおた」の啓発

6 大田区及び他の公共機関等から受託する事業

(定款第4条第6号関係)

- (1) 多言語情報紙の作成
- (2) 会議室の運営・管理
- (3) 情報・交流コーナーの活用・運営
- (4) 就労・定着支援

7 その他事業

(定款第4条第7号関係)

- (1) 会員募集
- (2) 広告募集
- (3) 寄附募集

重点事業

【重点事業1】多言語相談

外国人住民からの多様で複雑な相談に対し、相談者の状況やニーズに合った相談業務・情報提供を行っていきます。また、協会と相談窓口における双方向での相談者の橋渡しや区との連携を積極的に行うなど、センターの強みを最大限生かしつつ、多言語相談業務の更なる充実を図ります。

【重点事業2】日本語学習支援の充実

日本語が理由で様々な問題に直面している外国人住民や新たに日本を訪れる外国人向けに、多様な日本語学習の場を提供します。また、受講者のニーズや状況に応じて、対面、オンライン、ハイブリッド等、様々なアプローチを駆使した途切れのない継続的な支援を行います。そして、日本語学習支援団体や区内の学校等と GOCA が有機的に連携できる機会を創出し、一体的・総合的な日本語学習体制づくりを目指します。

【重点事業3】子ども及び保護者支援の拡充

外国につながるのある子どもやその保護者を対象とした支援を強化します。特に、区内の学校、日本語学習支援団体、ボランティア等の地域の様々な主体と緊密な連携・協力を図ることで、地域ぐるみで子どもたちの学習や成長を支える機運の醸成及び仕組みづくりに努めます。加えて、「小学校入学前オリエンテーション」や「多文化ファミリー交流会」等、保護者同士、子ども同士の対面交流事業を充実させ、子どもや保護者が気軽に集える居場所づくりを目指します。

【重点事業4】多文化共生の担い手育成と活躍支援

多文化共生の担い手育成及び活躍を促進するため、養成講座やセミナーを開催し、参加者が学んだことを活かせる機会を継続的に創出していきます。また、定期的にボランティア同士が交流できる場づくりや、ボランティア自らが主体的に行動できるような側面支援を行います。さらに、外国人や高校生・大学生などの若い世代のボランティアも協会事業のキーパーソンとして活躍できるような働きかけを行います。

【重点事業5】情報発信の強化

より広範囲に、そして、適切な人に必要な情報を届けられるよう、目的やターゲットに応じて SNS や HP などの広報媒体を使い分け、区や関連団体、ボランティアや外国人キーパーソン等を通じた、多様で多角的な情報発信に努めます。また、情報・交流コーナーでは、文字、写真、映像だけでなく、テーマに応じて展示物や体験的な要素を取り入れながら、訪問者が知識や学びを深められるような情報を提供していきます。

事業計画

1 多文化共生の推進に関する事業（定款第4条第1号関係）

（1）相談・情報提供【予算額：16,151,849円】

事業名	事業概要											
(補) 重点1 ①多言語相談・生活情報の提供	○一般相談 センター内に相談窓口を設置し、多言語で生活相談や情報提供を行います。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>英語</td> <td>月・火・水・金曜日</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">10時～17時</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>月・火・木・金曜日</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>月・金曜日</td> </tr> <tr> <td>ネパール語</td> <td>月・水曜日</td> </tr> <tr> <td>ベトナム語</td> <td>木曜日</td> </tr> </table>	英語	月・火・水・金曜日	10時～17時	中国語	月・火・木・金曜日	タガログ語	月・金曜日	ネパール語	月・水曜日	ベトナム語	木曜日
	英語	月・火・水・金曜日	10時～17時									
	中国語	月・火・木・金曜日										
タガログ語	月・金曜日											
ネパール語	月・水曜日											
ベトナム語	木曜日											
○専門相談 弁護士による法律相談を行います。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>第1・第3日曜日</td> <td style="text-align: center;">13時～17時 (事前予約制)</td> </tr> </table>	第1・第3日曜日	13時～17時 (事前予約制)										
第1・第3日曜日	13時～17時 (事前予約制)											
○情報提供 区内に転入してきた外国人に対し、日本の生活習慣等の情報提供を行い、地域での円滑な生活をサポートします。												
(補) 重点1、3 ②保護者への情報提供	○小学校入学前オリエンテーション 外国人の保護者を対象に、日本の学校生活や入学前の準備等に関する説明会を行い、日本の小学校に対する知識の向上と不安の軽減を図ります。 [日程]令和6年1月頃予定											

（2）通訳・翻訳【予算額：5,288,678円】

事業名	事業概要
(補) ①区への通訳派遣及び翻訳の協力	区からの依頼に応じて、区施設への通訳派遣及び行政情報の翻訳・校正を行います。
(補) ②区提出文書の翻訳	多言語相談窓口において、外国人住民が区の行政手続で提出する外国で発行された証明書等の文書の翻訳を行います。
(自) 重点4 ③ボランティア通訳・翻訳サービスの実施	外国人住民等の依頼に応じて、ボランティアによる通訳の派遣及び文書の翻訳を行います。

(3) 日本語等の学習支援【予算額：12,670,349 円】

事業名	事業概要
<p>(補・自) 重点2 ①日本語講座の開催</p>	<p>○初級日本語講座 ひらがなとカタカナの読み書き、簡単な日常会話など、生活上必要なサバイバル日本語を学ぶための講座を開催します。 〔日程〕 令和5年5月～7月、9～11月、 令和6年1月～3月頃予定 (全10回×3期)</p> <p>○日本語講座「学校プリントを読もう」 外国人の保護者を対象に学校プリントを読むときのコツや学校特有の単語の意味等を学ぶための講座を開催します。 〔日程〕 令和6年2月～3月頃予定 (全5回)</p> <p>○おたこども日本語教室 不就学・未就学の子どもを対象に日本語教室(蒲田・大森)を開催し、小中学校へのスムーズな就学をサポートします。 〔日程〕 通年実施(週3回・在籍期間は最長6か月)</p> <p>○マンツーマン語学レッスン 外国人住民又は地域住民とボランティアをマッチングし、日本語学習や外国語学習をサポートします。 〔日程〕 通年実施</p>
<p>(補) 重点2、4 ②日本語ボランティア養成講座の開催</p>	<p>○多文化共生に向けた日本語学習支援講座(基礎編・ステップアップ編) 区内のボランティア日本語教室等で日本語学習支援を行いたい方に向けた基礎講座や、現在日本語教室等で活動中の支援者及び日本語ボランティア入門講座の修了者を対象としたステップアップ講座を開催します。 〔日程〕 令和5年6～9月頃予定</p>
<p>(補) 重点2 新規 ③地域日本語教育の体制・環境づくり</p>	<p>地域のニーズや学習者の実情に応じたより効果的な学習機会の提供に向け、区内の日本語学習支援団体や学校等と情報を共有するなど、更なる充実に努めます。</p>
<p>(補) 重点3、4 ④子どもの学習支援</p>	<p>○こども学習支援ボランティア養成講座 外国人の子どもの学習支援を行うボランティアを養成するための講座を開催します。 〔日程〕 令和5年6月～7月頃予定 (全6回)</p> <p>○夏休み学習教室 養成講座の修了者が、外国人の子ども向けに夏休みの宿題や自由研究のサポートを行います。 〔日程〕 令和5年8月頃予定 (全3回)</p> <p>○こども学習支援教室/一部新規ボランティアの派遣型こども学習支援教室 養成講座の修了者が、外国人の小学生に対し、日々の宿題や日本語学習のサポートを行います。また、区内の小学校にボランティアを派遣して行う学習支援教室開催に向けた準備を進めます。 〔日程〕 令和5年4月～7月頃予定 (全8回) 令和5年9月～12月頃予定 (全10回) 令和6年1月～3月頃予定 (全8回)</p>

(4) 災害時外国人支援【予算額：304,539 円】

事業名	事業概要
(補) ①災害時要支援外国人相談窓口の体制の確立	災害時要支援外国人相談窓口の円滑な設置・運営に向けて、「設置・運営マニュアル」の検証及びアップデートを行います。
(補) 重点4 ②災害時外国人支援ボランティアの養成	災害時に通訳・翻訳等で外国人支援を行うボランティアを募集・登録し、スキルアップのための講座・訓練を行います。 [日程] 令和5年6月、9月～10月、令和6年1～2月頃予定 (シミュレーション訓練1回、講習会及び訓練計3回)

2 国際交流の推進に関する事業 (定款第4条第2号関係)

(1) 地域における国際交流【予算額：644,379 円】

事業名	事業概要
(補) ①日本語でプレゼンテーションの開催	従来の「日本語でスピーチ」から「日本語でプレゼンテーション」に名称を変更します。日頃の日本語学習の成果や目標、抱えている思い等を、画像や映像等を用いて発表する場を提供し、日本語学習者や日本語ボランティア等のモチベーション向上を図るとともに、地域交流及び相互理解を促進します。 [日程] 令和5年10月または11月頃予定
(補) 重点3 ②多文化交流会の開催	○0ta スポーツで国際交流 スポーツを通じた外国人住民との交流会を開催し、若者同士の相互理解と顔の見える関係づくりにつなげます。 [日程] 令和5年12月頃予定 ○0ta 多文化ファミリー交流会 地域における多文化理解の促進を目的として、国際交流ボランティアの中で実行委員会をつくり、地域に住む子ども達やその保護者向けに国際交流イベントを開催します。 [日程] 令和5年5月、8月、11月、令和6年2月頃予定 (全4回)
(補) ③ホームビジットイベントの実施	○ホームビジットイベント 外国人留学生などが日本人の家庭を訪問し、日本人の生活文化を体験するとともに、交流を通して相互理解を図ります。 [日程] 令和6年2月～3月頃予定
(自) ④地域と連携した事業の開催	○GOCA カフェ (にほんごではなそう) 地域交流・国際交流の一環として、外国人住民と地域住民が定期的に集い語り合う場を提供します。 [日程] 令和5年5月～令和6年3月頃予定 新規 ○日本の伝統文化体験 外国人住民が日本の文化に触れ、地域の中でより充実した生活が送れるよう、日本の伝統文化を体験できる機会を提供します。 [日程] 令和5年10～11月頃予定

(2) 海外都市との交流【予算額：0 円】

事業名	事業概要
(補) 姉妹都市等との交流事業への協力	区が行う姉妹都市や友好都市等との交流事業の実施に協力します。

3 国際人材育成に関する事業（定款第4条第3号関係）

(1) 国際交流ボランティアの活躍支援【予算額：754,943円】

事業名	事業概要
(補) 重点4 ①国際交流ボランティアの募集・登録	国際交流ボランティアを募集・登録し、協会事業を中心に様々な場面での活躍につなげます。
(補) 重点4 ②スキルアップ講座の開催	○多文化共生社会の担い手育成セミナー 多文化共生社会の実現に向けた課題や今後の展望について理解を深め、多文化共生社会の担い手としての在り方や心構えを学ぶための講座を開催します。 〔日程〕令和5年5～6月頃予定（全2回）
(補・自) 重点4 ③ボランティアグループの形成・活動	○外国人取材記事「隣の外国人」の作成 国際交流ボランティアの中で実行委員会をつくり、地域で活躍する外国人住民の取材記事を作成します。 〔発行回数〕6回予定
	○ボランティア交流会 国際交流ボランティア同士の連携や親睦を深めるため、交流会を開催します。 〔日程〕令和5年4月頃予定
(自) 重点4 ④語学講座の開催	新規 ○中核的なボランティアの育成 国際交流ボランティアの主体的な活動を促進するため、GOCA 事業への関わり方について、ボランティアと共に議論・検討を行います。 外国人の国際交流ボランティアを講師とした語学講座を開催します。 〔日程〕令和5年8月～9月、令和6年1月～3月頃予定（全8回×2期）

(2) 国際交流団体の活動促進【予算額：0円】

事業名	事業概要
(補) 国際交流団体との連携・協力体制の強化	センターを拠点として、国際交流団体との連携・協力体制の強化、地域における国際交流活動の活性化に向けた方策の検討・実現を図ります。

4 国際協力に関する事業（定款第4条第4号関係）

(1) 国際協力の意識啓発【予算額：25,000円】

事業名	事業概要
(自) 重点4 国際協力・理解講座講師の紹介	学校や団体からの希望に応じて、令和4年に開催した「ファシリテーション講座」の受講者や教育機関等で講師経験のあるボランティアを講師として紹介します。

(2) 小さな国際協力【予算額：7,780 円】

事業名	事業概要
(補) 使用済み切手等の寄付	使用済み切手や書き損じはがき、外国のコイン等を収集し、開発途上国において教育や医療等の支援活動を行っている団体に寄付します。

5 情報収集、調査研究及び広報 (定款第4条第5号関係)

(1) 情報収集 【予算額：0 円】

事業名	事業概要
(補) 重点5 他団体の交流・連携を通じた情報の収集	(一財)自治体国際化協会や(一財)東京都つながり創生財団等の他団体との交流・連携を通して、多文化共生や在住外国人に纏わる最新情報(人口動態、施策、統計データ等)を収集します。

(2) ホームページの管理・運営【予算額：1,501,500 円】

事業名	事業概要
(補) 重点5 ホームページによる情報発信・情報公開	ホームページ (https://www.ota-goca.or.jp/) で協会活動の情報発信及び法人情報の公開を行います。

(3) 広報紙の発行【予算額：433,410 円】

事業名	事業概要
(補) 重点5 ①「GOCA ニュース from おおた」の発行	ニューズレター「GOCA ニュース from おおた」を発行し、協会の活動内容やイベントの様子などを広く周知します。 [発行回数] 4回予定(令和5年6月、9月、12月、令和6年3月)
(補) 重点5 ②リーフレットの発行	協会活動の周知、知名度向上のため、協会事業の概要を掲載したリーフレットを発行・配布します。

(4) 公式SNSによる情報発信【予算額：0 円】

事業名	事業概要
(自) 重点5 Facebook等の運用	Facebook、Instagram等を運用し、協会が開催するイベント・講座情報、災害発生時の緊急情報などを随時発信します。

(5) 「国際都市おおた」の啓発【予算額：495,000 円】

事業名	事業概要
(補) 重点5 啓発グッズの製作及び活用	「国際都市おおた」をPRするためのグッズを製作し、協会の事業やイベントなどで活用することで、区民の多文化共生意識の啓発やセンターの認知度向上を図ります。

6 大田区及び他の公共機関等から受託する事業（定款第4条第6号関係）

（1）多言語情報紙の作成【予算額：8,132,080円】

事業名	事業概要
（委） 「Ota City Navigation」 の作成	外国人住民のための多言語情報紙「Ota City Navigation」を作成します。 [発行回数] 年8回発行予定 [言語] やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語

（2）会議室の運営・管理【予算額：686,400円】

事業名	事業概要
（委） 会議室の貸館業務	国際交流団体等が実施する各種イベントや集会等においてセンターの会議室を貸し出し、国際交流活動や地域活動の増進へとつなげます。 [日程] 通年（ただし、12月29日～1月3日及びセンター休館日を除く）

（3）情報・交流コーナーの活用【予算額：1,600,000円】

事業名	事業概要
（委） 重点5 情報・交流コーナーにおける企画展示	SDGs や災害など、その時々テーマに沿った写真や実物を定期的に展示し、センター来訪者の多文化共生や国際交流に係る学びや意識啓発を促します。 [日程] 4回実施予定

（4）就労・定着支援【予算額：355,740円】

事業名	事業概要
（委） 介護の日本語講座の開催	外国人が福祉施設で働くために必要な日本語やマナー等を学ぶ講座・ワークショップを開催し、定着支援を行います。 [日程] 未定（全8回予定）

7 その他事業（定款第4条第7号関係）

（1）会員募集【予算額：39,800円】

事業名	事業概要
（自） 賛助会員の募集	協会の目的に賛同し、活動を支援してくれる個人及び法人・団体の賛助会員を募集します。

（2）広告募集【予算額：0円】

事業名	事業概要
（自） 「GOCAニュース from おおた」への広告募集・掲載	協会が発行するニュースレター「GOCA ニュース from おおた」に掲載する民間事業者の広告を募集します。

（3）寄附募集【予算額：0円】

事業名	事業概要
（自） 寄附金の募集	協会の経営基盤強化のため、広く一般に寄附金を募集します。

令和5年度(2023年度)
収 支 予 算 書
資金調達及び設備投資の見込み

自 令和5年(2023年)4月 1日

至 令和6年(2024年)3月31日



一般財団法人国際都市おおた協会

Global City Ota Cooperation Association

一般財団法人国際都市おおた協会
令和5年度 収支予算書

[正味財産増減計算ベース]

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	25	100	△ 75
基本財産受取利息収入	25	100	△ 75
特定資産運用収益	10	0	10
特定資産受取利息収入	10	0	10
受取会費	130,000	50,000	80,000
賛助会員受取会費	130,000	50,000	80,000
事業収益	1,061,100	1,096,800	△ 35,700
補助金事業収入	464,500	328,000	136,500
自主事業収入	596,600	768,800	△ 172,200
受取補助金等	100,322,693	87,814,580	12,508,113
受取大田区補助金	88,728,473	78,254,486	10,473,987
大田区受託料	11,594,220	9,560,094	2,034,126
雑収入	200	200	0
受取利息収入	200	200	0
経常収益計	101,514,028	88,961,680	12,552,348
(2) 経常費用			
①事業費	88,491,145	77,559,407	10,931,738
給料手当	22,570,640	23,974,800	△ 1,404,160
派遣委託費	3,142,614	0	3,142,614
福利厚生費	6,226,325	5,882,975	343,350
旅費交通費	317,360	297,000	20,360
通信運搬費	3,772,989	4,394,481	△ 621,492
減価償却費	235,099	108,817	126,282
消耗品費	3,451,584	2,227,440	1,224,144
修繕費	151,360	150,700	660
印刷製本費	696,610	225,958	470,652
光熱水料費	0	108,396	△ 108,396
賃借料	2,393,641	1,760,880	632,761
保険料	130,270	125,000	5,270
諸謝金	1,989,945	1,635,521	354,424
委託費	41,325,968	35,060,970	6,264,998
広告宣伝費	1,501,500	1,134,933	366,567
渉外費	106,000	0	106,000
支払手数料	479,240	471,536	7,704

一般財団法人国際都市おおた協会
令和5年度 収支予算書

[正味財産増減計算ベース]

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
②管理費	11,780,947	10,993,854	787,093
役員報酬	1,980,000	1,860,000	120,000
福利厚生費	7,640,000	7,364,067	275,933
会議費	6,000	31,000	△ 25,000
旅費交通費	195,840	195,840	0
通信運搬費	1,086,065	848,465	237,600
消耗品費	9,418	9,418	0
保険料	71,004	71,004	0
諸謝金	330,000	132,000	198,000
租税公課	100,000	100,000	0
費用弁償	249,000	237,000	12,000
渉外費	25,000	25,000	0
支払手数料	88,620	120,060	△ 31,440
③大田区返納金	464,500	328,000	136,500
経常費用計	100,736,592	88,881,261	11,855,331
当期経常増減額	777,436	80,419	697,017
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	233,377	△ 233,377
固定資産除却損	0	233,377	△ 233,377
当期経常外増減額	0	△ 233,377	233,377
当期一般正味財産増減額	777,436	△ 152,958	930,394
一般正味財産期首残高	1,136,951	1,289,909	△ 152,958
一般正味財産期末残高	1,914,387	1,136,951	777,436
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	4,914,387	4,136,951	777,436

一般財団法人国際都市おおた協会
資金調達及び設備投資の見込みについて
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中に借入の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定は、
下記のとおりです。

設備投資の内容	予定額(円)	資金調達の方法
情報交流コーナー 常設展示用プロジェクター (施工費含む)	820,000	大田区受託料

収支予算書に対する注記

基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の前期末残高及び財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産 定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
特定資産 定期預金	1,000,000	0	1,000,000	0
合計	4,000,000	3,000,000	1,000,000	0

報告第 24 号

公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類の提出について
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、公
益財団法人大田区産業振興協会の下記の書類を提出する。

令和 5 年 6 月 15 日

提出者 大田区長 鈴木 晶 雅

記

公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類

- 1 令和 4 年度事業報告書
- 2 令和 4 年度決算書
- 3 令和 5 年度事業計画書及び収支予算書

令和 4 年 度
公益財団法人大田区産業振興協会
事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

令和4年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

令和4年度 総括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業（定款第4条(1)関係）	2
2 区内中小企業の経営支援に関する事業（定款第4条(2)関係）	4
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業（定款第4条(3)関係）	10
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業（定款第4条(4)関係）	18
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業（定款第4条(5)関係）	21
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業（定款第4条(6)関係）	26
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から 受託する事業（定款第4条(7)関係）	29
令和4年度 産業プラザ施設利用状況<別表A>	30
施設利用収入状況<別表B>	31
理事会・評議員会	33
協会組織強化	34
研修	35

令和4年度総括

令和4年度は、コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻等に起因する半導体の不足、急激な円安、世界的なインフレ加速など、日本経済がかつてない危機を経験する中、区内産業は高止まりする燃料・電気代に加え、原材料の高騰や資材不足による強い下押し圧力を受けながらも、持ち直しの動きを続けてきました。

このような状況下、（公財）大田区産業振興協会は、蒲田 Pi0、羽田 Pi0 そしてデジタル Pi0 の3本柱の基に産業者への様ざまな支援を展開してまいりました。

蒲田 Pi0 は、大田区産業プラザ1階に Pi0 フロントを設置。創業を始め各種ビジネスに関する相談に応じ、最適な支援につなげる「産業の掛かりつけ医」として多くのご利用をいただきました。また、大展示ホールは特定天井改修工事を終え、本年4月から利用を再開しております。

羽田 Pi0 では、職員の創意工夫による「超専門技術ミニ展示会」を3回開催。業界や専門家に多くお越しいたごき、参加企業のビジネスチャンス拡大に寄与しました。

そして、デジタル Pi0 は、時と場所を選ばず、出会い・つながり・交流する新しい形の Pi0 として運用。すでにメンバー登録が1,300件を超えております。

このほか、協会の短期計画である「産業ロケットアクション 500DAYS」の策定、協会オリジナル「令和5年度 当初予算プレス」を YouTube 動画付で発表するなど、組織一丸となって、アフターコロナを見据えた産業者支援への土台づくりを行ってまいりました。

令和5年度は、物価上昇と海外景気悪化という強い逆風に、不透明な金利動向などの懸念材料が加わる中で、景気の腰折れを回避し経済活動の正常化と着実な成長に挑戦する年となります。

（公財）大田区産業振興協会は、世界情勢や社会状況の変化を的確に捉え、より一層のシームレスな支援を続けていくとともに、これらを実行する職員一人ひとりのポテンシャルを高めることで、大田区のすべての「産業者の応援団」として、皆様の期待に応えてまいります。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条（1）関係】

【重点取り組み事項】

- ・年6回、奇数月、産業情報誌「テクノプラザ」を発行し、区内約4,000の製造事業者配布。取引拡大や人材確保等の先行事例、支援事業等、大田区企業に必要な情報をタイムリーに発信し、経営力の向上を図った。
- ・区内産業のプロモーションとして大田区「優工場」認定企業や「大田のお土産100選」表彰商品・製品を、パンフレット・ホームページ等を通じて広く周知し、区内企業の優位性や区内商品・製品の魅力を区内外に発信した。

① 大田区産業振興普及事業

【予算額 424,000円（うち区補助）424,000円】

【決算額 386,537円（うち区補助）386,537円】

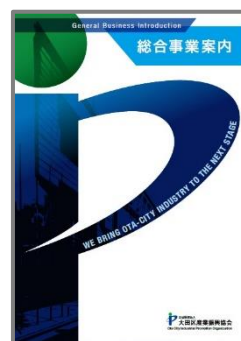
（ア）総合事業案内冊子の配布

協会窓口等で随時配布。

（イ）大田区工業ガイドWeb版の紹介（日本語版・英語版）

（ウ）視察対応

国内	106団体	619人
海外	12団体	106人



【総合事業案内】

② 大田区ブランド発信事業

【予算額 0円】

【決算額 0円】

協会Webサイトにおいて、区内中小企業等のブランド力維持・向上に資する先進的な取り組みを特集する記事や、協会事業の効果的な活用事例の紹介等を発信した。

令和4年 4月	（一社）デジタル田園都市国家構想応援団主催「頑張る自治体へのイノベーション提案&交流会」
6月	受・発注あっせん相談サービス「大田区の技が光る最終製品への取り組み」
7月	協会事業活用術！仲間とおおた商い・観光展2021に参加！展示会に共同出展！
	ひと味違う新しい助成金のカタチ「ユナイト助成事業とは」スタートアップ企業と大田区企業を結びつけます
令和5年 1月	特集 新春座談会「大田区製造業のDX化に向けた取り組み」
3月	助成金から人材確保まで～協会事業の活用術～

③ 産業情報誌の発行

【予算額 4,701,000円（うち区補助）4,701,000円】

【決算額 3,730,857円（うち区補助）3,730,857円】

区内製造業向けに支援策の概要を周知するために、隔月（奇数月）発行。

「テクノプラザ」	A4判 各号4,200部
年6回発行（5・7・9・11・1・3月号）	



【テクノプラザ】

④ 産業情報受発信事業

【予算額 4,556,000円（うち区補助）4,256,000円】

【決算額 4,186,778円（うち区補助）3,976,778円】

(ア) 産業情報の収集と提供

・産業関連情報誌の購入：116冊 ・寄贈：209冊 ・新聞購入：4紙

(イ) 区内中小企業の情報発信

・区内中小事業者（大田区「優工場」認定企業、「大田のお土産100選」表彰製品・商品等）を、ホームページ等を通じて広く周知した。

(ウ) 協会ホームページによる情報発信

・随時発信 (<https://www.pio-ota.jp/>)
・年間アクセス件数：713,998件
・年間閲覧ページ数（PV）：3,314,515件
※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は、サブサイト「大田区産業プラザ（貸館予約）」、「大田区ものづくり 研究開発マッチングシステム(mirai)」、「おしごとナビ大田区」の件数を含まない。



【協会ホームページ】

(エ) プレスリリース配信サービスの活用

・プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を活用し、12回の発信を行った。

⑤ 調査・研究事業

【予算額 0円（うち区補助）0円】

【決算額 0円（うち区補助）0円】

【重点取組み事項】

- ・令和4年4月から、大田区産業プラザ1階入口において「Pi0 フロント」を設置した。ここでは、館内の各支援機関窓口への橋渡しをはじめとする総合相談窓口機能を有するとともに、協会事業であるデザイン相談（Pi0 デザイン工房）、ビジネス相談（専門家派遣）及び創業相談（創業相談窓口）の受付窓口を集約させて、産業プラザ全体の利便性を高めた（Pi0 フロント利用者計 3,291 人）。
- ・創業者支援事業では、創業期におけるさまざまな課題解決に向け、スキルアップを目指して積極的な取組みを行った。一昨年度から始まったベンチャーピッチ in 羽田は、3回目で初めて羽田イノベーションシティ内 Pi0 PARK でリアルに開催を行い、スタートアップ支援の拠点としての HANEDA×Pi0 の認知度向上につながった。
- ・「創業相談窓口」
窓口での相談件数は延べ 805 回と、昨年度（延べ 575 回）に比べ約 1.4 倍と大幅に増加し、継続的な相談や国の特定支援事業を案内するなど、区内創業を促進した。
- ・「ものづくり創業スクール」（創業体験ワークショップ）
ビジネスプランを形にする体験ワークショップを開催、延べ 46 人が参加。
事業計画書の作成について基礎セミナーと演習を行うことで、参加者にとってよりリアルな、今後の起業につながる場となった。
- ・「スタートアップ試作支援」（創業セミナー及びベンチャーピッチ in 羽田）
創業に必要な知識である、経営や財務に関する創業セミナーを4回にわたり開催し（延べ 71 人が参加）、区内創業の促進に努めた。コーチングを経た成果発表の場となる「ベンチャーピッチ in 羽田」では、創業希望や創業間もない企業・団体から 26 件の応募があり、うち 10 件のビジネスプランをコーチングによりブラッシュアップし、パートナー企業 9 社に対してピッチを行った。会場では、質疑応答やパートナー企業からのアドバイスが活発に行われ、創業者にとって今後の成長につながる機会を創出した。
- ・「工場表彰制度」事業は、10 社を優工場に認定した。認定特典である動画、パンフレット等の各種 PR ツールについて、取引拡大のみならず人材採用にも活用できるように内容を充実させた。
- ・「大田の工匠 技術・技能継承」表彰事業では、令和3年度受賞企業に対して羽田イノベーションシティ内 Pi0 PARK にて表彰式を開催。同時に、事業の集大成として平成 29 年度から令和 3 年度の歴代受賞者による記念シンポジウムを開催し、「技術・技能継承」と「若手人材の育成・確保」の重要性を啓発する場を設けた。

① 中小企業情報化支援

【予算額 5,154,000 円（うち区補助）2,844,000 円】

【決算額 3,872,267 円（うち区補助）2,232,167 円】

ホームページ・PR ツール作成支援サービス（Pi0 デザイン工房）

利用回数 延べ 197 回 新規利用者数 21 社

② ビジネスサポートサービス

【予算額 13,739,000 円（うち区補助）13,739,000 円】

【決算額 10,416,598 円（うち区補助）10,416,598 円】

(ア) ビジネスサポート相談（専門家派遣）

区内中小企業等が抱える経営、販路開拓、技術力や生産性の向上、事業継承などの様ざまな課題に対し、解決を図るため、専門家（支援協力者）等を派遣する相談事業を実施した。

専門家派遣回数	延べ 597 回	支援協力者 登録数	116 人
---------	----------	--------------	-------

(イ) 経営サポートセミナー

実施日	テーマ等	参加者数	成果
令和4年9月2日	「SNS時代に生きる町工場の新しい顧客開拓」 実施方法：オンライン「OTA デジタル×PiO」 配信会場：PiO PARK 講師： ・ハタノ製作所 代表 波田野 哲二氏 ・株式会社松浦製作所 技術 色川 泰広氏	162 人	満足度 (アンケート) 94%
令和5年1月16日	「創業者交流会」 会場：PiO PARK 講師： ・AaaCS 合同会社（昼飯屋）代表 高瀬 明子氏 ・合同会社八鈴（八鈴堂）代表 鈴木 智香氏	10 人	満足度 (アンケート) 100%

(ウ) 各種許認可等取得支援助成金

許認可等の種類	助成金交付企業数
・エコアクション21（1件） ・医療機器製造業登録（2件） ・プライバシーマーク（2件） ・ISO27001（1件）	6 社（6 件）

(エ) PiO フロント

(a) PiO フロントにおける相談等実績

内容	利用者数（延べ）
創業相談（創業相談窓口）	665 人
ビジネスアイデア相談	44 人
ビジネス相談（専門家派遣）	275 人
デザイン相談（PiO デザイン工房）	175 人
窓口相談	181 人
電話相談	438 人
館内案内	1,329 人
その他利用（他事業打合せ、見学等）	184 人
合計	3,291 人

(b) Pi0 フロントショーケーシング

創業相談やビジネスサポートサービス等を利用している方が、自身の事業の魅力やPR できる場とすることを目的に、Pi0 フロントショーケーシングを設置。

展示点数 (令和4年7月から)	延べ42点
--------------------	-------



【Pi0 フロント ショーケーシング】

(オ) 大田区デジタルプラットフォーム (OTA デジタル×Pi0)

内容	利用者数
メンバー登録者数	1,309人
コンテンツ発信件数 (イベント、マガジンページ)	33件



【OTA デジタル×Pi0 ホームページ】

③ 繁盛店創出事業

【予算額 18,456,000円 (うち区補助) 18,456,000円】

【決算額 13,309,281円 (うち区補助) 13,309,281円】

(ア) 個店診断・改善費用助成

小売店、飲食店及びサービス業事業者の抱える課題解決のため、専門員による経営相談及び改善提案を行ったほか、店舗の改装や宣伝広告などに要する改善費用の一部を助成した。

専門員派遣件数	うち店舗改善費用助成件数
50件	20件



【繁盛店創出事業案内】

(イ) 商業版産業情報誌の発行

商店・サービス業事業者向けの情報誌を発行し、商店街を中心に区内の店舗に配布することで、大田区産業の活性化を図った。

「あき now」発行	A4判 年2回 (各回8,000部)
------------	--------------------



【あき now】

④ 創業者支援事業

【予算額 19,901,000円 (うち区補助) 19,901,000円】

【決算額 13,753,749円 (うち区補助) 13,753,749円】

(ア) 創業相談窓口の設置

創業相談窓口相談件数	延べ805回
------------	--------

(イ) 区内創業を促進するセミナー等の実施

(a) ものづくり創業スクール（創業体験ワークショップ）

実施日	タイトル・講師等	参加者数
第1回 令和4年8月3日	創業基礎セミナー 「起業の準備から成長プロセスサイクルを描く」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏	17人
第2回 令和4年8月17日	事業計画書作成ワーク（1） 「事業計画書の作成指導と演習」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏	12人
第3回 令和4年8月24日	事業計画書作成ワーク（2） 「事業計画書のブラッシュアップ」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏 メンター：ソシオネット株式会社 山下 聖氏 エイチタス株式会社 北 周一郎氏	10人
第4回 令和4年8月31日	成果発表 「事業計画書の発表」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏 メンター：ソシオネット株式会社 山下 聖氏 エイチタス株式会社 北 周一郎氏	7人

(b) 創業セミナー

実施日	テーマ・講師	参加者数
第1回 令和4年9月7日	経営計画 「経営計画の作り方とポイント」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏	21人
第2回 令和4年9月14日	財務 「起業家に求められる財務知識とは」 講師：山崎税理士事務所 山崎 直彦氏	19人
第3回 令和4年9月21日	人材育成 「創業初期での人材・チームのあり方とは」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏 事例紹介者：Buddycare 株式会社 原田 和寿氏 アンデックス株式会社 三嶋 順氏	15人
第4回 令和4年9月28日	販路開拓 「販路の描き方と顧客とのエンゲージづくりについて」 講師：イー・リゾート 釘持 勝氏	16人

(c) スタートアップ試作支援（ベンチャーピッチ in 羽田）

概要	
参加者募集	令和4年10月1日～11月10日
参加者選定会	令和4年11月15日 ※応募26件から10件を選定
全体コーチング	第1回 令和4年12月7日 第2回 令和4年12月14日

個別コーチング	令和4年12月～令和5年2月の3か月間、月2回を目安に実施
ピッチイベント	令和5年2月17日 会場：Pi0 PARK ※CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）などのパートナー企業に対してピッチを実施
<p>【パートナー企業】（9社）</p> <p>株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ、ジャフコグループ株式会社、東急株式会社、東洋製罐グループホールディングス株式会社、トッパン・フォームズ株式会社、株式会社ニコン、日本航空株式会社、株式会社FUNDINNO、ヤマトホールディングス株式会社</p>	
登壇企業・団体名	ビジネスプランタイトル
株式会社ARDe	ARトレーサビリティ管理システム
株式会社Emyu	ペットの電子パスポート
株式会社GreatValue	持続可能な住民同士の助け合い事業
株式会社CyberneX	イヤホン型Brain Computer Interface(BCI)を用いた脳情報活用支援サービス
SK8INSOLL 株式会社	AI 歩行診断から100歳まで社会に貢献できる強い足腰を提供するソリューション
fabula 株式会社	大田区内企業の技術力を結集してゴミから感動をつくる
株式会社FullDive	モーションキャプチャスタジオの新規設立と、メタバース向けのリッチなモーションキャプチャについて
株式会社モノマネ	捨てるを無くし、モノの人生を変える。家庭のモノのサーキュラーエコノミー
RIDE DESIGN/ ライドデザイン	転ばない電動バイク開発PJ
LINDA PESA 株式会社	アフリカ中小ビジネス向け金融インフラの開発

(ウ) ユナイト助成

助成件数 3社（申込件数 4社）	
企業名	事業テーマ
合同会社BirthT	国内初のベルトコンベア型3Dプリンタ「LeeePRO」開発・製造
株式会社水龍堂	新型ROV（水中ドローン）フレーム試作
SK8INSOLL 株式会社	東京インソールの製造を海外から大田区内の企業へ移行

⑤ 工場表彰制度

【予算額 3,680,000 円（うち区補助）3,580,000 円】

【決算額 3,056,832 円（うち区補助）3,056,832 円】

申込企業	11 社
認定	認定 10 工場、うち表彰 3 工場
	認定工場：10 社 株式会社品川測器製作所（総合部門賞） 昭光機器工業株式会社（人に優しい部門賞） 株式会社新興化学（まちに優しい部門賞） アロニクス株式会社 協和工業株式会社 株式会社コトブキ シナノ産業株式会社 株式会社志村精機製作所 株式会社城南 日新電気株式会社
累計	288 社 実数 189 社（令和 5 年 3 月末現在）
実地調査	令和 4 年 8 月 31 日～9 月 2 日
審査会	令和 4 年 10 月 17 日
表彰	新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式を中止し、認定証等を各企業にお届け



【実地調査】



【優工場パンフレット】

・アンケート調査の実施

前年度（令和 3 年度）認定企業 8 社にアンケートを実施。認定を受けたことによる特典など、87.5%の企業が同事業に対して満足しているとの回答を得ている。

⑥ 商店（飲食店）表彰制度

【予算額 1,913,000 円（うち区補助）1,913,000 円】

【決算額 1,760,954 円（うち区補助）1,760,954 円】

広報活動	最新の店舗情報に更新した総合版いちおしグルメパンフレットを 15,000 部増刷、配布。
------	--

⑦ 大田区優秀技術者表彰事業「大田の工匠 技術・技能継承」

【予算額 2,294,000 円（うち区補助）2,294,000 円】

【決算額 2,405,268 円（うち区補助）2,405,268 円】

令和 3 年度 受賞企業表彰式 記念シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年 11 月 8 日 羽田イノベーションシティ内「PiO PARK」にて 11 社（11 組）表彰 同日に「大田区工匠 100 人」「大田の工匠 Next Generation」「大田の工匠技術・技能継承」の総決算として、橋本審査委員長をモデレーターに記念シンポジウムを開催。平成 29 年度から令和 3 年度の受賞者各 1 組（合計 5 組）が登壇
--------------------------------	---

⑧ 大田のお土産 100 選 表彰事業

【予算額 240,000 円（うち区補助） 240,000 円】

【決算額 236,554 円（うち区補助） 236,554 円】



【大田のお土産 100 選 ホームページ】

<p>展示・販売</p>	<p>① 羽田イノベーションシティ丸善雄松堂 Creadisce (クレアディスカ) で「大田のお土産 100 選」常設販売、ものづくり事業者 24 社の製品を販売</p> <p>② 令和 4 年 4 月 16 日～17 日 B.LEAGE アースフレンズ東京 Z「カマタイチバ」納品販売 8 事業者</p> <p>③ 令和 4 年 9 月 17 日～19 日 東急プラザ蒲田「大田のお土産 100 選フェア」出展販売 8 事業者、納品販売 4 事業者</p> <p>④ 令和 4 年 10 月 1 日～2 日 B.LEAGE アースフレンズ東京 Z「カマタイチバ」納品販売 3 事業者</p> <p>⑤ 令和 4 年 11 月 5 日～6 日「OTA ふれあいフェスタ」出展販売 5 事業者</p>
<p>広報活動</p>	<p>タリーズコーヒー羽田イノベーションシティ店に「大田のお土産 100 選」の製品・商品を常時紹介</p>

3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

【定款第 4 条（3）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・「受・発注商談会」は、年 1 回（2 月）参加企業 156 社（発注企業 54 社、受注企業 102 社）で開催。商談会会場では新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、区内中小企業に対し 354 の商談案件を提供した。
- ・海外取引相談では、オンラインを活用した「ミニ国際ビジネス商談会 with 台湾」を開催し、台湾企業との取引拡大を希望する区内企業が参加した。このほか、日本人駐在員等が購読する海外ビジネスサイトに、海外展開を積極的に行っている区内企業の広告記事を掲載した。さらに、リアル会場における海外情報の提供機会として、グローバルビジネス勉強会を 3 回実施し、海外情勢や国際物流に関する講演を行い、区内企業の国際化を支援した。これらの事業を通じ、海外取引を志向する企業の裾野を広げるとともに、企業間連携を深めた。
- ・商業分野の事業では、「おおた商い・観光展 2022」において、区内店舗及び観光地への周遊を促すため、スタンプラリーを実施。大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」を「諸葛亮孔明風」に制作したシンボルキャラクターの活用や、区内小学校全児童へのチラシ配布によりイベント参加者の増加を図り、参加店舗の新規顧客獲得に繋げた。
- ・羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業では、PiO PARK の運営を通じて、区内企業の取引拡大等に向けた取組を展開した。

① 受・発注相談

【予算額 46,386,000円（うち区補助）45,956,000円】

【決算額 39,788,962円（うち区補助）39,350,562円】

（ア）相談業務（工業）

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
105件	受注	発注	コーディネーター：695件
53,497千円	18件	788件	シルバー人材委託：305件

（イ）発注開拓（工業）

ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による主に区外の大手企業への発注開拓

訪問先	60件
活動成果	成約案件：19件 成約金額：25,808千円

（ウ）商談会

（a）ものづくり受発注商談会

実施日		
令和5年2月10日		
第61回ものづくり受発注商談会 in 大田		
参加企業	発注・受注	商談件数
156社	54社・102社	354件



【ものづくり受発注商談会 in 大田】

（エ）愛媛県企業×大田区企業モノづくり受発注商談会

当商談会は区内企業と愛媛県企業双方のものづくり企業の新たな取引先の開拓や受発注連携構築を深めることを目的としている。

名称	開催日・期間	商談先	参加企業数	商談件数
愛媛県企業×大田区企業 ものづくり受発注商談会	令和5年3月6日	愛媛県企業	24社	44件

（オ）大田ものづくりプラットフォームデータベースの構築

区内中小企業受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、テスト運用を開始した。引き続きデータベースの拡充を行う。

② 海外取引相談事業

【予算額 17,318,000円（うち区補助）17,258,000円】

【決算額 7,800,377円（うち区補助）7,800,277円】

（ア）窓口相談

（a）相談件数

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国・台湾	145件	北米	1件
ASEAN	20件	その他	69件
欧州	25件	合計	259件

(b) 国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国・台湾	72件	北米	9件
ASEAN	10件	その他	17件
欧州	21件	合計	129件

(c) 国際取引あつせん

発注案件紹介件数	成約件数	成約金額
18件	6件	11,212千円

(イ) 海外市場開拓（商談会）

商談会名	参加企業数	成果	実施方法
ミニ国際ビジネス商談会 with 台湾 令和4年10月14日	区内企業 3社 台湾企業 6社	商談件数 9件 継続案件 2件 成約件数 1件	オンライン

(ウ) グローバルビジネス勉強会

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和4年10月4日	「スイス・欧州市場 製造業の最新動向について」 講師：ジャパンイノベーションパーク 代表 小山 勇氏	36人
令和4年12月14日	「国際物流のカラクリと最新事情（得する国際物流）」 講師：株式会社TS EXPRESS 代表 津川 信之氏	24人
令和5年2月2日	「ASEAN地域の近況報告」 講師：日本政策金融公庫 バンコク駐在員 高木 岳史氏 「インドネシア進出のご体験談」 講師：株式会社丸秀 代表取締役 小林 隆志氏	37人

(エ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス	12件
海外企業信用調査	6件

(オ) 広告媒体の利用

(a) 英文企業ガイドの活用

Web版の英文企業ガイド「PROFILES OF COMPANIES」を活用し、オンライン見本市への出展や、海外企業・機関との打ち合わせの際に区内中小企業をPRした。区内中小企業72社を掲載中。
<https://www.manufacturers-ota-tokyo-japan.net/>



(b) e コマースの活用

海外駐在員や国際部門の担当者を主要な購読者に持つ海外ビジネス情報専門webサイト「NNA ASIA」に、協会事業の紹介と区内中小企業2社の海外進出事例を紹介した。
https://www.nna.jp/corp_contents/adplan/2020/200515_nna



③ 大田区加工技術展示商談会

【予算額 13,881,000円（うち区補助）12,825,000円】

【決算額 13,736,913円（うち区補助）12,680,913円】

開催日	参加	来場者
令和4年7月6日	60社	1,179人
商談件数	取引成立金額	
741件	6,678千円	



【大田区加工展示商談会
at 六郷工科大学】

④ 国内見本市への出展支援

【予算額 23,055,000円（うち区補助）17,249,000円】

【決算額 11,258,277円（うち区補助）8,794,098円】

(ア) ものづくり産業PR展示会

展示会名	会期及び会場	成果
高精度・難加工技術展 2022	令和4年10月19日～21日 東京ビッグサイト	相談件数 261件 成約件数 3件
第13回試作市場	令和5年2月21日～22日 東京都立産業貿易センター 浜松町館	相談件数 98件 成約件数 1件

(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 6社

展示会名	会期及び会場	成果
ライフスタイル Week 春	令和4年4月6日～8日 東京ビッグサイト	相談件数 13件 継続案件 1件 成約件数 1件 成約金額 100千円
第27回 機械要素技術展	令和4年6月22日～6月24日 東京ビッグサイト	相談件数 2件 継続案件 1件 成約件数 1件 成約金額 120千円
第40回 モータ技術展	令和4年7月20日～22日 東京ビッグサイト	相談件数 5件 継続案件 5件 成約件数 1件 成約金額 1円
第14回 ホテル・レストラン・ショー&FOODEX JAPAN in 関西 2022	令和4年7月27日～29日 インテックス大阪	相談件数 74件 継続案件 30件 成約件数 1件 成約金額 1円
草刈り・除草ワールド2022	令和4年10月26日～28日 東京ビッグサイト	相談件数 6件 継続案件 5件 成約件数 1件 成約金額 1円
高機能素材week 2022	令和4年12月7日～9日 幕張メッセ	相談件数 10件 継続案件 10件 成約件数 1件 成約金額 1円

※成約件数及び成約金額については3月末時点。

⑤ 海外見本市への出展支援

【予算額 9,851,000円（うち区補助）9,851,000円】

【補正後予算額 1,851,000円（うち区補助）1,851,000円】

【決算額 1,045,000円（うち区補助）1,045,000円】

(ア) 共同出展（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出展形態を変更）

展示会名、会期及び会場	出展形式	成 果	参加企業
FBC アセアン 2022 ものづくり商談会 (タイ・ベトナム) リアル出展：令和4年8月24日～26日 オンライン出展：令和4年9月7日～9日	リアル出展 (協会同行せず) オンライン出展	商談件数 31件 継続案件 6件 成約件数 一件	共同出展
Meet Taipei 2022 (台湾) 令和4年11月17日～19日	オンライン出展	商談件数 3件 継続案件 1件 成約件数 一件	協会 単独出展

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【予算額 28,252,000円（うち区補助）23,932,000円】

【決算額 27,865,362円（うち区補助）25,115,362円】

(ア) 「おおた商い・観光展 2022」

あきない三國志プロジェクト ～いざ、おでかけ！～




【おおた商い・観光展案内】

会 期	参加事業者数	来場者数
令和4年11月3日～ 12月4日	174事業者 (社・団体、観光施設・銭湯)	<ul style="list-style-type: none"> 公式 HP アクセス数：63,479 Twitter 閲覧数：213,357 Instagram 閲覧数：8,587 Facebook 閲覧数：11,614 QRコード読み取り総数：27,076 ※抽選応募数：2,001
目的・内容	『大田区の街全体を一つの会場』に見立て、昨年度に続き「三國志」をモチーフにしたスタンプラリー等の回遊企画、地域イベントとの連携により、区内の実店舗や観光スポットへ直接誘客を図る形式で実施した。 また、特設 Web サイトには、店舗・観光スポットの情報発信に加え、今後の E コマースに取り組むきっかけづくりとなる仕掛けを取り入れていくなど、商いと観光の融合を図りながら区内産業の振興と地域の活性化を目指した。	
概要	<ul style="list-style-type: none"> シンボルキャラクター 大田区公式 PR キャラクター「はねびよん」を諸葛亮孔明風にデザイン。広告物のシンボルキャラクターとして制作し、販促品や抽選賞品としても活用した。 QRコードスタンプラリーの方法を改正 10か所巡る周遊型スタンプ（通常スタンプ）と、商品・サービス購入型スタンプ（特別スタンプ）の2種類を用意した。 家族での参加促進 開催案内チラシを区内小学校全児童に配布してファミリーでの参加を呼び掛けた。 Pi0 フロントでの案内 大田区産業プラザ1階の「Pi0 フロント」では、開催期間中、参加店舗商品のショーケーシングにより Pi0 来館者へのイベント周知を図った。 各 SNS で、情報ごとに『#タグ』を活用し、イベント等をリアルタイム投稿した。 	

連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・はねびょん健康ポイント、日本工学院専門学校との連携 「はねびょん健康ポイント」のアプリ上に「おおた商い・観光展」の限定デジタルスタンプスポットを40か所設置し、この内10か所には日本工学院専門学校がオリジナルに作成した三國志関連キャラクターを配した。 ・大田観光協会のレトロスタンプラリー 蒲田から羽田にかけて9か所のスポットを巡りながら、版画スタンプでオリジナルのトートバッグを作成するスタンプラリーを実施した。 ・大田浴場連合会との連携 区内銭湯の無料入浴体験券を参加店舗で来店客に配布した。
--------	---

(イ) Meet New Solution in OTA ～NEXT おおた工業フェア～

会 期	参加事業者数	来場者数
リアル 令和5年2月1日～3日 オンライン 令和5年3月17日～31日 <div style="text-align: center;">  </div>	23社（団体）	リアル 40,170名 ※併催展来場者含む オンライン 3,527名
概 要	従前の「おおた工業フェア」で培ってきた区内産業者の総合力や大田区製造業のブランド力を活かし、「社会的課題の解決」をキーワードに、「おおた工業フェア」の発展形として開催。	

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【予算額 9,257,000円（うち区補助）7,742,000円】



【決算額 8,402,556円（うち区補助）6,969,147円】

(ア) 相談業務（商業）


専門相談員（あきない活性化コーディネーター）による区内商い関連事業者への訪問調査

訪問件数	延べ437件
------	--------

(イ) 商業展示会の共同出展

展示会名	実施日・会場	参加企業	成果
東京国際・ギフト・ショー秋 2022 LIFE×DESIGN	令和4年9月7日～9日 東京ビッグサイト <div style="text-align: center;"></div>	8社	商談件数：172件
スーパーマーケット・ トレードショー2023	令和5年2月15日～17日 幕張メッセ <div style="text-align: center;"></div>	4社	商談件数：178件

(ウ) フード展示商談会

実施日	内 容
令和4年9月27日	商談会事前セミナー 会場:大田区産業プラザ3階 特別会議室 講師:株式会社五味商店 代表 寺谷 健治氏 参加者:12人 
令和4年10月31日	第6回フード展示商談会 in 大田 ・出展者(売り手側) 19社(区内17社、区外2社) ・来場者(買い手側) 55人(区内15人、区外40人) 会場:大田区産業プラザ 4階コンベンションホール 商談件数:65件

(エ) 商業者向けセミナー

実施日	内容	参加者
令和5年3月17日 ~31日	テーマ:アフターコロナにおける経営のヒント 実施方法:オンライン配信 講師:あきない活性化コーディネーター 粕谷 智和氏、奥井 浩氏	23人

⑧ 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業

【予算額 30,360,000円(うち区補助)26,464,000円】

【決算額 26,513,467円(うち区補助)18,558,212円】



【HANEDA×PIO 外観】

HANEDA×PiO内の交流空間「PiO PARK(ピオパーク)」にてイベント、コワーキング及びショーケースの機能を果たすことにより、利用者と区内中小企業との交流による付加価値の創出を図った。

また、活性化に向けてEメールやチラシ配布、関係先訪問などプッシュ型の周知を積極的に行ったほか、自主開催のイベントを実施した。



【イベントスペース】

(ア) イベント

イベント件数	202件	来場者総数	13,149人(オンライン参加3,047人を含む) ※PiO PARKにおける主催イベント及び誘致イベントの合計
--------	------	-------	---

【 協会主催イベント(抜粋) 】
・超専門技術ミニ展示会 (1)「穴あけ展」(2)「理想の仕上がり展」(3)「やわらかたい展」 ・HANEDA 共創プラットフォーム

- (1) グローバルビジネス勉強会 (2) ベンチャーフレンドリー塾
- (3) 自社商品のつくりかた勉強会 (4) グリーンエネルギーセミナー
- ・SNS時代に生きる町工場の新しい顧客開拓セミナー
- ・ドイツ・ノイス郡 交流イベント
- ・おおた研究・開発フェア ～産学連携・新技術展～の研究開発特別講演等の関連イベント
- ・「大田の工匠 技術・技能継承」表彰式・シンポジウム
- ・ミートアップイベント OTA デジタル×PiO × Digibata
- ・STARTUP FES. in OOF '22
- ・創業者交流会
- ・令和4年度 大田区医工連携勉強会
- ・ベンチャーピッチ in 羽田 2022
- ・東京工業大学技術交流セミナー
- ・Tonomachi Café
- ・川崎市・大田区連携シンポジウム

(イ) コワーキング

内容	利用者数
月額プラン契約件数	14 件
1 日フリープラン	9 人
時間利用	41 人
無料体験者数	221 人
視察者数 (海外関係機関視察者 106 人/12 件含む)	719 人
ゲスト来訪者数 (ショーケーシング その他)	6,292 人
総来訪者数 (イベントの来訪者 10,102 人含む)	20,538 人



【コワーキングスペース】

(ウ) ショーケーシング

PiO PARK 内で、コリドーに面して外部からの視認性の高いエリア (約 200 m²) をショーケーシングエリアと位置づけ、大田区企業の技術力等の発信のため常設展示に加え企画展示を実施した。

期 間	内 容
令和4年2月1日～ 5月31日	「OTA! FOUNDERS' PRODUCTS ～区内創業者による製品展示～」
令和4年4月21日～ 6月3日	「東京都中小企業振興公社支援企業の製品展示」
令和4年7月9日～ 8月5日	「きらぼしイチ押し! “きらりと光る” 大田区内企業の製品!!」
令和4年9月9日～ 11月5日	「宇宙産業で活躍する大田区企業等の技術」
令和4年11月8日～ 令和5年1月31日	「大田の工匠 技術・技能継承展」
令和5年2月21日～ 4月20日	「第34回 新製品・新技術コンクール 受賞製品・技術展」

【重点取り組み事項】

- ・おしごとナビ大田区では、ユーザーの視点を重視したサイトづくりを進め、求職者の利用を促進するとともに、求人企業の採用活動を後押しした。
- ・若手人材の採用意欲がある区内中小企業のニーズに応えるため、大学等との連携により、オンライン合同企業説明会を開催した。採用力アップの事前セミナーの開催で、学生への訴求力を高めるとともに、当日は各企業による事前説明を実施した上で、より多くの説明を受けられるよう説明会を3社ずつのローテーションにするなど運営の工夫を図り、2名の採用に至った。
- ・+WORK（内職あっせん・相談）事業では、オンラインによる申込みや関連情報のデータベース化などのデジタル化を進めた。求職者に対し、求人企業のニーズを意識したきめ細かいヒアリングを実施することでマッチング率を高め、採用につなげた。また、付加価値があり単価の高い内職作業を発注する企業について、重点的に受注開拓を行うなど、受注額の確保に取り組んだ。

① おしごとナビ大田区

【予算額 1,890,000円（うち区補助） 49,000円】

【決算額 1,833,458円（うち区補助）△59,026円】

(ア) 求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	125社
新規登録企業社数	32社

(イ) 民間広告媒体を活用したPRの実施

令和4年10月1日から12月31日まで「東急大井町線」100車両分のドアガラス面にステッカー広告を貼付。

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【予算額 999,000円（うち区補助）889,000円】

【決算額 773,703円（うち区補助）723,703円】

(ア) 都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校(高専)の教授陣と施設を活用し、中小企業の若手技術者育成を目的として実施した。基礎講座は通学型の講座として品川区と共同で実施。出前講座は大田区企業への出張型講座として実施した。

講座科目別実績

	科目	単位 2時間/1回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)	
基礎講座 (大田区・品川区)	機 械	機械設計のための基礎	15回	令和4年9月1日 ～10月17日	10(2)人
		材料加工の基礎	6回	令和4年10月20日 ～11月7日	7(3)人
		デジタルマニュファク チャリング体験講座	6回	令和4年11月9日 ～11月28日	6(3)人
	電 気	電気回路の基礎	8回	令和4年9月28日 ～10月21日	8(5)人
		シーケンス制御の基礎	10回	令和4年11月8日 ～12月8日	8(5)人
出前講座 (大田区)	材料加工の基礎 (株式会社東新製作所)	1回	令和4年7月27日	8人	
	電気回路の基礎 株式会社コムワース	4回	令和4年8月22日 ～8月29日	4人	

(イ) おおた少年少女発明クラブの支援

小中学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を行うおおた少年少女発明クラブ
(事務局：NPO 法人大田教育支援の会) に対し助成を行った。

内 容	詳 細	活動日数	参加人数
定期活動	期間：令和4年4月～令和5年3月（毎月1～2回） 会場：大田区池上会館（科学室） ・「ホバークラフト」製作及び競技会 ・「プチロボ」製作 ・「マルメロちゃん」製作 ・「電気回路基礎」（LED、スイッチの取り付け） ・「ピカピカツリー」製作及び発表会 ・「キュートロボ」製作及び発表会	20日	会員数 25人 延べ参加者 (386人)
臨時活動	令和4年8月19日 「大田区少年少女チャレンジ創造コンテスト大会」 令和4年11月15日 「さわやかビジネスフェア展示発表」 令和5年1月14日 「ものづくり教育・学習フォーラム」参加 令和5年3月17日～19日 「こらぼ de アート作品展示」	6日	/

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【予算額 1,963,000円（うち区補助）1,963,000円】

【決算額 2,469,418円（うち区補助）2,469,418円】

(ア) オンライン合同企業説明会の開催

大学などの教育機関と連携し、オンライン上で合同企業説明会を開催。若手求職者の就職活動の支援及び区内中小企業の人材確保の支援を行った。

実施日	参加企業数	参加大学等	参加者	各社入室数 (延べ人数)	成果
令和4年9月13日	12社	11校	25人	67人	1人 (採用)
令和5年2月22日	20社	9校	13人	40人	1人 (採用)

④ +WORK（内職あっせん・相談）事業

【予算額 3,331,000円（うち区補助）3,331,000円】

【決算額 3,858,168円（うち区補助）3,858,168円】

（ア）あっせん相談

（a）あっせん・相談状況

求職 新規登録人数	求人		あっせん		採用 人数	問合せ件数
	企業数	人数	企業数	人数		
284人	128社	225人	219社	262人	180人	1,331件

（b）出張相談会 6回開催

（イ）求人開拓

求人企業への企業訪問	22件
------------	-----

（ウ）普及啓発用印刷物の作成

項目	内容	枚数等
内職求人開拓用 印刷物の作成・配布	蒲田・大森・雪谷法人会会報封入	5,500枚
	区内製造業686社投函	1回
内職求職者用 印刷物の作成・配布	区内図書館(17か所)、特別出張所(16か所)、地域庁舎地域健康課(4か所)、大田文化の森にチラシ設置及びポスター掲示	約1,000枚
	大田区子育て支援課(区内児童館57か所を含む)、保育サービス課、子ども家庭支援センター(キッズな4か所)にチラシ設置	約500枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置	約120枚
	大田区シルバー人材センター・大田区いきいき仕事ステーション・大田区生活再建就労サポートセンターJOBOTAにチラシ設置	約500枚

【重点取組み事項】

- ・トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成は、採択テーマが航空・医療・福祉など多岐にわたり、開発内容はより高度化している。採択企業は、コロナ禍の影響はあったものの、概ね計画通りに開発を進め、本事業を通じて、次世代産業分野を見据えた新製品・新技術開発の促進につながった。
- ・新製品・新技術コンクールは、有望なアイデア9件を選出した。最優秀賞は「独立電源式大型動物の自動給餌装置」。太陽光発電の電力で稼働することで、飼育員の負担軽減、安全確保する。また、特別賞として「イヤホン型 Brain Computer Interface 技術 “Ear Brain Interface”」には、「おおたスタートアップ応援賞」を進呈した。リラクゼーション施術の効果を可視化し、自分に合ったリラクゼーションの探索・実感できる製品である。
- ・次世代産業創造・産業クラスター形成事業の、「おおた研究・開発フェア」では、3年ぶりにリアル開催を実施した。また、展示会への出展、各種セミナーの開催、大手企業（技術研究所）と連携したオープンイノベーション（出張展示会）、個別マッチングなど、大田区企業の次世代産業参入やイノベーション創出を後押しする事業を予定通り行い、大田区企業に次世代産業参入やイノベーション創出を後押しした。

① 新製品・新技術開発支援事業

【予算額 76,546,000円（うち区補助）76,546,000円】

【決算額 72,221,804円（うち区補助）72,221,804円】

(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成



トライアル助成	助成 1社（申込件数 2社）
企業名	事業テーマ
東洋鍛工株式会社	航空機部品市場に於ける型打ち鍛造品の需要調査
開発ステップアップ助成	助成 6社（申込件数 20社）
企業名	事業テーマ
新日本油脂工業株式会社	生分解性オイルを用いた潤滑油の試作品開発
テック大洋工業株式会社	環境に優しいワックス型高機能性ポリアニリン防錆塗料の開発
精発ばね工業株式会社	材料板厚 0.1mm の高精度加工(±0.05mm)による新たな自動車ヘッドランプシェードの開発
山王鉄工株式会社	IoT センサを使った金属スリット用状態保全システムの開発
株式会社 CyberneX	イヤホン型 Brain Computer Interface (BCI) の開発
ケーディークロート株式会社	ブロック単位で構成変更可能な Bluetooth シリンジポンプの開発

実用化製品化助成	助成 9 社 (申込件数 12 社)
企業名	事業テーマ
イービーエム株式会社	透析手技訓練用動脈シミュレータの開発
株式会社プライオリティ	既存の円盤型磁気研磨機から加工斑の発生しないひょうたん型ランダム起動の磁気研磨機新製品開発
株式会社ユタカ	半導体製造用 BSGS 用圧力調整器の開発
株式会社岩間工業所	オペレーションレス切削加工機の製品化
株式会社 OUTSENSE	多種多様な立体形状の壁面製造技術の実用化開発
株式会社エース	拡大する農地面積に対応する高効率播種機の開発
有限会社エムティプレジジョン	超高速 高精度 建築限界測定器の開発
トキコーポレーション株式会社	自在配光スポットライトシステムの製品化
株式会社ハッピーリス	多項目同時生体計測計の開発



(イ) 新製品・新技術コンクール

【新製品・新技術コンクール
第34回パンフレット】

新製品・新技術コンクール		表彰 9 件 (申込件数 15 件)
賞名	受賞企業及び製品・技術名	
最優秀賞	テック大洋工業株式会社 「独立電源式大型動物の自動給餌装置」	
優秀賞	株式会社 OUTSENSE 「サーフェス形状探索システム「ORIFACE」」	

	株式会社ゲーテンバルク 「超高速 FFF 式 3D プリンター「G-ZERO」」	
おおた スタートアップ 応援賞	株式会社 CyberneX イヤホン型 Brain Computer Interface 技術 “Ear Brain Interface” の開発	
おおたネット ワーク賞	日本電波株式会社 電波時計レピータ NAR-40P/NAR-40C	
おおた ECO推進賞	デザインアンドイノベーション株式会社 薄さ 0.04mm の炭素繊維一方向性シート材「AI フィルム」	
おおた 秀逸技能賞	有限会社大野精機 クーラント噴射装置「クールミスター」	
奨励賞	株式会社灌口製作所 屋内外対応 人流把握 カメラカウンターシステム	
	関西電子株式会社 廃 PET ボトルの新たな活用法「ボトリウム・ナノファイバー」	

② 産学連携研究開発支援事業

【予 算 額 2,763,000 円（うち区補助）0 円】

【補正後予算額 263,000 円（うち区補助）0 円】

【決 算 額 165,621 円（うち区補助）0 円】


令和 4 年 4 月末、産学連携研究開発支援施設（オオタイノベーション・ラボ）を区に返還。

③ 次世代産業創造・産業クラスター形成

【予算額 61,085,000 円（うち区補助）56,861,000 円】

【決算額 51,214,893 円（うち区補助）46,845,093 円】

（ア）区内の研究開発型企业に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
研究開発マッチングシステム「mirai」	研究開発型の区内中小企業を Web サイト上で紹介。大学等研究機関や企業の研究開発者からの共同研究や実験用機材等の製作・加工、試作品製作等のニーズと大田区中小企業とのマッチングを促進	154 社
大田区研究開発型企业ガイド	研究開発マッチングシステム登録企業の情報を掲載した冊子を作成。全国の大学、研究機関、企業へ送付及び各種展示会等で配布  【大田区研究開発型企业ガイド】	2,500 部
大学や企業研究機関からの技術相談	Web サイトからの問い合わせ案件数	協会宛 21 件 企業宛 21 件
展示会への出展	研究・技術開発者向けに対する会員企業 P R	4 展示会
研究開発マッチングシステム登録会員企業への情報発信	会員企業に対し、区内外のセミナーやイベント、助成金、マッチング事業など、技術革新や事業拡大、新事業参入等に役立つ情報をモノマッチニュースで配信	25 回
ニューズレターの配信	区内外企業、大学、研究機関等の登録者へ協会事業や各種産学連携等に関する情報を Future innovation OTA ニュースで発信	25 回

（イ）産学交流相談

次世代産業創造コーディネーターによる相談業務の実施

項目	相談件数
産学交流相談	464 件

（ウ）オープンイノベーションマッチング

開催日	内容	参加者数 (区内企業)
令和5年3月9日	大手企業（技術研究所）への出張展示会の実施	60人 (15人)

(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催

(a) 次世代産業創造・産業クラスター形成セミナー/ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和5年 1月17日	大田区医工連携勉強会「～とっておきの情報教えます！実践編～」 講師：有限会社岸本工業 専務取締役 須藤 祐子氏、株式会社松浦製作所 代表取締役 松浦 貴之氏、アルフレッサ株式会社 大田支店 支店 高嶋 誠次氏、社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 理事 事務局長 板谷 匠氏	52人 (32人)
令和5年 2月8日	「東北大学セミナー 企業連携による新たな挑戦！」 講師：東北大学 共創戦略センター 特任教授・企画調整役 山田 健一氏	15人 (10人)
令和5年 2月21日	「大田区レアアース泥開発推進セミナー『南鳥島レアアース泥の開発が日本を復活させる』」 講師：東京大学 大学院工学研究科 副研究科長 教授 加藤 泰浩氏	43人 (19人)
令和5年 3月8日	「大田区レアアース泥開発推進セミナー『レアアースの魅力：素材からの視点、アカデミアからの視点』」 講師：青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科 教授 長谷川 美貴氏	39人 (20人)
令和5年 3月14日	第108回東工大技術交流セミナー『ドローンに代わる新しい空間移動ロボット“網状索道自走ロボット”の開発について』 講師：東京工業大学 工学院 機械系 准教授 菅原 雄介氏	29人 (25人)
令和5年 3月23日	「いよいよ始まるデジタル仲間まわしの時代『大田区企業の実演を交えて』」 講師：三菱重工業株式会社 エナジードメイン エナジートランジション&パワー事業本部 GTCC 事業部 AM 事業室 主幹技師 工学博士 今野 晋也氏	23人 (12人)

(b) 意匠デザイン・ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和4年 8月1日～ 9月30日	デザイン思考で始めるものづくりワークショップ (計4回) 講師：東京工科大学 デザイン学部 教授 本郷 信二氏他	各20人 (4人)
令和4年 12月21日 令和5年 2月15日	デザイン思考で始めるものづくりワークショップ 試作検討会 (計2回) 講師：東京工科大学 デザイン学部 教授 本郷 信二氏他	各7人 (2人)
令和5年 3月29日	「デザインセミナー『売れる商品づくりって何?』～自社商品開発、何かから始めていいのかわかりません～」 講師：Pit-A-Pat 代表 大井 雅人氏	19人 (15人)

(オ) おおた研究・開発フェア

実施事業及び開催日	出展者数、商談件数等
第12回 おおた研究・開発フェア 令和4年 10月20日、21日	出展者数：94社・団体 登録者数：1,323人 商談件数：4,819件 (うち、可能性の高い商談件数 690件)



特別講演① 令和4年10月20日	テーマ：メタバースが実現する未来 講師：クラスター株式会社 代表取締役 CEO 加藤 直人氏 会場：PiO PARK 受講者数：65人
特別講演② 令和4年10月21日	テーマ：粉末プロセスを基盤としたデジタル遠隔製造ネットワークの開発 講師：三菱重工業株式会社 エナジードメイン エナジートランジション&パワー事業本部 GTCC 事業部 AM 事業室 主幹技師 工学博士 今野 晋也氏 会場：PiO PARK 受講者数：62人

(カ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成果
メディカルショー・ジャパン&ビジネスエキスポ2022	令和4年6月2日～4日 パシフィコ横浜	相談件数 24件 可能性高 8件
Japan Robot Week 2022	令和4年10月19日～21日 東京ビッグサイト	相談件数 47件 可能性高 6件
第1回 港区オープンイノベーションフェア	令和4年10月26日 港区立産業振興センター	相談件数 23件 可能性高 2件
第9回 町工場見本市 2023	令和5年2月16日～17日 東京国際フォーラム	相談件数 41件 可能性高 18件

6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

【定款第4条(6)関係】

【重点取り組み事項】

- ・新型コロナウイルスによる行動制限の解除や経済活動が再開する中、会員の余暇活動の充実に向け、入浴券、映画券のバリュープライス企画や、夏休み宿泊補助にキャンペーン補助の上乗せ等を実施するとともに、各種サービスの利用ニーズ増大に対応した。
- ・祝品（継続会員、入学）のクオカードについて、電子申請・給付を導入し、サービスのデジタル化による会員の利便性向上を図った。
- ・区内での消費を促すことに加え、区内の魅力を知っていただくため、大田のお土産100選表彰店や、HICity内飲食店・施設の他、パン・ベーカリー店、デザート・スイーツ店等の区内店舗で使用できるクーポン券を発行した。

① 加入促進事業

【予算額 12,737,000円（うち区補助）4,992,000円】

【決算額 9,633,882円（うち区補助）4,592,025円】

(ア) 勤労者共済事業の周知

大田区勤労者共済会報「ふれあい」を全8頁フルカラーで発行した。

発行回数	発行部数
年10回	各号4,400部



【ふれあい】

(イ) 会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用した加入促進員による個別訪問を継続実施した。

共済会員入会推移	令和2年3月末 (令和元年度)	令和3年3月末 (令和2年度)	令和4年3月末 (令和3年度)	令和5年3月末 (令和4年度)
事業所(社) (前年度対比)	1,529 (-52)	1,451 (-78)	1,379 (-72)	1,336 (-43)
会員(人) (前年度対比)	4,410 (-47)	4,255 (-155)	4,054 (-201)	3,966 (-88)

※令和5年3月31日時点での数字であり、退会の届出の事情により、年度を遡って会員数等が変動する場合がある。

② 福利厚生事業

【予算額(自主) 30,660,000円】

【補正後予算額(自主) 45,760,000円】

【決算額(自主) 42,595,244円】



【大田区勤労共済 ホームページ】

(ア) 健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用助成を行った。

人間ドック・ミニドック	利用補助	42件
インフルエンザ予防接種	〃	231件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,301セット
区営プール利用券	〃	614枚
区営スポーツセンター	〃	12セット

(イ) レクリエーション事業

バスツアーの利用あっせん・補助の実施。

バスツアー補助	15枚
---------	-----

(ウ) 宿泊補助と生涯学習利用に関する補助

ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し合計6泊まで1泊につき2,000円(7・8月はキャンペーン実施のため1泊4,000円)の補助を実施。

ライフサポート倶楽部宿泊補助	320件
----------------	------

(エ) 契約施設等の利用

他区6つの勤労者サービスセンターと共同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助券並びに割引券を配布したほか、会員に好評であった「いちおしグルメ表彰店舗」で利用できる割引券やゴルフ、文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。また、会員証呈示で特典が受けられる指定店を増やした。

レジャー施設等	1,592 枚	潮干狩り	22 枚
東京ディズニーリゾート	1,269 枚	ホテル食事券補助	158 枚
大田のお土産 100 選他	4,071 件	HICity 補助	926 枚
釣り船	30 枚	天然温泉平和島	104 枚
ゴルフ場	29 枚	文化振興協会	11 枚
大田市場見学	19 件	銭湯補助企画	2,325 枚

(オ) 各種チケットの割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、サッカーJリーグ、大相撲のチケットをあっせんした。

映画鑑賞チケット	4,972 枚	大相撲観戦チケット	40 枚
スパ等	639 枚	スポーツ観戦チケット	39 枚
東京ドームシティ 得10 チケット	254 枚	美術展チケット	501 枚
プリペイドカード	2,290 枚	東武動物公園 法人アトラクションパスセット	312 枚
食事券（施設利用購入分）	1,178 件	おふろの王様	280 枚
鑑賞券（演劇・音楽等）	515 枚		

③ 給付事業

【予算額（自主）7,625,000 円】

【決算額（自主）6,136,750 円】

(ア) 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝 金	122 件	計 268 件
見 舞 金	39 件	
弔 慰 金	107 件	

(イ) 入学祝・継続会員記念品の贈呈（5年継続、10年継続毎）

入学祝	172 件	計 528 件
5年継続	177 件	
10年継続	98 件	
20年継続	42 件	
30年継続	39 件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業 【定款第4条（7）関係】

【重点取り組み事項】

- ・大田区産業プラザの指定管理者として、老朽化による施設の維持補修工事や大展示ホールの改修工事等により、効率的な施設の管理運営に努めるとともに、MICE 推進に係る先駆団体との情報交換、情報収集を積極的に行った。
- ・危機管理面においては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底するとともに、施設利用者の安全を確保するため、災害時の迅速な初期対応を想定し、館内職員を対象とした避難訓練及び消火訓練等を行ったほか、計画的に飲食物や簡易トイレ等の災害備蓄品を追加購入する対策を施した。
- ・2階コワーキングスペース（biz BEACH CoWorking）の運営開始に伴い、既存会員へのサービスを継続しつつ、利用者の拡大・利便性の向上に繋げるため、貸し出し用モニター（無料）サービスを拡充したほか、大型モニターの設置等で産業情報の発信を強化した。
- ・ハイブリッド受発注プラットフォームの構築・拡大による、中小製造業のデジタル化促進・稼ぐ力の強化事業は、大田区、I-OTA 合同会社、株式会社テクノアと共に、デジタルツールの運用方法の検討や発注者・事業者へのプロモーション等を行った。さらに、デジタル化促進のため、支援スキーム・チェックリストの設定・専門員の選定のほか、大学・研究機関等との連携のあり方・方向性及び海外展開の方向性の検討や区内中小企業への情報発信等を行った。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【予算額（利用料金）160,888,000円】

【決算額（利用料金）123,754,251円】

コロナ禍における施設利用対策として、イベント等の主催者へ「感染拡大防止に向けた利用条件等」のガイドラインと「新型コロナウイルス感染症拡大防止確認事項」を周知徹底し、感染拡大防止に努めた。また、大展示ホールにおける特定天井の改修工事において、耐震強化と音響設備改修工事を実施したほか、小展示ホールにおいて照明のLED化を実施する等、施設利用者の満足度向上に努めた。

施設の災害対策として、館内職員を対象とした避難訓練及び消火訓練を行ったほか、新たに蒲田警察署と連携して不審者対応訓練を実施し、防災センターをはじめとする館内職員の危機管理意識と能力の向上を図った。



【大展示ホール】

令和4年度 産業プラザ施設利用状況 <別表A>

(ア) 展示ホール

施設名	前 半 9:00~14:00		後 半 14:00~19:00		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率			
大展示ホール (4月から6月)	58	58	58	58	100.0%	57,600
	100.0%		100.0%			
小展示ホール	345	207	345	225	62.6%	71,997
	60.0%		65.2%			
※大展示ホール令和4年7月から令和5年3月まで 特定天井改修工事のため使用停止				合 計 (1)		129,597

(イ) コンベンションホール・会議室他

施設名	午 前		午 後		夜 間		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率		利用率			
コンベンシ ョンホール	345	226	345	253	345	159	73.3%	91,905
	65.5%		73.3%		46.1%			
A会議室	345	261	345	282	345	175	78.9%	15,940
	75.7%		81.7%		50.7%			
B会議室	345	246	345	262	345	165	75.6%	16,520
	71.3%		75.9%		47.8%			
C会議室	345	235	345	279	345	140	72.2%	16,142
	68.1%		80.9%		40.6%			
D会議室	345	257	345	274	345	164	68.9%	21,413
	74.5%		79.4%		47.5%			
E会議室	345	233	345	262	345	143	65.6%	10,034
	67.5%		75.9%		41.4%			
F会議室	345	241	345	272	345	194	71.1%	8,379
	69.9%		78.8%		56.2%			
G会議室	345	234	345	280	345	158	63.3%	8,219
	67.8%		81.2%		45.8%			
特別会議室	345	204	345	235	345	138	63.3%	22,388
	59.1%		68.1%		40.0%			
和 室	345	189	345	248	345	175	62.2%	8,508
	54.8%		71.9%		50.7%			
					合 計 (2)			219,448
					総合計 (1) + (2)			349,045

施設利用収入状況 <別表B>

利用料金収入	119,736,475 円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料： 82,145,077 円 ・前年度収納分： 28,260,448 円 ・駐車場利用料： 5,906,200 円 ・コワーキング施設利用料： 3,424,750 円

② 施設貸与に伴う付加サービス事業

【予算額 (自主) 4,555,000 円】

【決算額 (自主) 2,400,029 円】

施設利用者の利便性と、利用率の向上を図るため、イベントサポートガイド PiO 倶楽部及び PiO 周辺マップの発行、サイン看板等作成サービス、利用者用コピーサービス、催事ごみ処理サービス、トランシーバー貸出、特殊簡易公衆電話等のサービスを提供したほか、新たに2階コワーキングスペースにおいて、モバイルバッテリーのシェアリングサービスを開始した。



【事業紹介リーフレット】

③ 産業プラザ施設維持の管理運営

【予算額 (受託) 61,959,000 円】

【決算額 (受託) 57,813,438 円】

産業プラザは建築後 27 年が経過しており、協会では、受託業務の範囲での維持補修工事を適宜実施した。また、大田区発注の大展示ホール特定天井改修工事及び大規模改修工事基本設計委託が円滑に実施されるよう関係各所と連携・調整等を行った。

さらに、令和 4 年 4 月から総合相談窓口として開設した 1 階 PiO フロントにおいて、サイン看板やショーケーシング照明の設置などを適宜行い、利便性向上と事業の PR に努めた。

実施した維持補修等の工事

工事名	
<ul style="list-style-type: none"> ・冷却塔駆動部ベアリング交換 ・1階国道側自動ドアセンサー交換 ・特別高圧変圧器コロナ試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランス上部排煙装置電動駆動装置交換 ・1階防災センター誘導灯信号装置更新工事 ・各階誘導灯バッテリー取替工事
等 67 件	

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事等

工事名	
・大展示ホール特定天井改修工事	・大規模改修工事基本設計委託

④ ハイブリッド受発注プラットフォームの構築・拡大による、中小製造業のデジタル化促進・稼ぐ力の強化事業

【予算額 (受託) 39,600,000 円】

【決算額 (受託) 35,106,759 円】

ハイブリッド受発注プラットフォームの構築・拡大の推進に当たり、連携している大田区、I-OTA 合同会社、株式会社テクノアと共に、①デジタルツールの運用方法、②ものづくり相談者へのプロモーション及びものづくり事業者の加入促進、③大手発注者へのプロモーション、④海外展開の準備を行った。

さらに、中小製造業のデジタル化促進に当たり、①支援事業のスキーム・チェックリストの設定や専門員の選定、②大学・研究機関等との連携のあり方・方向性の検討、③区内製造業へのヒアリングを踏まえた海外展開の方向性の検討、④OTA デジタル×Pi0 の活用による区内中小企業への情報発信、普及啓発等の推進等を実施した。

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第 34 条第 1 項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

第 1 回	令和 4 年 5 月 12 日 出席理事 6 人 欠席理事 1 人 同席監事 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度事業報告について ・令和 3 年度決算について ・令和 4 年度補正予算について ・定時評議員会の開催について
第 2 回 ※	決議のあった日 令和 4 年 6 月 29 日 同意した理事 6 人 同意した監事 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度第 2 次補正予算について
第 3 回	令和 4 年 11 月 14 日 出席理事 6 人 欠席理事 0 人 同席監事 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・基本財産の運用について ・職員の旅費に関する規程の改正について
第 4 回 ※	決議のあった日 令和 4 年 12 月 6 日 同意した理事 6 人 同意した監事 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の給与等に関する各規程の改正について
第 5 回 ※	決議のあった日 令和 5 年 1 月 18 日 同意した理事 6 人 同意した監事 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度第 3 次補正予算の承認について
第 6 回	令和 5 年 3 月 28 日 出席理事 6 人 欠席理事 0 人 同席監事 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度補正予算について ・令和 5 年度事業計画及び収支予算について ・収 1 産学連携研究開発支援施設管理運営事業の廃止について ・規程の改正について <ol style="list-style-type: none"> ① 職員の給与等に関する規程 ② 就業規則第 19 条第 2 項の規定により嘱託員として再雇用された職員の服務及び給与等に関する規程 ③ 非常勤職員規程 ④ 事務局の組織及び処務に関する規程 ・役員賠償責任保険の契約更新について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第 37 条に基づき、決議を行った理事会である。

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第 18 条に基づき、理事長が招集した評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

臨時 評議員会 ※	決議のあった日 令和 4 年 4 月 28 日 同意した評議員 7 人	・役員（理事）の選任について
定時 評議員会	令和 4 年 5 月 30 日 出席評議員 6 人 欠席評議員 1 人 同席監事 2 人	・令和 3 年度事業報告について ・令和 3 年度決算の承認について

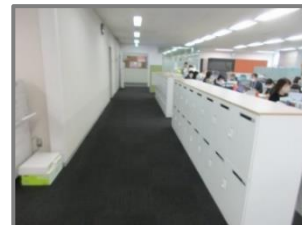
※公益財団法人大田区産業振興協会定款第 21 条に基づき、決議を行った評議員会である。

●評議員選定委員会

第 1 回	令和 4 年 4 月 15 日 出席委員 5 人 欠席委員 0 人	・評議員の選任
第 2 回	令和 4 年 6 月 27 日 出席委員 4 人 欠席委員 1 人	・評議員の選任

◆協会組織強化

アフターコロナ及び職員のコミュニケーション活性化を目的に、事務室のフリーアドレス化を実施した。合わせて来訪者に対して円滑で丁寧な案内を行うため、受付を設置し、職員を常時従事させる改善を行った。



【協会事務室レイアウト変更】

◆研修

協会内研修

研修名	開催日	対象者	目的	参加人数
セキュリティ研修	令和4年 4月4日	新任職員等	協会のセキュリティ等について学ぶ。	15人
HANEDA×Pi0研修	令和4年 4月4日	新任職員等	HANEDA×Pi0の今後の展開について認識を深める。	11人
新任研修	令和4年 4月5日	協会新任職員等、 産業振興課職員	大田区の産業についての基礎知識と区産業経済部との連携、HANEDA×Pi0等の新たな事業展開について学ぶ。	19人
庶務事務研修 ワークフロー研修	令和4年 4月6日	新任職員等	協会の基礎知識、会計、契約、文書、サービス、規程等について学ぶ。	12人
理事長研修	令和4年 5月12日 5月16日 (同内容開催)	協会全職員	大田区の動向や財政状況について学ぶ。	49人
副理事長研修	令和4年 5月24日	協会新任職員、 産業振興課希望者	大田区の産業特性と産業振興施策について学ぶ。	30人 (協会19人)
創業者勉強会	令和5年 2月8日 2月15日 (同内容開催)	協会全職員	Pi0フロントでの創業者支援相談件数が増加しているため、協会全体の創業者支援に対する知識を深める。	38人

その他、職層研修等は民間の開催する研修へ参加。

令和4年度

公益財団法人大田区産業振興協会

決算書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

目 次

1 財 務 諸 表

- (1) 貸 借 対 照 表 1
- (2) 正味財産増減計算書 2
- (3) 正味財産増減計算書内訳書 7
- (4) 財務諸表に対する注記 13
- (5) 付 属 明 細 書 15
- (6) 財 産 目 録 16
- (7) 監 査 報 告 書 20

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	291,317,724	222,934,305	68,383,419
未収金	5,365,766	26,243,862	△ 20,878,096
前払金	932,005	426,157	505,848
流動資産合計	297,615,495	249,604,324	48,011,171
2 固定資産			
① 基本財産			
投資有価証券	400,000,000	400,000,000	0
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	500,000,000	500,000,000	0
② 特定資産			
退職給付引当資産	10,089,374	10,089,374	0
運営資金等積立資産	99,555,185	102,378,340	△ 2,823,155
給付金等準備積立資産	56,705,677	58,916,840	△ 2,211,163
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	44,160,157	0
特定資産合計	210,510,393	215,544,711	△ 5,034,318
③ その他固定資産			
什器備品	3,300,010	3,325,944	△ 25,934
電話加入権	74,984	74,984	0
出資金	10,000	10,000	0
長期前払金	3,382	23,673	△ 20,291
その他固定資産合計	3,388,376	3,434,601	△ 46,225
固定資産合計	713,898,769	718,979,312	△ 5,080,543
資産合計	1,011,514,264	968,583,636	42,930,628
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	180,910,168	158,166,150	22,744,018
未払消費税	1,989,800	1,525,000	464,800
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	1,929,372	2,333,326	△ 403,954
前受金	63,845,702	28,525,448	35,320,254
賞与引当金	10,948,000	8,269,000	2,679,000
流動負債合計	259,693,042	198,888,924	60,804,118
2 固定負債			
長期預り金	0	900,000	△ 900,000
退職給付引当金	10,089,374	10,089,374	0
固定負債合計	10,089,374	10,989,374	△ 900,000
負債合計	269,782,416	209,878,298	59,904,118
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	500,000,000	500,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(500,000,000)	(500,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	241,731,848	258,705,338	△ 16,973,490
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(200,421,019)	(205,455,337)	(△ 5,034,318)
正味財産合計	741,731,848	758,705,338	△ 16,973,490
負債及び正味財産合計	1,011,514,264	968,583,636	42,930,628

正味財産増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,590,709	2,591,202	△ 493
1 基本財産受取利息	2,590,709	2,591,202	△ 493
② 特定資産運用益	348,147	3,282,626	△ 2,934,479
1 特定資産受取利息	348,147	3,282,626	△ 2,934,479
③ 事業収益	201,570,052	150,730,384	50,839,668
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業収益	210,000	37,500	172,500
(1) 産業情報受発信事業に関する事業収益	210,000	37,500	172,500
2 区内中小企業の経営支援に関する事業収益	1,640,100	1,794,100	△ 154,000
(1) 中小企業情報化支援事業に関する収益	1,640,100	1,794,100	△ 154,000
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業収益	16,097,343	7,616,294	8,481,049
(1) 受・発注相談に関する収益	438,400	341,000	97,400
(2) 海外取引相談事業に関する収益	100	158,000	△ 157,900
(3) 大田区加工技術展示商談会に関する収益	1,056,000	1,760,000	△ 704,000
(4) 国内見本市への出展支援に関する収益	2,464,179	2,661,889	△ 197,710
(5) 自主企画展示会に関する収益	2,750,000	937,000	1,813,000
(6) 商い・サービス産業取引相談に関する収益	1,433,409	828,905	604,504
(7) 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業に関する収益	7,955,255	929,500	7,025,755
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業収益	1,942,484	1,794,344	148,140
(1) おしごとナビ大田区に関する収益	1,892,484	1,774,344	118,140
(2) 中小企業次世代ものづくり人材育成事業に関する収益	50,000	20,000	30,000
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業収益	4,549,800	6,379,200	△ 1,829,400
(1) 産学連携研究開発支援事業に関する収益	180,000	4,320,000	△ 4,140,000
(2) 次世代産業創造事業に関する収益	4,369,800	2,059,200	2,310,600
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業に関する収益	54,654,900	47,113,170	7,541,730
(1) 共済掛金等の収益	24,783,700	25,513,300	△ 729,600
(2) 余暇活動等の収益	29,871,200	21,599,870	8,271,330
7 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益	122,475,425	85,995,776	36,479,649
(1) 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益 (利用料金制度対象)	119,736,475	84,654,766	35,081,709
(2) 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益 (施設貸与に伴う付加サービス対象)	2,738,950	1,341,010	1,397,940

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
④ 補助金等収益	775,630,776	767,214,397	8,416,379
1 区補助金収益	670,034,000	684,916,000	△ 14,882,000
(1) 事業費補助分	369,881,000	386,297,000	△ 16,416,000
(2) 運営費補助分	300,153,000	298,619,000	1,534,000
2 国等補助金収益	0	6,344,870	△ 6,344,870
(1) 中小企業知的財産活動支援事業補助金収益	0	6,344,870	△ 6,344,870
3 区受託事業収益	105,596,776	75,953,527	29,643,249
(1) 産業プラザ施設維持の管理運營業務受託料収益	61,979,000	57,643,000	4,336,000
(2) ハイブリット受発注プラットフォームの構築・拡大による、中小製造業のデジタル化促進・稼ぐ力の強化事業受託料収益	39,600,000	0	39,600,000
(3) 産業プラザ展示ホール等の管理運営に係る補填金	4,017,776	18,310,527	△ 14,292,751
⑤ 受取寄附金収益	300,000	300,000	0
1 受取寄附金収益	300,000	300,000	0
⑥ 雑収益	412,786	77,964	334,822
1 受取利息	3,042	2,587	455
2 受取配当金	4,570	4,645	△ 75
3 雑収益	405,174	70,732	334,442
経常収益計	980,852,470	924,196,573	56,655,897

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 經常費用			
① 事業費	860,074,603	833,500,431	26,574,172
報酬	91,280,466	98,897,465	△ 7,616,999
委員報酬	180,000	210,000	△ 30,000
役員報酬	476,544	2,858,870	△ 2,382,326
給料手当	187,843,562	202,106,416	△ 14,262,854
福利厚生費	49,672,047	48,177,928	1,494,119
会議費	80,878	31,142	49,736
旅費交通費	1,638,067	1,238,138	399,929
通信運搬費	2,185,833	2,210,008	△ 24,175
消耗什器備品費	7,721,885	3,544,732	4,177,153
消耗品費	13,616,956	10,753,628	2,863,328
修繕費	54,860,144	48,492,020	6,368,124
印刷製本費	8,335,542	10,794,514	△ 2,458,972
燃料費	99,152	96,871	2,281
賃借料	20,784,303	21,313,625	△ 529,322
情報使用料	9,691,214	8,231,714	1,459,500
保険料	749,033	807,530	△ 58,497
諸謝金	18,855,740	20,714,978	△ 1,859,238
租税公課	4,297,230	4,066,089	231,141
負担金	23,915,568	21,684,597	2,230,971
助成金	81,349,034	91,263,011	△ 9,913,977
委託費	222,644,641	188,824,069	33,820,572
宣伝広告費	10,406,900	9,046,303	1,360,597
利用補助費	6,010,888	3,270,270	2,740,618
施設利用券購入費	34,828,696	25,666,609	9,162,087
給付金	6,136,750	6,468,700	△ 331,950
渉外費	24,310	11,094	13,216
雑費	2,363,615	2,567,379	△ 203,764
減価償却費	25,605	152,731	△ 127,126
② 管理費	7,345,308	7,724,842	△ 379,534
委員報酬	20,000	40,000	△ 20,000
役員報酬	493,056	638,730	△ 145,674
給料手当	4,363,282	4,727,635	△ 364,353
福利厚生費	1,128,617	1,126,969	1,648
会議費	0	4,504	△ 4,504
旅費交通費	2,528	1,113	1,415
通信運搬費	10,519	10,658	△ 139
費用弁償	75,762	76,649	△ 887

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗什器備品費	128,565	2,043	126,522
消耗品費	93,642	22,300	71,342
修繕費	41,725	183,176	△ 141,451
印刷製本費	1,291	2,535	△ 1,244
燃料費	1,511	1,771	△ 260
賃借料	111,325	106,690	4,635
情報使用料	160,211	106,418	53,793
保険料	13,095	15,314	△ 2,219
諸謝金	46,640	43,190	3,450
租税公課	16,170	10,711	5,459
負担金	409,189	312,157	97,032
委託費	203,040	251,296	△ 48,256
宣伝広告費	0	4,717	△ 4,717
渉外費	666	306	360
雑費	24,145	35,545	△ 11,400
減価償却費	329	415	△ 86
③ 大田区返納金	122,809,049	79,936,706	42,872,343
1 区補助金分	114,150,246	76,126,432	38,023,814
(1) 事業費補助分	63,827,319	45,501,823	18,325,496
(2) 運営費補助分	50,322,927	30,624,609	19,698,318
2 区からの受託事業費	8,658,803	3,810,274	4,848,529
(1) 産業プラザ施設維持の管理運営費	4,165,562	3,810,274	355,288
(2) ハイブリット受発注プラットフォームの構築・拡大による 中小製造業のデジタル化促進・稼ぐ力の強化事業	4,493,241	0	4,493,241
経常費用計	990,228,960	921,161,979	69,066,981
特定資産評価損益等	△ 4,412,253	0	△ 4,412,253
当期経常増減額	△ 13,788,743	3,034,594	△ 16,823,337

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	1,005,205	△ 1,005,205
退職給付引当金取崩額	0	1,005,205	△ 1,005,205
(2)経常外費用	3,184,747	0	3,184,747
過年度損益修正額	3,184,747	0	3,184,747
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期経常外増減額	△ 3,184,747	1,005,205	△ 4,189,952
当期一般正味財産増減額	△ 16,973,490	4,039,799	△ 21,013,289
一般正味財産期首残高	258,705,338	254,665,539	4,039,799
一般正味財産期末残高	241,731,848	258,705,338	△ 16,973,490
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金等	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	741,731,848	758,705,338	△ 16,973,490

正味財産増減計算書内訳書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計		収 1 産学連携研究開発 支援施設管理運営	収 2 産業プラザの指定管 理に伴う付加サービ ス事業
	公 1 区内中小企業の振興 を図る事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収益	1,728,003	1,728,003	0	0
基本財産運用収入	1,728,003	1,728,003	0	0
② 特定資産受取利息	0	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0	0
③ 事業収益	125,676,521	125,676,521	180,000	2,738,950
支援事業収入等	125,676,521	125,676,521	180,000	2,738,950
④ 受取補助金等収益	673,472,985	673,472,985	0	0
受取大田区補助金	630,469,930	630,469,930	0	0
受取大田区受託料	43,003,055	43,003,055	0	0
⑤ 受取寄附金	300,000	300,000	0	0
寄附金収入	300,000	300,000	0	0
⑥ 雑収益	412,786	412,786	0	0
雑収入	405,174	405,174	0	0
受取利息収入	3,042	3,042	0	0
受取配当金収入	4,570	4,570	0	0
経常収益計	801,590,295	801,590,295	180,000	2,738,950
(2) 経常費用				
事業費	699,970,053	699,970,053	165,621	2,420,869
報酬	91,280,466	91,280,466	0	0
委員報酬	0	0	0	0
役員報酬	433,296	433,296	0	0
給料手当	156,692,417	156,692,417	57,389	475,440
福利厚生費	40,982,911	40,982,911	12,892	141,077
会議費	78,972	78,972	0	0
旅費交通費	1,583,077	1,583,077	0	0
通信運搬費	1,349,192	1,349,192	0	37,752
消耗什器備品費	6,968,400	6,968,400	0	0
消耗品費	9,174,170	9,174,170	0	152,608
修繕費	20,570,890	20,570,890	0	0

(単位：円)

収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計
他1	他2	他3	小計			
区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業	産業プラザの指定管理に伴う公益目的外貸出に伴う事業	大田区産業プラザ施設の維持・管理				
0	0	0	0	862,706		2,590,709
0	0	0	0	862,706		2,590,709
100,124	0	0	100,124	248,023		348,147
100,124	0	0	100,124	248,023		348,147
54,654,900	18,319,681	0	75,893,531	0		201,570,052
54,654,900	18,319,681	0	75,893,531	0		201,570,052
31,632,561	614,721	61,979,000	94,226,282	7,931,509		775,630,776
31,632,561	0	0	31,632,561	7,931,509		670,034,000
0	614,721	61,979,000	62,593,721	0		105,596,776
0	0	0	0	0		300,000
0	0	0	0	0		300,000
0	0	0	0	0		412,786
0	0	0	0	0		405,174
0	0	0	0	0		3,042
0	0	0	0	0		4,570
86,387,585	18,934,402	61,979,000	170,219,937	9,042,238		980,852,470
80,789,999	18,697,150	58,030,911	160,104,550			860,074,603
0	0	0	0			91,280,466
180,000	0	0	180,000			180,000
43,248	0	0	43,248			476,544
14,453,372	1,901,758	14,263,186	31,151,145			187,843,562
3,738,544	564,309	4,232,314	8,689,136			49,672,047
1,906	0	0	1,906			80,878
33,753	18,457	2,780	54,990			1,638,067
753,340	45,549	0	836,641			2,185,833
425,872	327,613	0	753,485			7,721,885
519,352	583,225	3,187,601	4,442,786			13,616,956
138,214	3,411,969	30,739,071	34,289,254			54,860,144

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	収 2
印刷製本費	6,502,357	6,502,357	0	492,800
燃料費	50,147	50,147	0	0
賃借料	17,093,021	17,093,021	0	252,024
情報使用料	8,844,005	8,844,005	0	0
保険料	656,016	656,016	740	493
諸謝金	18,701,245	18,701,245	0	0
租税公課	2,081,564	2,081,564	0	0
負担金	22,100,679	22,100,679	0	0
助成金	81,349,034	81,349,034	0	0
委託費	201,673,321	201,673,321	94,600	852,684
宣伝広告費	10,388,387	10,388,387	0	0
利用補助費	0	0	0	0
施設利用券購入費	0	0	0	0
給付金	0	0	0	0
渉外費	22,104	22,104	0	0
雑費	1,383,458	1,383,458	0	2,400
減価償却費	10,924	10,924	0	13,591
管理費				
委員報酬				
役員報酬				
給料手当				
福利厚生費				
旅費交通費				
通信運搬費				
費用弁償				
消耗什器備品費				
消耗品費				
修繕費				
印刷製本費				
燃料費				
賃借料				
情報使用料				
保険料				
諸謝金				

(単位：円)

収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
他1	他2	他3	小計			
1,291,494	48,891	0	1,833,185			8,335,542
5,005	0	44,000	49,005			99,152
2,150,589	196,669	1,092,000	3,691,282			20,784,303
530,699	316,510	0	847,209			9,691,214
43,376	33,618	14,790	93,017			749,033
154,495	0	0	154,495			18,855,740
53,563	279,072	1,883,031	2,215,666			4,297,230
1,807,239	7,650	0	1,814,889			23,915,568
0	0	0	0			81,349,034
6,578,825	10,895,458	2,549,753	20,971,320			222,644,641
0	18,513	0	18,513			10,406,900
6,010,888	0	0	6,010,888			6,010,888
34,828,696	0	0	34,828,696			34,828,696
6,136,750	0	0	6,136,750			6,136,750
2,206	0	0	2,206			24,310
907,483	47,889	22,385	980,157			2,363,615
1,090	0	0	14,681			25,605
				7,345,308		7,345,308
				20,000		20,000
				493,056		493,056
				4,363,282		4,363,282
				1,128,617		1,128,617
				2,528		2,528
				10,519		10,519
				75,762		75,762
				128,565		128,565
				93,642		93,642
				41,725		41,725
				1,291		1,291
				1,511		1,511
				111,325		111,325
				160,211		160,211
				13,095		13,095
				46,640		46,640

科 目	公益目的事業会計		収 1	収 2
	公 1	小 計		
租税公課				
負担金				
委託費				
渉外費				
雑費				
減価償却費				
大田区返納金	111,586,494	111,586,494	0	0
経常費用計	811,556,547	811,556,547	165,621	2,420,869
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,966,252	△ 9,966,252	14,379	318,081
特定資産評価損益等	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,966,252	△ 9,966,252	14,379	318,081
2. 経常外増減の部				
経常外収益				
退職給付引当金取崩額				
経常外費用				
過年度損益修正額				
法人税、住民税及び事業税				
当期経常外増減額				
他会計振替額	166,230	166,230		
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
II 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				

(単位：円)

収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
他1	他2	他3	小計			
				16,170		16,170
				409,189		409,189
				203,040		203,040
				666		666
				24,145		24,145
				329		329
5,770,778	0	3,948,089	9,718,867	1,503,688		122,809,049
86,560,777	18,697,150	61,979,000	169,823,417	8,848,996		990,228,960
△ 173,192	237,252	0	396,520	193,242		△ 9,376,490
△ 1,589,098	0	0	△ 1,589,098	△ 2,823,155		△ 4,412,253
△ 1,762,290	237,252	0	△ 1,192,578	△ 2,629,913		△ 13,788,743
						0
						0
						3,184,747
						3,184,747
						0
						△ 3,184,747
			△ 166,230			0
						△ 16,973,490
						258,705,338
						241,731,848
0	0	0	0	0		0
						0
						500,000,000
						500,000,000
						741,731,848

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券

・時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・・・・定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・ 職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額のうち、当事業年度の負担額を計上している。

退職給付引当金・・・・ 職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	400,000,000	0	0	400,000,000
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	500,000,000	0	0	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	10,089,374	0	0	10,089,374
運営資金等積立資産	102,378,340	0	2,823,155	99,555,185
給付金等準備積立資産	58,916,840	3,736,935	5,948,098	56,705,677
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	0	0	44,160,157
小 計	215,544,711	3,736,935	8,771,253	210,510,393
合 計	715,544,711	3,736,935	8,771,253	710,510,393

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
投資有価証券	400,000,000	400,000,000	0	0
定期預金	100,000,000	100,000,000	0	0
小 計	500,000,000	500,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	10,089,374	0	0	10,089,374
運営資金等積立資産	99,555,185	0	99,555,185	0
給付金等準備積立資産	56,705,677	0	56,705,677	0
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	0	44,160,157	0
小 計	210,510,393	0	200,421,019	10,089,374
合 計	710,510,393	500,000,000	200,421,019	10,089,374

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	6,449,123	3,149,113	3,300,010
合 計	6,449,123	3,149,113	3,300,010

6 満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
基本財産			
東海東京証券 第5回群馬県公募公債(20年)	100,000,000	108,290,000	8,290,000
野村証券 第62回地方公共団体金融機構債券	100,000,000	100,780,100	780,100
SMBC日興証券 大阪府公募公債 第430回	100,000,000	99,820,000	△ 180,000
SMBC日興証券 い第818号利付商工債	100,000,000	100,040,000	40,000
合 計	400,000,000	408,930,100	8,930,100

※すべて満期時における元本が保証されている円建ての債券である。

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金(事業費, 運営費)	東京都大田区	0	670,034,000	670,034,000	0	-
合 計		0	670,034,000	670,034,000	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常外収益への振替額	該当なし

付 属 明 細 書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表の注記に記載

- 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	8,269,000	10,948,000	8,269,000	0	10,948,000
退職給付引当金	10,089,374	0	0	0	10,089,374

財 産 目 録
(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【流動資産】			
現 金	手許保管	運転資金として	650,298
" (共済口)	勤労共済手許保管		188,200
" (施設口)	予約センター手許保管		706,180
普通預金	みずほ銀行 蒲田支店	運転資金として	169,904,291
	" 共済		22,213,138
	" 施設使用料		82,902,179
	" 給料		43
	" 給油・ETC		55,890
	" 産業施設		0
	" 国補助		0
	三菱UFJ銀行 蒲田支店		760,753
	さわやか信用金庫 東糶谷支店		3,067,772
	さわやか信用金庫 東糶谷支店		4,359,000
	中央労金 蒲田支店		21,415
	共立信用組合 蒲田支店		5,488,683
	城南信用金庫 蒲田支店		999,882
未収金	産業プラザ管理運営経費	大田区補填金	4,017,776
	勤労者共済事業	収納代行料	795,250
	羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業収入	PiO PARK利用料	274,450
	中小企業情報化支援事業	HP作成支援	146,300
	産業プラザ管理運営経費	施設利用料	115,220
	その他		16,770
前払金	年会費(日本機械学会)	令和5年度分	45,000
	郵券等購入費	"	803,645
	その他	"	83,360
流動資産合計			297,615,495

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【固定資産】			
(基本財産)	第5回群馬県公募公債(20年)		100,000,000
	第62回地方公共団体金融機構債券	公益目的保有財産であり、 運用益を各中小企業支援 に係る事業等の財源として 使用	100,000,000
	大阪府公募公債 第430回		100,000,000
	い第818号利付商工債		100,000,000
	共立信用組合 蒲田支店 定期預金		100,000,000
(特定資産) 退職給付引当資産	みずほ銀行 蒲田支店 普通預金	退職金の支払に備えた引 当資産	10,089,374
	みずほ銀行 蒲田支店 定期預金	退職金の支払に備えた引 当資産	0
運営資金等積立資産	共立信用組合 蒲田支店 定期預金	運営資金として保有し運用 益を各中小企業支援に係 る事業等の財源として使用	24,185,285
	第157回利付国債20年		47,033,100
	第179回利付国債20年		18,336,800
	大和ネクスト銀行 定期預金		10,000,000
給付金等準備積立資産	第157回利付国債20年	勤労者共済事業の給付金 等の支出に備え保有し運 用益を勤労共済事業の財 源として使用	47,033,100
	さわやか信金 東靴谷支店 普通預金		9,672,577
産業プラザ修繕等準備積立資産	みずほ銀行 蒲田支店 定期預金	大田区産業プラザの修繕 等に備え保有し、運用益を 各中小企業支援に係る事 業の財源として使用	14,160,157
	共立信用組合 蒲田支店 定期預金		30,000,000
什 器 備 品	美術品・書「山の湖」	寄付により受け入れた大田 区産業プラザ利用者サービ スに供する書	2,500,000
	美術品・書「養浩」		800,000
	その他備品		10
電話加入権	1回線分		74,984
出資金	中央労働金庫		10,000
長期前払金	い第818号利付商工債	購入時の前払金	3,382
固定資産合計			713,898,769
資産合計			1,011,514,264

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【流動負債】			
未払金	明細は別紙「未払金内訳書」による		180,910,168
未払消費税			1,989,800
未払法人税等			70,000
預り金	源泉徴収所得税	令和5年3月人件費分	970,214
	特別徴収住民税	令和5年3月分	570,700
	健康保険料	〃	130,550
	厚生年金保険料	〃	238,899
	介護保険料	〃	19,009
前受金	大田区産業プラザ施設等利用料金等	令和5年度分	63,597,382
	勤労者共済事業収入	〃	248,320
賞与引当金		賞与の支払いに備えた引当金	10,948,000
流動負債合計			259,693,042
【固定負債】			
退職給付引当金		退職金の支払いに備えた引当金	10,089,374
固定負債合計			10,089,374
負債合計			269,782,416
正味財産			741,731,848

令和4年度未払金内訳書

	内 容	金 額
1	大田区返納金	122,809,049
2	ハイブリッド受発注プラットフォーム事業 普及・利用促進委託料	7,920,000
3	ハイブリッド受発注プラットフォーム事業 市場調査業務委託料	6,600,000
4	ハイブリッド受発注プラットフォーム事業 他機関との連携業務委託料	4,400,000
5	産業プラザ運営補助委託	4,297,522
6	勤労者共済事業施設利用券購入費等	3,902,480
7	次世代産業創造事業 コーディネーター報酬3月分	2,943,192
8	人材派遣委託料3月分	2,793,707
9	ハイブリッド受発注プラットフォーム事業 専門員報酬3月分	2,692,694
10	ハイブリッド受発注プラットフォーム事業 リスティング広告料	2,640,000
11	ものづくり取引促進事業 コーディネーター報酬3月分	2,411,019
12	職員社会保険料3月分	2,068,972
13	次世代産業創造事業 メタバース空間構築委託料	1,705,000
14	大田区産業プラザ 会場設営委託料3月分	1,130,250
15	大田区産業プラザ 情報設備点検委託料	990,000
16	PiO PARK サポート業務委託料3月分	957,000
17	職員人件費等3月分	929,109
18	大田区産業プラザ 建物管理経費3月分	845,135
19	創業者支援事業 創業相談員報酬3月分	783,359
20	ビジネスサポートサービス事業専門家謝金3月分	718,500
21	大田ものづくりプラットフォームアドバイザー報酬3月分	616,000
22	交流職員負担金	613,458
23	産業プラザ予約システム保守料3月分	463,100
24	大田区産業振興協会 ウェブサイト更新業務委託	286,110
25	中小企業情報化支援事業 ホームページ作成支援委託料	274,436
26	羽田ピオ光熱費3月分	256,371
27	高い活性化コーディネーター報酬3月分	253,117
28	内職相談員報酬3月分	220,814
29	共済システム保守委託料	220,000
30	デザイン相談業務委託料3月分	201,600
31	新製品・新技術コンクール訪問調査委託料	184,000
32	共済システムリース料3月分	155,100
33	ワークフローシステム次年度マスターデータ変更作業委託料	132,000
34	その他	3,497,074
	合 計	180,910,168

監査報告書

令和5年5月11日

公益財団法人大田区産業振興協会

理事長 川野正博様

監事 望月正芳

監事 佐々木信久

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度における理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告書について、検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 組織の運営及び事業は、経営理念に則り、各種規程を遵守し適切に執行されているものと認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) その他

大田区の所管部局とより十分な連携を図り、さらに事業の効率化に努めてください。

以上

令和 5 年 度

公益財団法人大田区産業振興協会

事業計画書 及び 収支予算書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日



公益財団法人大田区産業振興協会

目 次

1 基本方針	P. 1
2 事業計画	P. 2
3 収支予算書	P. 13
4 資金調達及び設備投資の見込みについて ..	P. 20

記載上の注意事項

●公益認定事業区分

(1) 公益目的事業

区内中小企業の振興を図る事業

(2) 収益事業等

〔1〕収益事業

施設貸与に伴う付加サービス事業

〔2〕その他の事業（相互扶助等事業）

区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業

大田区産業プラザの公益目的外貸与事業

大田区産業プラザ施設の維持・管理

●予算額の記入例

無印 … 事業予算額

(補) … 事業予算額のうち区補助金充当額

(利) … 利用料金収入で対応する事業の予算額

(委) … 区等からの委託料で対応する事業の予算額

※予算額は、人件費及び事業管理費を除いた事業費分のみを記載。

令和5年度 基本方針

区内経済は、3年に亘るコロナ禍の後もなお、欧州紛争、大規模災害、世界的なインフレや物資・原材料の不足等によりさまざまな影響を受け続けています。

このような厳しい環境の中、少子高齢化や人手不足といった慢性的な課題への対応、さらにはDXや脱炭素社会実現といった国運を左右する重要な課題への取組も緒に就いたばかりです。

公益財団法人大田区産業振興協会は、平成7(1995)年の創立以来、「大田区の産業の成長と発展にむけて『現場』から『世界一』の産業都市を目指す」設立理念に基づき、変化する環境に必要な支援を切れ目なく実行し、内外からの信頼獲得に努めてまいりました。

新型コロナによる経済活動への制限が解除される令和5年度は、景気回復への道程を確かなものとし、合わせて持続性の高い経済発展に向けて、羽田PiOにおける交流と海外取引の促進、時代を先取りする展示会の実施、SDGsへの取組、メタバースへのトライアル等、世界の潮流を的確に捉えつつ私たち自らが積極果敢にチャレンジし続けることで、すべての「産業者」の応援団として、皆様の期待に応えてまいります。

令和5年度 事業計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

第1号事業 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業

区内中小企業の高度な技術力や特徴等をPRし、大田区産業の持つ魅力を幅広く情報収集・発信するほか、協会が実施する各種事業やサービスの紹介、産業プラザをはじめ産業振興の拠点となる産業支援施設について、刊行物や協会Webサイト等、様々な情報手段を用いて区内外へPRする。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和5年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
<p>①大田区産業振興普及事業</p> <p>(ア)総合事業案内冊子の作成・配布 協会 Web サイト、総合事業案内及び大田区工業ガイドを活用し、国内外を問わず大田区の産業をPRし、協会事業の周知を図る。 また、視察対応を通じて区内中小企業の魅力や、区内産業の特徴を広く発信する。</p> <p>(イ)産業情報の発信 大田区工業ガイド(日本語版・英語版)を協会 HP に掲載し、区内産業への理解を促進する。</p> <p>(ウ)視察対応 国内及び海外からの視察・見学者の対応、区内の産業現場の見学の斡旋・引率を行う。</p>	<p>総合事業案内及び大田区工業ガイドを隔年で刷新。 本年度は、総合事業案内の内容を刷新する。 (ア)総合事業案内の刷新 (イ)来年度刷新へ向けての内容検討及び準備 (ウ)随時受け入れ対応</p>	<p>529 (補) 529</p> <p>企業、区民、来館者及び国内・海外視察者・見学者、産業団体</p>
<p>②大田ブランド発信事業</p> <p>高度な技術力や水準の高い製品開発力を持つものづくり企業や、特徴ある名品や名店を営む商い事業者等を大田区の地域ブランド力として発信する。</p>	<p>区内中小企業等の先進的な取組等を、協会事業の効果的な活用事例と併せて協会 Web サイトから毎月1回発信する。</p>	<p>0</p> <p>区内中小企業</p>
<p>③産業情報コンテンツの発信</p> <p>産業情報誌「テクノプラザ」を年2回発行する。また、新たに「テクノプラザ オンライン」を協会 HP 上に公開し、区内中小企業への産業情報コンテンツとして幅広い層からのアクセス向上と速報性の高い情報提供を図る。</p>	<p>取引拡大、人材確保等の先進的な取組事例等を紹介する他、有益な情報をタイムリーに発信する。</p>	<p>2,389 (補) 2,389</p> <p>区内中小企業</p>
<p>④産業情報受発信事業</p> <p>区内外の産業情報を収集するとともに、より分かりやすくかつ適切な媒体を用いて広く発信する。 協会 Web サイトや公式ツイッター等を活用し、産業施策、協会、区等の施策の案内だけでなく企業成長やシティプロモーションにつながる最新の情報をタイムリーに発信する。</p>	<p>SNS やプレスリリース配信サービスを活用し、区内企業向けだけでなく全国の企業や一般消費者にも大田区の産業情報を発信する。</p>	<p>4,447 (補)4,147</p> <p>区内中小企業及び勤労者</p>
<p>⑤調査・研究事業</p> <p>区内中小企業が事業展開等を検討する際に不可欠な産業情報等を収集・調査し、協会の事業構築に活用する。</p>	<p>区内中小企業にとって有益な情報を随時配信する。</p>	<p>0 (補) 0</p> <p>区内中小企業</p>
計		<p>7,365 (補)7,065</p>

第2号事業 区内中小企業の経営支援に関する事業

区内の中小企業や事業者の知的財産の活用、IT化の促進、事業承継、許認可取得及び店舗改装、並びに創業者への支援等を経営状況の段階に応じて情報提供や相談、助成を行い、幅広くサポートする。さらに各種の表彰制度を通じ、経営革新の促進やチャレンジ精神の醸成を図り、技術・技能の継承の事例を紹介することで、区内産業の維持発展を図る。 [事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和5年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
<p>①中小企業情報化支援 区内中小企業の Web サイトをはじめとした各種 PR ツールの作成を支援する「PiO デザイン工房」により、自社製品やサービスの PR を促進する。</p>	<p>区内企業や関係支援機関へ広報周知を行うことで、利用者の増をめざす。また、東京工科大学デザイン学部と連携し、Web サイトの新規作成者の増をめざす。</p>	<p>5,791 (補)3,112 区内中小企業</p>
<p>②ビジネスサポートサービス (ア)ビジネスサポート相談 経営改善、販路開拓、技術・生産性の向上、知財の活用、事業承継などに取組む区内中小企業等に対し、各分野の専門家を派遣する。 (イ)PiO フロント 大田区産業プラザの経営相談窓口として、必要な情報の提供、専門的な助言または、国や都等の支援機関窓口への橋渡しを行うことで、区内企業の経営基盤の強化につなげるとともに、産業プラザ全体の利便性を向上させる。 (ウ)大田区デジタルプラットフォーム 区内中小企業がデジタル化に必要な「人材」「知財」などを補うためのデジタル支援プラットフォーム「OTA デジタル×PiO」を運営し、利用者間の交流支援や、個別ニーズへのきめ細かなサポートを行い、企業経営の高度化及び取引拡大につなげる。</p>	<p>(ア)幅広い区内企業の利用促進をめざし、区内企業や関係支援機関へ広報周知を行う。 (イ)本相談窓口においてビジネスサポート事業や創業者支援事業等の当協会の事業を展開することにより、新規利用者の促進や総合的な課題解決など相乗効果を図る。 (ウ)メンバー数を維持・拡大するとともに、メンバー同士のコミュニケーションを活性化させる。</p>	<p>11,980 (補)11,980 区内中小企業</p>
<p>③繁盛店創出事業 (ア)個店診断・改善費用助成 商店に、経営指導や店舗デザインなどの専門家を派遣して、総合的な改善提案を行う。専門家の提案に基づいて店舗の内外装飾、宣伝広告などを実施する費用の一部を助成することで、モデルとなる繁盛店を創出し、周辺地域への波及効果を狙う。 (イ)デジタルを活用した情報発信 情報誌「あき now」を LINE 公式アカウント「商い PiO」に名称を変更し、協会からの情報提供・案内を行う。</p>	<p>(ア)新たに、複数店舗が行う共同事業への助成、SDGs の取組みに対しての加算、再申請を可能とする交付条件に事業内容を拡充し、その新制度の浸透を図る。 (イ)区内事業者にタイムリーな情報を発信するとともに、利用者登録を促進する。</p>	<p>23,717 (補)23,717 (ア)区内商店(個店) (イ)区内商業・サービス業事業者及び区内で創業しようとする者</p>
<p>④創業者支援事業 区内での創業希望者や創業後間もない方に対して、専門相談員が様々な課題の解決に向けた助言等を行うことで、創業期の負担軽減を図る。 また、地域産業の活性化に資する創業者の発掘や誘致を行い、区内での活動を支援する。 (ア)創業相談窓口の設置 区内での創業を考えている方及び創業間もない方へ専門相談員による相談対応を行い、創業時の様々な課題解決に対応する。</p>	<p>(ア)専門相談員による継続的な相談や国の特定支援事業の活用を促し、区内創業を促進する。</p>	<p>20,726 (補)20,566 区内で創業しようとする者</p>

<p>(イ)ユナイト助成 区内へのスタートアップ企業の立地促進を行うとともに、スタートアップ企業が大田区内の企業に対し試作等を依頼・発注する際に係る経費の3分の1もしくは2分の1(上限50万円)を助成する。</p> <p>(ウ)創業ワークショップ 主に創業間もない方を対象に、アイデアのブラッシュアップやグループワークなどを通して創業者の事業発展につなげる。</p> <p>(エ)ベンチャーピッチ 創業者に対し、ビジネスプラン策定等に関するコーチング支援を行った上で、ピッチイベントの場を提供し、投資機関からの資金調達や大手企業とのマッチングを促進する。</p> <p>(オ)スタートアップ誘致 交流空間「PiO PARK(ピオパーク)」の羽田空港に隣接する利便性や区内の産業集積といった創業に有利な環境の強みをPRするとともに、関係機関と連携しながら有望なスタートアップを誘致することで、区内での新製品や新技術の創出を促進する。</p>	<p>(イ)HANEDA×PiOを利用するスタートアップや大学発ベンチャーの窓口、各種産業支援機関及びピッチイベントの参加者等を中心に周知することで、申請者数の増加を図る。</p> <p>(ウ)令和5年度は、参加費を有料化し、参加意欲を高めるとともに内容を充実させる。</p> <p>(エ)令和5年度は、参加費を有料化し、参加意欲を高めるとともに内容を充実させる。</p> <p>(オ)アジアを中心とする海外を含めた有望なスタートアップ企業を関係機関との連携を通じて誘致することを目指す。</p>	<p>(イ)スタートアップ企業または創業予定者で、大田区内の企業に試作を依頼・発注する者</p>
<p>⑤工場表彰制度 人に優しい、まちに優しい、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定し、その中で特に優秀な工場を表彰する。この認定・表彰を通じて、区内ものづくり産業に従事する人のやりがい、ものづくりの喜びの一助とするとともに、区内町工場の優秀性を内外にPRし、大田区工業の振興に寄与する。</p>	<p>認定工場数を10社とし、優工場を区内外に広くPRするとともに、大学就職課とのネットワーク構築に向け、交流イベントを実施し、人材確保の推進を図る。</p>	<p>4,085 (補) 3,985 区内の工場</p>
<p>⑥商店(飲食店)表彰制度 大田区内の特色ある優良な飲食店として表彰した店舗を総合的にPRすることにより、大田の食の魅力を内外に広く周知するとともに、表彰店舗の新たな顧客創出や売り上げアップに寄与する。</p>	<p>Webサイトを中心としたPRを展開することで、大田の食全体の魅力度向上を図る。</p>	<p>165 (補) 165 区内の一般飲食店</p>
<p>⑦大田のお土産100選 表彰事業 大田区のPRの一環として「これぞ大田のお土産!」と言える製品・商品を、区内外へ広くPRすることで、地域経済の活性化と賑わいの創出を図る。</p>	<p>Webサイト等を通じて、表彰事業者の認知度向上、売上拡大の機会を提供する。</p>	<p>165 (補) 165 区内中小企業</p>
計		<p>66,629 (補)63,690</p>

第3号事業 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

大田区を代表するものづくり産業をはじめ、商い・サービス業に対して、専門相談員による受・発注相談を行う。また、Meet New Solution in OTA やおおた商い・観光展等の自主企画展示会、各種商談会を実施するほか、国内外の見本市への出展等を支援することで、国内外から受注案件が獲得し易い取引環境の提供や新市場を拡大するためのサポートを行い、地域産業の活性化を図る。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和5年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
<p>① 受・発注相談 区内中小企業の取引を促進するため、国内外からの受・発注あっせん相談に対応可能な専門の相談員を配置し、適切な区内中小企業の紹介を行うとともに、幅広く商談機会を提供する。</p> <p>(ア)相談業務 専門相談員による受・発注のあっせん相談、区内中小企業への巡回訪問を行う。</p> <p>(イ)発注開拓 職員、専門相談員が大手・中堅企業の企画・開発部門等へ積極的にアプローチし、発注案件の開拓を行う。</p> <p>(ウ)受・発注商談会 新規顧客開拓・情報交換の場として、大田区の製造業者を中心に全国の発注企業と受注企業が一堂に会する商談会を開催する。(年1回)</p> <p>(エ)大田ものづくりプラットフォーム 取引拡大支援に関する事業を強化するため、インターネット上に、区内事業者を検索するプラットフォームを提供する。</p>	<p>(ア)高付加価値案件に対応可能な区内企業の発掘など区内中小企業への巡回訪問に注力し、常にデータベースの内容を最新にすることで、受発注あっせんの精度を高める。</p> <p>(イ)従来の企業訪問に加え、出張展示会などを実施し、区内中小企業の取引促進機会を拡大する。</p> <p>(ウ)参加企業数や、当日の商談回数等の満足度向上につながる商談会の運営を検討し大田区産業プラザで実施する。</p> <p>12月7日(木)予定</p> <p>(エ)24時間、365日、年間を通じて安定運用することで、クローリングにより最新の情報を蓄積する。</p>	<p>32,097 (補)31,607</p> <p>区内外の 中小企業</p>
<p>②海外取引相談事業 区内中小企業の海外取引への道を開くため、地域に密着したワンストップ窓口として企業の個別課題に対応する。</p> <p>(ア)窓口・訪問相談 貿易実務や売買契約等、国際ビジネス全般に関する相談業務を行う。職員及び専門相談員が助言するほか、国内外の公的機関とのネットワークを駆使して区内企業の課題やニーズに対応する。</p> <p>(イ)国際連携の推進 海外市場の開拓を行うとともに、国内においても各国の出先機関とのネットワーク強化を図る。 また、グローバルビジネス勉強会及び海外セミナーを通じて各国の市場性、投資環境などの情報や発注案件を区内中小企業に提供する。同時に国際化に向けた区内企業間の連携関係を構築する。</p> <p>(ウ)外国語文書翻訳・海外企業信用調査 区内中小企業の企業カタログ、マニュアル、契約書等の翻訳を行う。また、取引開始時に貴重な判断材料となる外国企業の信用調査をサポートする。</p> <p>(エ)英文企業ガイドの活用 区内企業の製品・技術を海外市場に向けて発信するため、英文の企業ガイドを更新し、Web上で展開してプロモーションを行う。</p>	<p>(ア)相談窓口を羽田イノベーションシティ内「ハネダピオ」に移し、外部機関との連携も強化して、サービスの充実を図る。</p> <p>(イ)区内企業との親和性や社会状況なども鑑みて、欧州及び台湾との取引拡大に注力する。</p> <p>(ウ)PiO PARK内の事業と連動させて区内企業の海外展開を支援し、海外企業の信用調査案件を拡大する。</p> <p>(エ)コロナ禍で見合わせていた海外出張の再開に合わせて、海外機関との連携を強化し積極的にPRする。</p>	<p>18,473 (補)18,433</p> <p>区内中小企業</p>

<p>(オ)国際ビジネス商談会の実施 海外出張時やビジネスパーソンの来日時に小規模かつタイムリーに開催する。</p> <p>(カ)海外企業・機関誘致 区の特徴である工業集積を活かすとともに、海外公的機関との連携も活用して、海外企業の立地を促進する。</p>	<p>(オ)羽田イノベーションシティ 来訪者との商談機会を強化する。</p> <p>(カ)羽田イノベーションシティ 全面開業を訴求するとともに、海外公的機関との連携も強化し、誘致に注力する。</p>	
<p>③大田区加工技術展示商談会 区内中小製造業の約8割を占める10人以下の企業のうち、加工を専門とする企業の技術力を全国の手・中堅企業にPRし、具体的な取引成立を目途とした展示商談会を開催する。(年1回)</p>	<p>出展企業の取引促進機会を拡大するため、会場を改修工事が完了した大田区産業プラザ大展示ホールに戻し、全国の手・中堅企業に向けた来場者誘致を強化し、確度の高い商談機会の提供につなげる。9月8日(金)開催予定</p>	<p>15,784 (補)13,784 区内中小企業</p>
<p>④国内見本市への出展支援 区内中小企業が開発・製造した優秀な製品や優れた技術力のPRと取引促進機会の拡大を目的に、全国規模の展示会に共同出展するための支援を行う。</p> <p>(ア)ものづくり産業PR展示会 全国各地で開催される展示会を活用し、大田区のものづくりをPRするとともに、区内中小企業への発注案件・開発案件の獲得等、取引促進機会の拡大につなげる。</p> <p>(イ)新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 新製品・新技術コンクールに受賞した企業に向け、各種展示会への出展支援を行うことにより受賞企業の販路拡大や取引促進機会の拡大につなげる。</p> <p>(ウ)動画作成セミナー 区内企業の自社PR動画作成を支援することにより、企業が自社の特徴・強み等を認識し見本市やSNS等で効果的なPRにつなげることでビジネスチャンス創出の一助とする。</p>	<p>(ア)区内中小企業と技術テーマで親和性が高く、波及効果が期待できる国内見本市を厳選し大田区ブースとして共同出展する。</p> <p>(イ)受賞企業(9社)の取引拡大につながるよう、希望する展示会への出展に関わる手続き面等のサポートなど後方支援を行う。</p> <p>(ウ)企業自らが動画作成のスキルを習得し、継続的にPRできるよう複数回のセミナー形式で伴走的に支援する。 (20社参加予定)</p>	<p>21,548 (補)16,224 区内中小企業</p>
<p>⑤海外見本市への出展支援 区内中小企業の海外取引拡大を目的に企業の海外見本市への出展を、共同出展により支援する。</p> <p>(ア)共同出展 区内の産業者が有する技術・製品のニーズが見込まれる海外見本市に区内企業と共同で出展する。海外からの取引機会を促進するほか、見本市会場にて区内産業全体をPRする。</p> <p>(イ)海外見本市調査 成長が見込まれる地域や産業分野の海外見本市を調査し、次年度以降の共同出展につなげる。</p>	<p>(ア)ドイツで開催されるCOMPAMEDに区内企業と共同出展する。JETROと連携の上で出展準備と現地運営を行う。</p> <p>(イ)区からの派遣職員と連携してJETRO等から有益な情報入手に努め、出展すべき見本市を選別する。</p>	<p>10,706 (補)9,643 区内中小企業</p>
<p>⑥自主企画展示会(産業フェア) (ア)おおた商い・観光展(アキナイ・クロス事業) 売り手(事業者)と買い手(地域区民、通勤者等)をクロスさせることにより、商圈外の新規顧客獲得を目指す。また、新たに認知した商品の再購入を目指す区内対流を活発化させ、区民の大田区の魅力再発見に結び付ける。</p>	<p>(ア)乗降客、通常往来数の多い蒲田駅、大森駅周辺の施設に会場を設け、蒲田駅周辺会場には大森・調布地区の事業者を集め、大森駅周辺会場では蒲田・調布地区の事業者を集めて商</p>	<p>23,673 (補)19,658 区内外の企業及び一般区民</p>

<p>(イ) Meet New Solution in OTA 展示会等を通じ、社会的課題を解決するような新製品・新サービス等を広くPRし、取引拡大に寄与する。</p>	<p>品の販売・PRを行う。 (イ)大田区産業プラザを会場に「ロボティクス」や、「医療」、「モビリティ」などの複数のテーマを設け、来場者や出展者間の交流によるイノベーション創出を促進する。令和6年2月開催予定</p>	
<p>⑦商い・サービス産業取引相談 区内商業・サービス事業者の取引促進のため、事業者の訪問調査・相談を行うための専門相談員を配置して、各種サポートや商談機会を提供する。 (ア)相談業務 商業事業者の経営課題、経営環境の改善等に対して専門相談員による相談や情報提供を行い、商業活動の活性化を図る。 (イ)フード展示商談会 主に区内食品事業者に対し、バイヤーへ自社商品を売り込む商談会を開催する。 (ウ)商品磨き上げ事業 現役のバイヤー等を講師に迎え、自社商品の魅力度やPR力、販売力を向上させ新規取引獲得を目指す。</p>	<p>(ア)専門相談員が収集した情報の発信、継続的なマネジメント支援を重点に事業者の経営力強化を図る。 (イ)一般的なバイヤーに加え新たに取引可能性のある区内飲食店や小売店にも参加を呼びかける。 (ウ)専門相談員によって更なる成長が期待できる事業者を選出し、バイヤーによる個別指導だけでなく、繁盛店創出事業の助成金活用も促す。</p>	<p>4, 744 (補) 4, 684 (ア)、(イ)区内の商業・サービス事業者 (ウ)区内の食品事業者</p>
<p>⑧羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業 HANEDA×PiO 内の PiO PARK (ピオパーク) の PR 活動や管理・運営を通じて、区内外の企業・機関の利用促進や連携強化等を行い、イノベーションを推進する。 (ア)PiO PARK の利用促進 コワーキング、イベント及びショーケースの管理・運営、HP 等、様々な広報手段を活用し、施設利用を促進するためのプロモーションを行う。 (イ)協会や区が主催するイベントの運営・支援 PiO PARK でイベント(セミナー、勉強会及び研修等)を積極的に行い、利用者やテナント企業との連携を促進する。 (ウ)利用者に対する産業支援 職員や専門相談員による助言や関係先の紹介、利用者同士の交流促進を通じ、利用者の経営的成長と満足度向上につなげる。 (エ)区外企業・機関との連携促進 PiO PARK を接点に、区内企業(当施設利用者含む)と区外企業・機関との連携を活性化させ、産業の高度化につなげる。</p>	<p>(ア)従前の取組に加えて委託事業者独自のリソースを用いたプロモーションもを行い、利用促進を強化する。 (イ)協会や区が主催するイベントに加えて、連携先とのイベントや、委託事業者によるイベントなどを行うことで、前年度よりも幅広い利用者層にアプローチしていく。 (ウ)利用者同士の交流創出に注力し、PiO PARK から新ビジネスが創出されることをめざす。 (エ)区外から PiO PARK 来訪者が多いことを最大限活用し、区内企業の強みをPRして、具体的な連携機会を創出する。</p>	<p>37, 437 (補) 31, 101</p>
計		<p>164, 462 (補) 145, 134</p>

第4号事業 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業

区内中小企業の持続した発展の鍵となる、次世代を担う後継者や若手人材の育成・確保を行う。人材育成では、小中学生におおた少年少女発明クラブの活動等を通じてものづくりの魅力を伝えるほか、若手人材には高専と連携した教育を展開する。また、人材確保ではWebサイトやイベントを通じて若手人材の採用を促進するほか、内職希望者のあっせんを行う。 [事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和5年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
①おしごとナビ大田区 インターネット上に、区内中小企業の求人情報と企業PRを発信する場を提供し、登録掲載企業の求人活動を支援する。 (ア) 求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営 (イ) 民間広告媒体を活用したPRの実施	(ア) 採用企業の成功事例を掲載し、ユーザーの立場に立ったサイト作りを進める。 (イ) 求職者向けのチラシや電車内広告等の活用により、求職者へのPRを強化し、求人企業の採用活動を後押しする。	2,024 (補) 183 区内の企業及び一般の求職者
②中小企業次世代のものづくり人材の育成事業 区内中小企業の中核となるものづくり人材の育成と、小学生の頃からものづくりへの関心を高めるための教育事業を実施する。 (ア) 都立産業技術高等専門学校との連携 都立産業技術高等専門学校の教授陣による講座の開催により、区内中小企業の人材育成を行う。学校施設を使った座学講座の他に、講師を企業に派遣する出張型の出前講座を実施する。 (イ) おおた少年少女発明クラブの支援 小中学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を助成する。	(ア) メルマガや工業団体などへのチラシの配付等により、区内中小製造業に広く事業を周知し、座学講座への新規参加者増を図るとともに、区内中小製造業におけるスキルの底上げを図る。 (イ) 運営団体に有益となる産業情報を提供し、クラブの活動の充実を促す。	999 (補) 899 (ア) 区内中小企業の従業員 (イ) 小学4～6年生
③若者と中小企業とのマッチング事業 企業の後継者・若手人材の確保を促進するため、大学など教育機関等と連携を図り、区内企業が参加する合同企業説明会を開催することで、就職活動中の学生等とのマッチングの機会を提供する。	新たな教育機関等の参加を開拓することで、区内中小企業の若手人材確保に寄与する。また、新卒のみならず、経験者等の求職者層を含めたマッチングイベントについても検討する。	2,262 (補) 2,262 区内中小企業及び一般求職者・職業訓練校生を中心とした若者
④+WORK(旧内職あっせん・相談)事業 区内の求職者及び求人企業を対象として、内職の相談・あっせんを行う。 (ア) あっせん相談 協会事務所での常設窓口の設置の他、ハローワーク大森での出張相談(隔月1回)を実施 (イ) 求人開拓 企業訪問(月1～2回) (ウ) 普及啓発用印刷物の作成 求人募集パンフレット	(ア) 求人企業及び求職者のオンライン化、データベース化を進め、マッチング率を高める。 (イ) 付加価値があり、単価の高い内職作業を発注する企業の開拓に重点を置いて、訪問等を行う。 (ウ) 子育て世代の求職者に事業の認知と具体的な活用につなげるため、区立の児童館を中心に配布する。	4,574 (補) 4,574 区内中小企業及び区民一般
計		9,859 (補) 7,918

第5号事業 区内中小企業の技術開発支援に関する事業

区内中小企業が時代に即した技術開発を行えるように、産学、医工及び企業間連携などを推進する。技術や情報の相互交流により、地域産業の競争力が向上するよう、情報提供、助成、セミナーや展示会の開催など、各種の事業を通じて、産業クラスターの形成や、技術の高度化、開発力の向上に資する。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和5年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
<p>①新製品・新技術開発支援事業</p> <p>(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成</p> <p>区内中小企業の技術力、製品開発力を向上させ、新たな付加価値を生み出すものづくり産業の活性化を図るため、市場調査及び試作開発に要する経費の一部を助成する。</p> <p>(イ) 新製品・新技術コンクール</p> <p>区内中小企業が開発した優秀な新製品・新技術を表彰するとともに、受賞製品技術の販路拡大等支援を行う。</p>	<p>(ア) 各種媒体等を積極的に活用し助成金の周知に努め、多くの区内企業の応募につながるよう活動する。</p> <p>また、トライアル助成と開発ステップアップ助成、または、トライアル助成と実用化製品化助成との同時申請を可能とすることで、各申請件数の増加を図る。</p> <p>(イ) 表彰企業に対して事業ロゴマークの活用を周知することで受賞企業のPR力の強化及び本事業の活性化につなげる。</p> <p>(ア)(イ) 共通</p> <p>協会Webサイトや産業情報誌への掲載、工場アパートや区内金融機関窓口等でのチラシ配布により事業PRを行う。また、専門相談員と連携し、試作品開発案件に対する本事業活用の促進や巡回訪問時等における事業PR等に積極的に取り組む。</p>	<p>76,473 (補)76,473</p> <p>区内中小企業</p>
<p>②次世代産業創造・産業クラスター形成事業</p> <p>区内中小企業に親和性が見込める産業分野を中心に次世代産業への参入と地域への各種産業集積の実現に資する事業を実施する。</p> <p>(ア) 区内の研究開発型企業及び協会サービスに関する情報の発信。</p> <p>大学等研究開発機関の開発ニーズと区内中小企業の技術とのマッチングを促進するため、区内の研究開発型企業を紹介するWebサイト「mirai」の運営及び研究開発型企業ガイドの発行及び一部有料にて販売を行う。</p> <p>(イ) 産学公相談</p> <p>区内中小企業の新製品・新技術開発における課題を、産学連携相談や大学・研究機関等との連携により事業化できるようマッチングを行う。</p> <p>(ウ) オープン・イノベーションマッチング</p> <p>大学等研究開発機関や大手企業の開発ニーズを捉え、区内中小企業とのマッチングを推進することにより、区内中小企業の新産業、次世代産業への参入の</p>	<p>(ア) 地方に拠点をおく相談員との連携により、北海道をはじめとする幅広い地域での大学等研究機関に向けて、区内中小企業との連携に関する情報発信に注力する。また、スタートアップ企業との連携を前向きに取り組みたいと考える区内企業の情報を発信し、付加価値の高い案件の獲得を促す。</p> <p>(イ) 展示会出展を予定する分野、特にライフサイエンス・ヘルスケア、次世代モビリティ及びロボティクス分野とのマッチングを強化する。</p> <p>(ウ) 大学等研究開発機関や大手企業の開発ニーズの開拓をより積極的に行う。</p>	<p>66,500 (補)60,956</p> <p>区内中小企業及び大学等研究機関・医療機関及び公的機関</p>

<p>機会提供を行う。</p> <p>(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催 ライフサイエンス・ヘルスケア、ロボティクス、次世代モビリティ、レアアース泥開発、環境・海洋プラスチックごみ、農工連携、危機管理、意匠デザイン等、新技術や新分野をテーマにしたセミナーやワークショップを開催する。</p> <p>(オ) おおた研究・開発フェア 開発した技術の用途開発や共同研究先を探す出展者と技術革新を目指す来場者との出会いの場を提供する。「産学」「産産」連携や、「技術移転」等への展開を通して新たなイノベーション創出に繋げる。</p> <p>(カ) 新産業分野の展示会への出展 次世代産業分野を中心に幅広く出展し、区内中小企業の技術力を PR するとともに、将来的に産業クラスターの形成につながる研究開発型案件を獲得する。</p> <p>(キ) 知財マッチングの推進 大手企業・大学などが保有する特許などの知的財産と区内中小企業のニーズを結び付け、区内企業の製品開発や工程改善などを後押しする。</p>	<p>(エ) 区内企業の先端産業分野への対応力醸成のため、最新技術や市場動向を踏まえ、産業クラスターの形成を見据えたテーマ設定を行う。</p> <p>(オ) 各出展者へ職員・技術相談員を配置・マッチングすることで、確度の高い商談を促進する。また、HICityでの開催により、羽田に隣接する地の利を活かし、遠方や海外から多くの出展及び来場を図る。</p> <p>(カ) リアルまたはオンライン展示会それぞれの特徴を十分に把握・活用し、積極的に研究開発型案件を獲得する。</p> <p>(キ) 大手企業・大学などの知財部門にアプローチし、区内企業の製品開発などに適した技術シーズとのマッチングを実現する。</p>	
計		142, 973 (補) 137, 429

第6号事業 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

区内中小企業が個別に整備することが難しい福利厚生の実施を図る。勤労者共済制度を核に、事業主や勤労者が健康を維持し余暇を有意義に活用するための事業や、慶弔見舞金などの給付金制度等、各種福利厚生事業を行う。
[事業区分:全細事業ともその他事業]

細事業名及び事業概要	令和5年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
①加入促進事業 (ア) 勤労者共済事業の周知 ・勤労者共済事業紹介パンフレット類の配布 ・会報誌の発行やHP等による情報発信。 (イ) 会費管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進 ・会員の事業利用状況の把握・給付申請の通知 ・会員募集パンフレット類の配布やテクノプラザ・各団体会報誌への掲載、促進員及び職員の訪問勧奨による加入促進を図る。	(ア)(イ)共通 勤労者共済事業について、HPからの利用促進をはじめ、LINE友達登録の推進、HPの逐次更新など、会員に対して情報発信を行う。 また、業種・業態に関わらず新規事業所への加入勧奨や法人会等各団体にも積極的に加入促進を図る。	13,718 (補) 5,432 区内中小企業事業主及び勤労者・共済会員
②福利厚生事業 (ア) 健康の維持増進に関する事業 ・ミニドック・人間ドック、インフルエンザ予防接種の受診補助 ・公衆浴場、スポーツセンター・区営プールの利用補助 (イ) レクリエーション事業 バスツアーの利用・補助 (ウ) 宿泊補助と生涯学習利用に関する補助 ・指定宿泊施設の利用補助 ・指定通信教育の利用補助 (エ) 契約施設等の利用 ・レジャー施設の利用補助 ・区内指定店、デパートの割引あつ旋 (オ) 区内店舗等の利用補助 (カ) 各種チケットの割引あつ旋 映画・スポーツ観戦・観劇・コンサート類チケット、プリペイドカード、食事券等の割引あつ旋	(ア)～(カ)共通 区内産業との連携促進を図りつつ、事業ごとの内容の見直しを進め、新規企画を立案し、会員サービスの拡充を図っていく。 また、利便性の高いデジタル商品・サービスを導入していく。	35,984 (補) 0 共済会員
③給付事業 (ア) 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付 ・祝金 — 結婚・銀婚・金婚、20歳、出生等 ・見舞金 — 入院、障害、住宅火災等 ・弔慰金 — 会員・家族死亡等 (イ) 共済会員への「祝品」(5年継続、10年毎継続、小・中学校入学)の贈呈	(ア)(イ)共通 デジタル商品券の導入やキャッシュレス(口座振替)による給付を進める等、サービスの充実を図る。	7,775 (補) 0 共済会員
計	57,477 (補) 5,432	

第7号事業 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業

大田区産業プラザの指定管理者として顧客満足度を高め、MICE 誘致の推進により区内産業振興の拠点として地域に貢献する。計画修繕により施設の長寿命化を図り、利用者に快適な空間を提供する。

[事業区分:公益目的事業、収益事業及びその他事業]

細事業名及び事業概要	令和5年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
<p>①産業プラザ展示ホール等の管理運営 [公益目的事業及びその他事業]</p> <p>大田区産業プラザ条例に定める施設管理について指定管理者(利用料金制度による)として、大田区産業振興に繋がる利用を促進するとともに、産業プラザの集客力を高め、幅広い交流や情報交換を進める。</p> <p>【指定管理期間】 令和4年4月1日～令和9年3月31日</p>	<p>令和4年度の産業プラザ大展示ホール特定天井工事完了により、全館利用が可能となることに加え、ウィズコロナ、アフターコロナにおける人流・経済活動の復活を見据え、関連産業の裾野が広く、区内経済の活性化に資する MICE について、引き続きその誘致に注力する。</p>	<p>(利) 222, 149</p> <p>区内外の企業及び一般区民</p> <p>※利用者の使用目的により公益目的事業とその他事業に区分</p>
<p>②施設貸与に伴う付加サービス事業 [収益事業]</p> <p>大田区産業プラザの管理代行業務の実施に際し、区条例等に定めのないサービスを付加することで施設の利用者の利便性向上と利用促進を図る。</p> <p>(ア)周辺マップ 来館者に、食事や宿泊、ショッピングなどの情報をタイムリーに提供することで、経済波及効果を生み、地域産業の活性化につなげていく。</p> <p>(イ)PiO 倶楽部 安全・安心な施設であるだけでなく、他の施設にはない小回りの利くサービス提供や、産業のまち大田ならではの特徴を生かした PR 活動を推進する。</p>	<p>(ア)大展示ホールの利用再開に合わせ、配布枚数を増やす等 PR を強化する。</p> <p>(イ)より見やすく使いやすくするため、業種ごとの整理やカラー化の検討を行い大田区企業の掲載を増やしていく。</p>	<p>(自) 4, 727</p>
<p>③産業プラザ施設維持の管理運営 [その他事業]</p> <p>大田区産業プラザ等の施設維持管理業務受託者(区契約)に対し、協会は管理監督業務を受託する。貸館部分の管理代行と合わせてより効率的な業務運営に努める。また、施設・設備の劣化状況を把握し、小破修繕等を適切に実施する。</p>	<p>大規模改修工事設計業務が円滑に行われるよう準備・調整業務を行う。</p>	<p>(委) 53, 267</p>
計	<p>280, 143</p> <p>うち (利) 222, 149 (自) 4, 727 (委) 53, 267</p>	

公益財団法人大田区産業振興協会

令和5年度収支予算書

[正味財産増減計算ベース]

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,611,000	2,611,000	0
② 特定資産運用益	400,000	280,000	120,000
③ 事業収益	306,483,000	240,320,000	66,163,000
④ 受取補助金等収益	721,954,000	740,013,000	△ 18,059,000
⑤ 受取寄附金	10,000	10,000	0
⑥ 雑収益	100,000	44,000	56,000
経常収益計	1,031,558,000	983,278,000	48,280,000
(2) 経常費用			
事業費	1,025,012,000	986,115,000	38,897,000
管理費	10,632,000	8,742,000	1,890,000
大田区返納金	0	0	0
経常費用計	1,035,644,000	994,857,000	40,787,000
当期経常増減額	△ 4,086,000	△ 11,579,000	7,493,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
指定正味財産からの振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,086,000	△ 11,579,000	7,493,000
一般正味財産期首残高	214,266,000	225,845,000	△ 11,579,000
一般正味財産期末残高	210,180,000	214,266,000	△ 4,086,000
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	710,180,000	714,266,000	△ 4,086,000

令和5年度 収支予算書内訳書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計			
	公1	小計	収1	他1
	区内中小企業の振興を図る事業		産業プラザの指定管理に伴う付加サービス事業	区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収益	1,742,000	1,742,000	0	0
基本財産運用収益	1,742,000	1,742,000	0	0
② 特定資産受取利息	0	0	0	100,000
特定資産運用収益	0	0	0	100,000
③ 事業収益	229,986,000	229,986,000	5,387,000	48,895,000
支援事業収入等	229,986,000	229,986,000	5,387,000	48,895,000
④ 受取補助金等収益	619,540,000	619,540,000	0	39,433,000
受取大田区補助金	619,540,000	619,540,000	0	39,433,000
受取大田区受託料	0	0	0	0
⑤ 受取寄附金	10,000	10,000	0	0
寄附金収益	10,000	10,000	0	0
⑥ 雑収益	100,000	100,000	0	0
雑収益	80,000	80,000	0	0
受取利息収益	10,000	10,000	0	0
受取配当金収益	10,000	10,000	0	0
経常収益計	851,378,000	851,378,000	5,387,000	88,428,000
(2) 経常費用				
事業費	852,906,000	852,906,000	4,727,000	91,897,000
報酬	89,105,000	89,105,000	0	0
委員報酬	0	0	0	220,000
給料手当	187,613,000	187,613,000	672,000	23,305,000
福利厚生費	49,663,000	49,663,000	179,000	6,183,000
会議費	325,000	325,000	0	3,000
旅費交通費	6,533,000	6,533,000	28,000	80,000
通信運搬費	4,515,000	4,515,000	87,000	894,000
消耗什器備品費	1,501,000	1,501,000		
消耗品費	9,847,000	9,847,000	659,000	436,000
修繕費	8,184,000	8,184,000	170,000	59,000
印刷製本費	7,028,000	7,028,000	493,000	2,598,000
燃料費	130,000	130,000	0	18,000

〔正味財産増減計算ベース〕

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他2	他3	小計			
産業プラザの指定管理に伴う公益目的外貸出に伴う事業	大田区産業プラザ施設の維持・管理				
0	0	0	869,000		2,611,000
0	0	0	869,000		2,611,000
0	0	100,000	300,000		400,000
0	0	100,000	300,000		400,000
22,215,000	0	76,497,000	0		306,483,000
22,215,000		76,497,000	0		306,483,000
0	53,267,000	92,700,000	9,714,000		721,954,000
0	0	39,433,000	9,714,000		668,687,000
0	53,267,000	53,267,000	0		53,267,000
0	0	0	0		10,000
0	0	0			10,000
0	0	0	0		100,000
0	0	0	0		80,000
0	0	0	0		10,000
0	0	0	0		10,000
22,215,000	53,267,000	169,297,000	10,883,000		1,031,558,000
22,215,000	53,267,000	172,106,000			1,025,012,000
0	0	0			89,105,000
0	0	220,000			220,000
1,932,000	19,969,000	45,878,000			233,491,000
513,000	5,298,000	12,173,000			61,836,000
0	0	3,000			328,000
47,000	2,000	157,000			6,690,000
47,000	0	1,028,000			5,543,000
155,000		155,000			1,656,000
685,000	3,094,000	4,874,000			14,721,000
836,000	20,207,000	21,272,000			29,456,000
39,000	0	3,130,000			10,158,000
0	50,000	68,000			198,000

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	他 1
賃借料	21,812,000	21,812,000	253,000	2,492,000
情報使用料	11,468,000	11,468,000	0	1,119,000
保険料	920,000	920,000	1,000	62,000
諸謝金	23,932,000	23,932,000	0	268,000
租税公課	3,108,000	3,108,000	0	108,000
負担金	91,247,000	91,247,000	0	2,156,000
助成金	98,656,000	98,656,000	0	0
委託費	229,332,000	229,332,000	2,182,000	8,921,000
宣伝広告費	6,331,000	6,331,000	0	39,000
利用補助費	0	0	0	4,969,000
施設利用券購入費	0	0	0	28,981,000
給付金	0	0	0	7,775,000
渉外費	255,000	255,000	0	35,000
雑費	1,401,000	1,401,000	3,000	1,176,000
管理費				
役員報酬				
給料手当				
福利厚生費				
会議費				
旅費交通費				
通信運搬費				
費用弁償				
消耗品費				
修繕費				
印刷製本費				
燃料費				
賃借料				
情報使用料				
保険料				
諸謝金				
租税公課				
負担金				
委託費				
宣伝広告費				
渉外費				
雑費				
経常費用計	852,906,000	852,906,000	4,727,000	91,897,000

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他2	他3	小計			
148,000	1,089,000	3,982,000			25,794,000
249,000	0	1,368,000			12,836,000
22,000	15,000	100,000			1,020,000
6,000	0	274,000			24,206,000
258,000	2,579,000	2,945,000			6,053,000
7,640,000	0	9,796,000			101,043,000
0	0	0			98,656,000
9,570,000	936,000	21,609,000			250,941,000
17,000	0	56,000			6,387,000
0	0	4,969,000			4,969,000
0	0	28,981,000			28,981,000
0	0	7,775,000			7,775,000
0	0	35,000			290,000
51,000	28,000	1,258,000			2,659,000
			10,632,000		10,632,000
			680,000		680,000
			6,658,000		6,658,000
			1,767,000		1,767,000
			16,000		16,000
			6,000		6,000
			16,000		16,000
			102,000		102,000
			39,000		39,000
			11,000		11,000
			5,000		5,000
			5,000		5,000
			155,000		155,000
			244,000		244,000
			18,000		18,000
			77,000		77,000
			31,000		31,000
			468,000		468,000
			289,000		289,000
			11,000		11,000
			10,000		10,000
			24,000		24,000
22,215,000	53,267,000	172,106,000	10,632,000		1,035,644,000

科 目	公益目的事業会計		収 1	他 1
	公 1	小 計		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,528,000	△ 1,528,000	660,000	△ 3,469,000
当期経常増減額	△ 1,528,000	△ 1,528,000	660,000	△ 3,469,000
2.経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額				
指定正味財産からの振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高				

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他2	他3	小計			
0	0	△ 2,809,000	251,000		△ 4,086,000
0	0	△ 2,809,000	251,000		△ 4,086,000
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
					△ 4,086,000
					214,266,000
					210,180,000
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
					0
					500,000,000
					500,000,000
					710,180,000

公益財団法人大田区産業振興協会

令和5年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合はその借入先等を記載する。

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	借入先	金額		用途	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載する。

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の用途	